

TOYO UNIVERSITY

東洋

2014 平成26年度



東洋大学雨水会報
Vol.154

目次

平成26年度 雨水会会長挨拶	1
----------------	---

東洋大学雨水会会長

村田 薫

雨水会役員名簿	2
---------	---

本部役員・評議員・顧問

支部役員

東洋大学が目指すもの	5
------------	---

学校法人東洋大学理事長

福川 伸次

東洋大学の心	6
--------	---

東洋大学学長

竹村 牧男

大学改革と雨水会	7
----------	---

学校法人東洋大学常務理事

雨水会常任理事

大熊 廣一

学部だより	8
-------	---

文学部伝統文化講座について

文学部長

中山 尚夫

国際会議で訪ねた北京の様子

経済学部長

小川 芳樹

大学を活用する

経営学部長

旭 貴朗

当世学生気質

法学部長

櫻本 正樹

安心できる関係を生みだす体験

社会学部長

森田 明美

理工学部の基礎教育と国際化への取り組み

理工学部長(兼)工学部長

吉田 泰彦

総合情報学部の再生へ向けての

施策とその後の経過報告

総合情報学部長

杉本 富利

グローバル化を推進する国際地域学部

国際地域学部長

藤井 敏信

生命科学部の取り組み

生命科学学部長

岡崎 渉

新設2年目を迎えた「食環境科学部」の近況	
----------------------	--

食環境科学部長

林 清

学部開設10年、新たな挑戦

ライフデザイン学部長

白石 弘巳

平成二十六年 四校舎「雨水懇談会」	19
-------------------	----

白山校舎雨水懇談会に協力して

教務部社会学部教務課課長

花田 洋一

川越校舎雨水懇談会に協力して

川越事務部教務課課長補佐

大野 幾代

板倉校舎雨水懇談会に協力して

板倉事務部板倉事務課課長補佐

叶内 孝

朝霞キャンパス雨水懇談会の開催にあたって

朝霞事務部次長

佐久間 孝行

板倉キャンパス懇談会に出席して

東洋大学雨水会副会長

茂木 明男

平成二十六年 支部総会(雨水懇談会)に出席して	24
-------------------------	----

生命科学学部長

岡崎 渉

雨水会事務局

雨水会群馬県支部長

小坂橋 俊雄

雨水会兵庫県支部長

中川 真一

大学事務局から	28
---------	----

大学の教育・学習の仕組み(白山・川越・板倉・朝霞)

教務部

川越事務部教務課課長

深町 浩之

板倉事務部板倉事務課

朝霞事務部朝霞事務課

宮崎 研介

学生部の窓口から

原 千晶

最近の学生事情とサポート体制

学生部長(法学部教授)

小林 秀年

就職関係

就職・キャリア支援部部長

大田 啓子

納付金(学費等)について	48
--------------	----

経理部財務課

入学試験情報	49
--------	----

入試部

雨水会活動	50
-------	----

平成25年度雨水会活動報告

平成25年度事業報告

平成25年度会計報告

平成26年度雨水会活動計画	56
---------------	----

平成26年度事業計画

平成26年度予算書

平成26年度雨水懇談会 支部総会報告	59
--------------------	----

平成26年度雨水会

雨水懇談会父母アンケート結果から考えられること

卒業生・雨水会連携推進室課長

深澤 博

平成26年度雨水会「会員の集い・就職フォーラム」を開催して	62
-------------------------------	----

東洋大学雨水会副会長

須田 龍一

学生総合補償制度のご案内	64
--------------	----

キャンパスガイド	65
----------	----

白山キャンパス

川越キャンパス

板倉キャンパス

朝霞キャンパス

東洋大学体育後援会だより

体育後援会強化部の活動状況

「箱根駅伝で優勝させる会」入会をお願い

雨水会からのお知らせ

雨水会よりのお知らせ

雨水会よりのお知らせ

雨水会よりのお知らせ

雨水会よりのお知らせ

本文中の写真は東洋大学広報課・その他提供



平成26年度 甫水会会長挨拶

東洋大学甫水会会長 村田 薫

会員の皆様方には平素から甫水会の本部事業及び支部活動にご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続き会長に推挙されました東京都城北支部所属の村田 薫です。

誠に大任ではありますが、1年間甫水会の運営に全力で取り組みますので、宜しくお願い致します。

さて、甫水会は1959年(昭和34年1月)に他大学に先駆けて「父母の会」として父兄会が設立されました。大学の先生方が懸命に開設準備され、学祖の建学の精神を学生のみならず、その家族にも普及して母校への帰属意識を高めようとされました。

当時の東洋大学は家族ぐるみの大学として知られていたようです。

父兄会は、1994年(平成6年)に井上円了先生の出身地を由来とした椎号の名を頂き「甫水会」と改称し、今年で55年目を迎えた歴史と伝統のある会です。

甫水会活動の目的は「学生の父母または保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力すると共に大学と協力して、学生の心身の健全な発展をはかることを目的」として組織されています。

会の運営については、時代の流れや会員の皆様のニーズにあった運営を心がけております。

平成26年度の本部行動指針は、甫水会の大胆な変革と新たな創造をキーワードに、与えられた諸事業を展開して参ります。

甫水会の活動は諸先輩方が築き上げた独自の活動が特徴ですが、その良さを生かしながらご父母の満足度の更なる向上を目指して平成27年度には甫水会の活動計画を改革いたします。

― 行事の改革 ―

①甫水懇談会を平成27年度より甫水会から大学主催の「大学と父母との懇談会」として大学に移行し、甫水会としては大学の支援をすることで、サービスの向上を図る事としました。

平成27年度の開催日は白山、川越キャンパスが6月14日(日)朝霞・板倉キャンパスが6月20日(土)を予定しています。その他の地区については、6月下旬から9月上旬の期間で開催日を大学が決定します。父母は、4キャンパスか地区支部のどちらに出席(両方出席)も出来るものとします。

②会員の集いですが、平成27年度より大学と協力のもと、東洋大学卒業生対象のホームカミングデーと同日開催とすることを検討しております。

同日開催により、OBと父母・保護者とを分けて、オール東洋大学デーとして相互間の連携交流を図りながら、効率的な運営を考えています。近年就職については好転している傾向ですが、学生本人の努力にも拘らず厳しい現実はまだ解決には至ってません。

甫水会としても重要な課題として捉え、大学の就職・キャリア支援課のスタッフや卒業生等に協力依頼し、就職の情報収集と支援プログラムを企画しています。

ところで、東洋大学は1887年(明治20年)9月に学祖井上円了先生が私立哲学館として創設されました。

今年で創立127年の長い歴史を持ち、数多くの有望な人材を社会に送り出し、来年3月には卒業生が30万人を数えます。

今後18歳人口の減少等、大学を取り巻く環境は更に厳しくなると予想され、大学2018年問題として、マスコミから「私立大学淘汰の時代」と呼ばれています。

甫水会としては、東洋大学創立125周年未来宣言に鑑み、グローバル人材の育成・国際水準をクリアした大学を目指して、興隆発展に努め、オール東洋一体となった学生支援を推進いたします。最後に会員の皆様方のご健勝を祈念いたしましたことと挨拶とさせていただきます。

● 南水会 役員名簿 ●

本部役員

役職名	氏名	支部名
会長	村田 薫	城北
副会長	須田 龍一	茨城
副会長	茂木 明男	栃木
常任理事	大熊 廣一	大学推薦
常任理事	末継 宏樹	埼玉中
常任理事	菅原 勝朗	埼玉東
常任理事	山本 光男	埼玉南
常任理事	鳥越 剛	神奈川
常任理事	恩田 実	多摩
監事	小笠原 信子	神奈川
監事	増田 茂	千葉東
理事(北海道)	近藤 明美	札幌
理事(東北)	佐々木 昌人	秋田
理事(関東)	目黒 由美子	中央
理事(甲信越)	河野 利之	山梨
理事(北陸)	菅野 博	福井
理事(東海)	東瀬 嘉章	三重
理事(近畿)	若田 康子	和歌山
理事(中国)	赤木 将城	岡山
理事(四国)	武村 秀行	愛媛
理事(九州)	長井 秀一	鹿児島

評議員

会則第20条2項(支部長)

氏名	支部名
近藤 明美	札幌
児玉 英一	函館
吉田 勝弘	旭川
大坪 昌広	北見
今野 博之	室蘭
田中 昌之	釧路
渡邊 千代	青森
菅原 真一	岩手
平間 奈緒美	宮城
佐々木 昌人	秋田
横山 貴洋	山形
太田 信和	福島
宮川 崇	茨城
石井 盛児	栃木
栗原 準	群馬
高柳 勤	埼玉北
佐藤 千代子	埼玉中
森本 進	埼玉東
永井 博之	埼玉南
早川 聡	千葉東
櫻井 亨子	千葉西
山内 弘	千葉東
野口 はるね	城西
目黒 由美子	中央
本島 信一	城北

氏名	支部名
下田 美樹	多摩
小笠原 誠	神奈川
市島 清貴	新潟
河野 利之	山梨
酒井 良育	長野
岩城 稔	富山
八藤 定順	石川
菅野 博	福井
小川 竜生	岐阜
松本 里美	静岡
湯田 高光	愛知
東瀬 嘉生	三重
横谷 賢	京都
大川 泰司	大阪
中川 真一	兵庫
若田 康子	和歌山
濱田 義明	鳥取
石田 治	島根
赤木 将城	岡山
佐藤 晴基	広島
中野 泰守	山口
井藤 嘉憲	徳島
天雲 和千	香川
武村 秀行	愛媛
伊藤 智	高知
藤森 秀一	福岡
原口 毅	佐賀

会則第20条2項
(1,000名を超える支部)

顧問

氏名	支部名
平野 俊男	長崎
小山 剛司	熊本
吉良 弘	大分
石坂 浩二	宮崎
長井 秀一	鹿児島
楚南 兼弘	沖縄
氏名	支部名
橋本 裕樹	茨城
小村 克彦	埼玉中
野本 久美子	埼玉東
寺脇 寛	埼玉南
山田 由美子	千葉東
西村 敦	千葉西
粕山 珠実	千葉東
大島 和典	城北
安光 葉子	多摩
鈴木 茂	神奈川
氏名	支部名
永名 淳悟	千葉東
鐘撞 眞由美	千葉東
三宅 和宏	多摩

支部役員

北海道地区

地区長(札幌)近藤 明美

●札幌

支部長	近藤 明美
副支部長	飯野 清視

●函館

支部長	児玉 英一
副支部長	北村 暢一

●旭川

支部長	吉田 勝弘
副支部長	堀内真由美
副支部長	上西 嘉雄

●北見

支部長	大坪 昌広
副支部長	稲葉 一義
副支部長	の場 哲平

●室蘭

支部長	今野 博之
副支部長	今村 孝一

●釧路

支部長	田中 昌之
副支部長	成田 隆則

東北地区

地区長(秋田)佐々木昌人

●青森県

支部長	渡邊 千代
副支部長	小館 澄枝

副支部長	福沢 秀己
------	-------

副支部長	増井 正秀
副支部長	鈴木 悦子

支部長	菅原 真一
副支部長	菊池 慶一
副支部長	中島 諭

副支部長	安倍 一子
副支部長	高橋 博信

●宮城県

支部長	平間奈緒美
副支部長	紺野由美子
副支部長	三方 雅仁
副支部長	齋藤 禎子
副支部長	佐々木勝美
副支部長	益本 広信
副支部長	渡邊 高志

●秋田県

支部長	佐々木昌人
副支部長	早津 一仁
副支部長	中込 晃
副支部長	山本 長幸

●山形県

支部長	横山 貴洋
副支部長	増川 久夫
副支部長	坂野 和弘
副支部長	大内 昭
副支部長	横山 里美

●福島県

支部長	太田 信和
副支部長	長澤 祐嗣
副支部長	本田 広行

関東地区

地区長(中央)目黒由美子

●茨城県

支部長	宮川 崇
副支部長	佐藤 弘
副支部長	曾根 泰子

●栃木県

支部長	石井 盛児
副支部長	長谷 信明
副支部長	荻原 克則
副支部長	荻原 秀之

●群馬県

支部長	栗原 準
副支部長	小熊 康弘
副支部長	小林 郁恵
副支部長	増田 達朗
副支部長	田村 博史

●埼玉県

支部長	高柳 勤
副支部長	三澤 悦子
副支部長	奥抜 清美
副支部長	工藤 博之

●千葉県

支部長	佐藤千代子
副支部長	斉藤美枝子
副支部長	牧野 由紀

●埼玉県

支部長	森本 進
副支部長	上野 範恵
副支部長	野本久美子

●東京都

支部長	中岡 君夫
副支部長	野口 泰弘
副支部長	坂本 達夫
副支部長	岡戸 浩子

●神奈川県

支部長	永井 博之
副支部長	寺脇 寛
副支部長	田中 剛
副支部長	竹内 篤子

●千葉県

支部長	早川 聡
副支部長	大高 学
副支部長	佐久間志保
副支部長	江原 和美
副支部長	山田由美子
副支部長	大高はるみ

●東京都

支部長	櫻井 亨子
副支部長	西村 敦
副支部長	西村 豊子
副支部長	佐倉 桂

●東京都

支部長	山内 弘
副支部長	斎藤智恵子
副支部長	市川 五男
副支部長	網代 光子

中部地区

地区長(中央)目黒由美子

●岐阜県

支部長	野口はねる
副支部長	柴田 妙子
副支部長	菅野 智美

●愛知県

支部長	目黒由美子
副支部長	石山 順子
副支部長	唐木 仁美

●静岡県

支部長	本島 信一
副支部長	田胡 路代
副支部長	小暮 利雄
副支部長	粕川 登
副支部長	粕川 恵里
副支部長	高野 善松
副支部長	前田 恵
副支部長	古山 雅子
副支部長	桑原 素子

●東京都

支部長	下田 美樹
副支部長	野間 恵子
副支部長	脇岡 綾姫
副支部長	岸田 華子
副支部長	安光 葉子

●東京都

支部長	小笠原 誠
副支部長	鈴木 茂

副支部長	大場 喜寿
副支部長	岩井 雅史
副支部長	柴 章

甲信越地区

地区長(山梨)河野 利之

●新潟県

支部長	市島 清貴
副支部長	外山 浩哉
副支部長	渡辺 克美

●山梨県

支部長	河野 利之
副支部長	樋川 弘美
副支部長	古屋つぎ子

●長野県

支部長	酒井 良育
副支部長	竹内 清江
副支部長	小池 明美
副支部長	近藤実智代

北陸地区

地区長(福井)菅野 博

●富山県

支部長	岩城 稔
副支部長	老月 康浩

●石川県

支部長	八藤 定順
副支部長	岡田 和夫

●福井県

支部長	菅野 博
-----	------

東海地区

地区長(三重)東瀬 嘉章

●岐阜県

支部長	小川 竜生
副支部長	原田 秀一
副支部長	早瀬 克夫
副支部長	武藤 伸介

●静岡県

支部長	松本 里美
副支部長	小林 京子
副支部長	加藤 正雄

●愛知県

支部長	湯田 高光
副支部長	湯田小百合
副支部長	成瀬 智美
副支部長	高橋 邦広

●三重県

支部長	東瀬 嘉章
副支部長	原 義人

近畿地区

地区長(和歌山)若田 康子

●滋賀県

支部長	
-----	--

●京都府

支部長	横谷 賢
副支部長	吉田 晴彦
副支部長	吉田 美佳子
副支部長	白木 雅俊

●阪奈

支部長	大川 泰司
副支部長	武田 幸生

●兵庫県

支部長	中川 真一
副支部長	桃井 活果
副支部長	大野 隆之

●和歌山県

支部長	若田 康子
副支部長	神谷多江子

中国地区

地区長(岡山)赤木 将城

●鳥取県

支部長	濱田 義明
副支部長	津村 玲子
副支部長	那須 一仁

●島根県

支部長	石田 治
副支部長	佐々木昭二

●岡山県

支部長	赤城 将城
副支部長	根葉奈穂美
副支部長	中尾 公

●広島県

支部長	佐藤 晴基
副支部長	中本 俊之
副支部長	加藤 清治

●山口県

支部長	中野 泰守
-----	-------

副支部長	小笹 幸男
副支部長	古屋敷啓一郎

四国地区

地区長(愛媛)武村 秀行

●徳島県

支部長	井藤 嘉憲
副支部長	岡本 覚
副支部長	岡本小百合

●香川県

支部長	天雲 和千
副支部長	土橋 淑子
副支部長	須藤 美保

●愛媛県

支部長	武村 秀行
-----	-------

●高知県

支部長	伊藤 智
副支部長	正岡 成司
副支部長	石原 浩二
副支部長	松尾 昌子
副支部長	渡邊志津江

九州地区

地区長(鹿児島)長井 秀一

●福岡県

支部長	藤森 秀一
副支部長	鶴田 利和

●佐賀県

支部長	原口 毅
副支部長	田崎 陽広

●長崎県

支部長	平野 俊男
副支部長	瀬之口 浩

●熊本県

支部長	小山 剛司
副支部長	大仁田奈美
副支部長	佐渡 鋭子
副支部長	三島 善照
副支部長	西田 仁美
副支部長	津田 恵美
副支部長	豊田 峯子

●大分県

支部長	吉良 弘
副支部長	阿部 陸夫

●宮崎県

支部長	石坂 浩二
副支部長	永山 博一
副支部長	杉尾 英樹

●鹿児島県

支部長	長井 秀一
副支部長	宗像 健司

●沖縄県

支部長	楚南 兼弘
副支部長	赤堀由美子

(平成26年10月末日作成)



東洋大学が目指すもの

学校法人東洋大学 理事長 福川 伸次

東洋大学甫水会会員の皆様には、日頃から大学の発展に暖かいご支援をたまり、心から感謝申し上げます。

最近、アベノミクスの成功で経済に明るさを取り戻しつつあります。しかし、今後、人口の減少、高齢化の進行、財政構造の悪化、イノベーションの低下、社会の内向き志向などの課題を抱えていることを考えると、成長力の鈍化が懸念されます。資源の腑存に恵まれない日本としては、これを克服する道は人材力しかないのです。

東洋大学の創立者、井上円了は1887年(明治20年)に「私立哲学館」を設立しました。これが東洋大学の起源であります。以来127年、創立者が説く「諸学の基礎は哲学にあり」を教育理念として29万1194人(2014年5月現在)の学生を世に送り出してきました。

井上円了は、哲学研究はもとより日本社会の特質の分析に骨身を削るとともに、広く世界の動きに関心を抱き、生涯で3回にわたって世界を旅しました。井上円了は、国際化が進めば進むほど、日本固有の文化、芸術、学術の究明と体得そしてその新たな創造、発信が必要であることを強調し、かつ学力のみならず、人物とともに養成するという考えを述べています。東洋大学は様々な教育や研究活動にこの思いを採り入れ、人間価値の向上を目指しています。

人間の価値は、精神的な充足、倫理の重視、文化の尊重、人類愛の醸成などを通じて高められます。そこでは人々の意識の中で「人のために尽くす」

す」「世の中のために役に立つ」、そして「世界のために貢献する」という考えが重要になります。

2012年に創立125周年を迎えた際、東洋大学は「未来宣言」を発表しました。その中では「地球社会の未来に貢献する大学の確立を求め、私たちの手で新しい歴史を創出し進化し続ける」ことを宣言しました。そして、「哲学教育」「グローバル教育」「キャリア教育」を3本の柱として教学の充実を図りつつあります。

とりわけグローバル教育では、世界で活躍できる挑戦的な能力の陶冶を目指して、英語能力の充実をはじめ、コミュニケーション力の向上に力を入れています。

イノベーションは東洋大学としても挑戦すべき課題であります。日進月歩の情報通信分野の研究と教育を充実するとともに、ベンチャー企業の育成にも取り組んでいきたいと考えます。先導的な研究を進めているバイオ・ナノ技術は、広汎な応用が期待されるし、予防医療が重視されつつあることを考えれば、栄養・スポーツなどの研究の充実も重要であります。また、政策分野では、PPP(官民パートナーシップ)、PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)などの新しい分野についても、研究を充実していく必要があります。

経済界では、教養が豊かで、グローバルに活躍でき、実社会で役立つキャリアを備えた人材を求めています。そう考えると、アジアを中心にグローバル化の定着に対応した教育体系も充実

する必要があります。

東洋大学をめぐる環境は、18歳人口の減少、激化する大学間競争などで今後さらに厳しいものになると考えております。我々は、役員、教員、職員を通じて危機意識を共有しつつ、教育に対する時代の要請を取り入れ、大学の改革に努力する考えであります。

最後になりましたが、甫水会会員の皆様のご健康をお祈りして、私のご挨拶とさせていただきます。



125周年記念館



東洋大学の心

東洋大学 学長 竹村 牧男

東洋大学は、一昨年に創立一二五周年を迎え、こ

れを機に、種々の大きな改革に取り組み、未来に向かつて前進しています。創立者の井上円了先生は、優れた哲学者にして教育者であり、確かな教育理念のもと、生涯を教育活動に捧げました。今日、東洋大学の建学の精神として、「諸学の基礎は哲学にあり」「知徳兼全」「独立自活」を掲げています。「知徳兼全」とは、知性と徳性とを十全に兼ね具えること、「独立自活」とは、自主性・主体性を大いに発揮することといえましょう。

最初の、「諸学の基礎は哲学にあり」は、さまざまな意味を持つものですが、やや分りにくい点がないにしてもあらずでしょう。そこで私は、円了先生の著作をひもときながら、その趣旨を解りやすく次のようにまとめてみました。【自分の哲学を持つ】多様な価値観を学習し理解するとともに、自分の哲学（人生観・世界観）を持つ人間を育成する。【本質に迫って深く考える】先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。【主体的に社会の課題に取り組む】社会の課題に自主的・主体的に取り組む、よき人間関係を築いていける人間を育

成する。

さらに、円了先生の説かれたところに従い、東洋大学人が心得ておくべきこととして、次のことを掲げました。【他者のために自己を磨く】自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。【活動の中で奮闘する】現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

この中、「他者のために自己を磨く」は、円了先生最晩年の著書『奮闘哲学』に、哲学には真理を探究する向上門と、これを社会に応用する向下門とがなければならぬことを説き、さらに、「その向上はなんのためかと問わば、向下せんためなりと答えざるを得ない。すなわち向下せんための向上にして、向上門は方便、向下門は目的となるであろう」と説かれていることによるものです。ここにある、「向下のための向上」という言葉は、すばらしいものだと思います。一方、「活動の中で奮闘する」も、同じく『奮闘哲学』に、「その帰するところ、人生の目的は活動に外ならぬと自得し、哲学の目的も人生を向上するに外ならぬと知り、爾来、活動主

義をとりて、今日に至るものである。『活動はこれ天の理なり、勇進はこれ天の意なり、奮闘はこれ天の命なり。』これが余の主義である。すなわち吾人の天職はこの活動によりて、人生を向上せしむるにありと自信している」とあるのによるものです。私たち東洋大学に学ぶ者は、日ごろから、人生の向上と他者への資助に向けて、活動・勇進・奮闘したいものと思います。

なお今日では、以上のほかにグローバル人材への視点を加味すべきでしょう。すでに円了先生自身が、明治三六年段階で、その方針を高く掲げていました。本学の学生には、「①東洋大学の建学の精神に基づき、自ら考え・判断し・行動する人間となることをめざし、②基礎学力・専門学力および種々の社会人基礎力を身につけていると同時に、③語学・コミュニケーション能力を豊かに具え、④異文化理解・活用力と自文化理解・発信能力を豊かに具え、多様な価値観に柔軟に対応しつつその長所を統合する力を発揮し、⑤公正で豊かな未来の地球社会を拓いていくリーダーシップに富み、他者のために奮闘・奉仕する人材」に育っていただきたいと思い、そのための諸施策を全力で展開しております。学生には東洋大学の心を体得するとともに、ぜひ大学が用意したさまざまなプログラムに積極的に参加していただき、未来の時代を創っていく人間に成長してほしいと、ひとえに念願しています。



大学改革と甫水会

学校法人東洋大学常務理事・甫水会常任理事 大熊 廣一

甫水会会員の皆様には、日頃から東洋大学の発展にご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

本年は第90回箱根駅伝の総合優勝でスタートし、水泳、相撲、陸上競技、ボクシング、レスリングなど、世界大会における本学学生の活躍に目覚ましいものがあります。また、10月4日に閉会した第17回アジア競技大会では本学水泳部所属学生の活躍がテレビ・新聞等で報道されるたびに大変うれしく、皆様にも感動いただけたことと思います。

スポーツだけでなく、本学は文部科学省が平成26年度から新たに実施した「スーパーグローバル大学創成支援」に応募し採択されました。これは、加速度的に進むグローバル化が、我が国の社会・経済・文化に大きな影響を与える中、高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進めるため、「Aタイプ」・世界レベルの教育研究を行う世界ランキングトップ100を目指す力のある大学」や「Bタイプ」・国際化を牽引するグローバル大学」に対し文部科学省が重点支援を行うもの

です。A・Bタイプ合わせ国公私立104校（109件）の申請があり、Aタイプ13校、本学が申請したBタイプでは本学を含めて24校が採択されました。教育・研究力、教員に占める外国人比率の向上策、外国語による授業を増やす構想などが審査されました。本学では、ツールとしての英会話力、コミュニケーション能力、異文化理解などを基盤教育、専門教育の中で強化してまいります。10年を掛けて国際化を牽引する様々な事業を展開してまいります。これに合わせて大学の組織、制度も大きな変革を迫られています。

また、これは少子化の中、日本の大学が世界に打って出る事業でもあります。現在、大学は少子高齢化の中で、大変厳しい運営を迫られています。大学における2018年問題をご存知でしょうか。18歳人口は2014年で119万人となり、1992年の205万人から4割以上減少しています。これにも拘らず、大学数は523校から782校へと増加しています。現在この18歳人口は横ばい状態で推移していますが、2018年から再び減少に転じ、2031年には100万人を切ります。既に定員を満たすことができない

私立大学は全体の46%に達し、2010年以降、4年制私立大学10校が学生募集を停止しています。

大学に於いては、グローバル人材の育成、研究を通じたイノベーションの創出、経済再生や地域再生・活性化への貢献がこれまでに期待されています。本学では、これを実現するため、赤羽台キャンパスに情報系学部を開設し、新しい教育体制でグローバル人材の育成を図っていきます。

大学の新たな展開・発展に向け、甫水会と大学が協働して様々な事業を展開していければと考えています。甫水会の皆様には、甫水会の全国的な組織力をより強化いただき、保護者の皆様が一人でも多く大学の行事に参加できるような支援事業の展開、あるいは「内向き志向」の学生の留学を支援する新規事業の企画など、多方面に渡ってご提案いただき、協働事業として展開していければと思っています。

最後に、甫水会の皆様にご支援いただいた白山キャンパスでの学生食堂朝食提供（提供価格100円）、板倉キャンパスでの朝カフェ（無料コーヒー提供）は、「朝早く活動する事で時間を有効に使えるようになるため、朝食営業はとても有意義に感じた」など、学生に大変好評でありました。

今後とも甫水会の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

学部だより



文学部伝統文化講座について

文学部長 中山 尚夫

文学部教授

東洋大学文学部卒業 同大学院文学研究科博士課程満期退学。
博士(文学)。専門は、日本近世文学。
著書に『十返舎一九研究』十返舎一九集(一)～(十二)等

文学部主催の年間行事の中に「文学部伝統文化講座」というものがある。現在(平成二十六年)度は「声明」「能楽・狂言」「雅楽」「歌舞伎舞踊」「新内節」の五種目について、それぞれ専門家を招いて、実演をしていただき、それを本学学生・教職員をはじめ、さらには一般にも開放して鑑賞してもらっている。主に秋学期に集中している。主催者の狙いとしては、こうした非日常的日本の伝統芸能文化に直接触れることにより、現代人に日本の伝統文化すなわち生活や精神を心の中から感じてほしい、という意図がある。この講座はこにち一般的にもそこそこ有名になり、「能楽鑑賞教室」などは会場の井上田了ホールが満員になり補助席も設けるといふ盛況である。他の講座についても平均四百名ほどの鑑賞者が集まっている。開講はすべての種目、土曜日の二時四十分から四時十分までが原則である。時に終演時間が伸びることがある。文学部の主催講座であるため、本学文学部学生は優先的に鑑賞できる。また文学部のカリキュラムには「文学部共通科目」があり、その中

に「伝統文化講座」という正規科目がある。文学部学生は学科学年を問わず受講でき、右の種目を学びながらその実演を鑑賞することが義務付けられている。本年度で三年目の開講であるが、受講生は徐々に増えてきているという実情である。ゾクゾクした気分で見物者と同じ空間にいること、そのことが観る者聴く者にとって何物にも代え難い大切なことであり、時である。

本年度の開講予定は、①声明：九月二十七日、②能楽鑑賞教室(能・狂言)：十月四日、③歌舞伎舞踊：十一月八日、④王朝の音楽(雅楽)：十二月十三日、⑤新内節演奏会：平成二十七年一月十日である。「声明」は、日本人の古代からの精神的礎であり、抛り所であり、思想でもあった仏教の祈りの形式。「能楽・狂言」は、日本に長く伝わる伝統芸能の最たるもの。能楽は、古くは宗教的要素が強かったが、中世に観阿弥・世阿弥の親子出現から「幽玄」を旨とした精神性を様式美に込めた芸能で、現在は世界最古の所作芸能、無形文化財として「世界文化遺産」となり、日本を代表する芸能となった。狂言は、中世末期に能楽の合間に行われ始めた滑稽を旨とした、人間の会話劇であるが、今や独立した伝統芸能としての位置を確立しただけでなく、基本的に二人で演じる滑稽劇は、我が国滑稽文化の型を創造した。雅楽は、古代

の音楽で、平安時代の宮廷音楽である。貴族たちが彼らの日常生活でもこの管弦は行われ、我が国伝統の優雅な音楽で、そこに用いられる楽器も珍重される。歌舞伎舞踊は、歌舞伎の中の舞踊劇である。江戸時代以降、浄瑠璃を基とした邦楽を伴奏音楽として発展した舞踊劇で、一般的には日本舞踊という名称で知られている。庶民風俗にも演目を求め、浮世絵や他の風俗画の画題になったりして、学術資料としても扱われる。新内節は、江戸時代中期以降昭和中期に至るまで、江戸・東京の酒席を中心として流行した浄瑠璃音楽の一種である。江戸で流行した浄瑠璃は音楽浄瑠璃と呼ばれる「語り」を主とした浄瑠璃で、その多くは歌舞伎の音楽としてその生命を長らえてきたが、新内節のみ酒席の芸事として流行した。庶民の悲恋を題材にしたところから、庶民の間で流行を見たのである。

以上のように、日本あるいは日本人が過去の時代ごとにどういった精神と生活文化を持っていたかにちなんだことを知るには、恰好の題材の実演を体感しながら学ぶのである。

こうした学習形式は、教室で教員の講義聴講や、ゼミナールでの発表とその質疑応答という形式の授業とは異なり、一種の実地踏査的講座である。こんなにちでは日常的にはほとんど接することのない芸能文化である一方、国際化時代における我々は、この日本あるいは日本人を世界に発信する義務がある。大学生を始めとした年代の人々にはそれがより強く要請されるはずである。そうした時に伝統文化を知って、各時代の人々の暮らしや思いを知っておくことは有益なことである。その時にこの講座は必ずや役立つに違いない。



国際会議で訪ねた北京の様子

経済学部長 小川 芳樹

経済学部教授

東京大学大学院理学系研究科科学博士課程修了 理学博士(東京大学)
財団法人エネルギー経済研究所勤務を経て、2004年から経済学部教授、
環境経済学専攻
趣味は歴史もののファンタジーものの読書、スキー、クラシック音楽鑑賞

(1) 国際会議の様子

9月18日から21日まで中国の北京で開催された第4回国際エネルギーエコノミスト学会(IAEE)アジア大会に参加した。エネルギー・環境問題を幅広く議論するアジアでのこの国際会議は、これまでオーストラリア、台湾、日本で開催されており、今回が4回目となる。

今回の会議は中国科学研究院が主催者であったが、きわめてモダンな開会式が同院のオーディトリウムにある円形会議室(写真1)で行われた。中国各地はもちろんのことアジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界中から300人を超える会議参加者があり、大変盛況であった。

初日午前中の開会式と全体会合以外の会議は、オリンピック公園に近い北京地質大学ですべて開催された。多くの中国の大学では、大学構内で教職員、学生の生活が営まれており、このための諸々の施設ときわめて広い敷地を有している。会議参加者も構内の優れた宿泊施設に滞在した。

この国際会議では、筆者は初日の並行分科会で司会を務め、二日目にスマートハウスの経済性と普及可能性の分析に関する研究発表を行った。パスモのようなカードに研究発表の要旨や論文などが収納され、USBと同じ方法でパソコンの閲覧ができたことにはびっくりした。

(2) 北京市内の様子

今回の出張では、北京空港から初めて機場快速を利用して30分ほどで北京中心部まで出た後、地下鉄を乗り継いで北京地質大学の最寄り駅であ

る地下鉄13号線の五道口駅(写真2)で下車した。地下鉄網の充実で空港から北京地質大学まで最終的に要した時間は1時間強で済んだ。

機場快速は片道25元(約400円)であったが、地下鉄は1回の乗車に2元(約36円)を払えば乗り換えフリーで改札を出るまでどこまでも行くことができるのである。地下鉄はすでに16号線まで開通しており、北京のかなり広範な範囲を地下鉄の活用で安価に楽しめるといえる。

折角の機会であったので、最終日は早起きをして会議の開始前に、北京市内の歴史的遺物を訪問した。1つは北京中央部の北海公園で、今1つは南部の天壇公園である。北海公園は初めてであったが、天壇公園は35年前に見たきりであったので、非常に印象深い再見となった。

北京市内は相変わらず人が多く喧騒としていたが、日本人だからと特別に気に留める人もなく、欧米の町と同様に自分の気ままに動き回ることができた。地下鉄の駅の入り口では、バック等のセキュリティーチェックが必ずあるので、むしろ安心できる面も感じた。

(3) 終えるにあたって

経済学部では、来年3月に学生を引率する10日間ほどの中国研修を予定している。中国というと日本との深い国際的対立に伴う反日感情の高まりと大気汚染の悪化による健康問題を大いに懸念する向きがあるが、今回の私自身の直接体験からはそれほど心配はないと感じた。

21世紀に入ってダイナミックな経済発展を遂げる中国の実態を、自分の肌身を通じて学生が実感できる10日間の経験は学生にとって掛け替えのないものになることはむしろ想像に難くない。保護者の皆さんにも学生がこのチャンスを獲得することへのご理解をぜひお願いしたい。



(写真1:オーディトリウムの開会式)



(写真2:地下鉄13号線の五道口駅ホーム)



大学を活用する

経営学部長 旭 貴朗

経営学部教授

昭和54年東京工業大学理学部数学科卒業(理学士)
昭和60年東京工業大学総合理工学研究科システム科学専攻博士課程
修了(理学博士)
日本情報経営学学会会員(旧オフィスオートメーション学会)
経営情報学会会員

経営学部では「幅広い視野に立って、経営学諸分野の学習および研究を通じて培った専門的知識と能力を活かし、急速に進展する経済・社会において活躍する『有為な人材』を育成すること」を目的としています。これを実現するため「成果と結果を実現する教育(マネジメント白山構想)」を掲げ、講義や体験学習(基礎実習講義、ゼミナール、研究発表大会、卒論)を主軸にして学習成果を高めつつ、学習支援と資格取得支援による結果(資格取得)を実現する教育体制の構築を目指しています。

教育に関しては、一年生導入教育の充実、質の高い講義、授業で実務家の話を聞いたり、体験型あるいは課題解決型ゼミ教育の実施、他大学との合同ゼミ討論会、企業調査実習、ビジネスシミュレーションなどにより哲学する心を育てます。また留学生交流会や英語でビジネスを学ぶGBC(グローバルビジネスコミュニケーション)コースの再構築による国際化を推進いたします。学習支援としても、英語資格のTOEIC受験、簿記原理科目の拡充に合わせた学習補助員SAや

TAの充実、オフィスアワー公表、単位僅少者面接や一年生五月欠席調査等を通じた学習支援を行ない、学生の学習成果を高めたいと思っています。

資格取得に関しては、学生による自主的なグループ活動の拠点となる会計特別研究室の運営、日商簿記二級三級、中小企業診断士、公認会計士、ファイナンシャルプランニング技能士など諸資格取得支援講座を実施します。課外講座が授業に対する学習意欲を高め、ひいては就職に有利となるよう就職キャリア教育への相乗効果を生み出す体制にしたいのです。詳細は前回の記事で紹介いたしましたので、以下で日頃気になることを書いておきます。

一年生は高校とは異なり、どの科目をとるべきかを自分で選択し登録する必要があるため、多少のとまどいがあることと思います。自分のやりたいことがまだ見つからない状態でしうが、できるだけ将来の目標・計画をたてて履修登録をして欲しいのです。授業については、一つの科目を半期学習し、試験に合格すると二単位を取得し、多少制約がありますが卒業するまでに124単位を取得する必要があります。四年生になると就職活動と卒論執筆がありますので、三年間でほとんど取得する勢いで勉強することを推奨します。

基礎実習講義(必修)は主に一年生を対象とし

たもので、基本的な知識や能力を身につけます。専門科目を受講するために必要な基礎知識です。から早めに単位取得しておいて頂きたいです。経営学部では特に演習(ゼミ)を重視しております。直感的に言えば、演習は一人の教員に弟子入りしてその道の専門家になるための修行の場であり、ます。二年生から履修できますが、実は予約制になっていて、一年生十月末に行なわれる説明会に参加して希望教員名を提出することが必要です。

二年生は授業やゼミで最初は専門用語や新しい概念にとまどいますが、仲間と一緒に付いていくことが重要です。あるいはGBCセミナーに参加することも可能です。夏休みには海外留学も射程にいらしてください。大学主催の短期研修もあり、ますし、対象が海外協定校ですと、一定の英語能力があれば奨学金をもらうことも可能です。そのためには半年以上前から国際センターにて情報収集し、準備しておくことが肝心です。

三年生は、できれば夏休みに国内・海外のインターシップへの参加を勧めます。就職キャリア支援部が情報提供しています。秋になると自分を見つめ就職先の希望を思いめぐらすことになり、ます。今年の三年生から本格的就職活動は三月の春休みから始まります。四年生は就活と並行にあり、いは終了後、卒業論文を執筆・提出しますが、秋に最低一科目の単位取得をする必要があります。忘れないで履修登録してください。長々と断片的に書き連ねましたが、大学は色々な人生経験を得る機会を多数提供していることを言いたかったのです。是非とも存分に活用して頂きたく願っております。



当世学生気質

法学部長 櫻本 正樹

法学部教授

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程満期退学。
1992-93イタリア政府国費留学生としてミラノ大学留学。
2011-12在外研究としてウエネチア大学留学。
趣味は、芸術鑑賞と卓球、世界の商店街の散歩。
専門は、倒産法、民事手続法。

「花屋の店先に並んだいろんな花を見ていた」という出だしで始まるSMAPの2003年のヒット曲『世界に一つだけの花』は、「ナンバーワン」にならなくてもいい、一人一人が「もともと特別なオンリーワン」の存在なのだと歌っている。「みんなちがってみんないい」というフレーズが印象的な「わたしと小鳥とすずと」という詩が小学校の教科書に掲載されたことで、大正末期から昭和初期にかけて活躍した女流詩人金子みすゞが再評価されたのもやはり2003年ごろのこと。一人一人が互いの尊厳や個性を認め合いながら共存することの大切さが見直されていた頃、現代の学生は8歳から10歳の頃を過ごし、のびのびと育ってきた若者たちなのである。

しかし、教員として学生たちと接していると、「おや?」と首をかしげたくなることがよくある。たとえば、学生たちとエレベーターを待っていてエレベーターが来ると誰も教員に先を譲ろうとする者がなく我先に乗り込もうとする。講義のために教室に入ろうとして入口で学生とかち合うときもまた然りである。学内で知ってい

る先生に会っても挨拶しない(もちろん目礼することもない)。郵便物やメールには「先生」ではなく殆どの学生が「様」を使っている。ある他大学の先生に聞いた話では、「ゼミの合宿を行う際に、『学生の予定をきいたら一番都合がいいというのでこの日程を決めたのですが、先生は出席されますか』と言われて怒るより先に呆れた。」とか。ゼミにおける指導者たる先生に最後に予定確認して来るというようなことを、社会に出て課長や部長相手にしたらどうなるか……。また、別のある先生は、「ゼミをやめたいとラインで知らせて来て、それで済んだ」と思っている。と嘆く。まず、相手の先生に会って、きちんと理由を説明するのが筋だと思いが、そんな気がサラサラないのか、あるいは、先生に会って説明する勇気がないのか。

もう驚かないが、15年ほど前に授業中に「もしや」と思って「灯籠(とうろう)」を知っていますか? 知らなかったら黒板に絵をかきますから手を挙げてください」と質問したら、7、8人ほどが手をあげた。その時は、これでは講義中に喋っていることが本当に学生に伝わっているのだろうかという疑問と驚きで頭を強く叩かれたような気持ちになったことをよく覚えている。しかし、年々この学生の数は増えていき今では受講生の約4分の1は知らないと言え、手を挙げる。このように、礼儀を知らないだけでなく、常識を知らない若者がますます増えている気がする。

とは言いながら、今度は自分のことを振り返ってみると、やはり社会体験が少ない若い間は、いろいろ失敗もあったと思う。大学院生の時に指導教授からコピーを頼まれて「いつでもいいから。」という言葉を実に受けてずいぶん後になつてコピーを届けたこともあり、今思えば、先生は本当は急いでいたのだけれども私の都合も考えていつでもいいという言葉をつけ加えてくれたのだと思う。

しかし、私の時には、私の周りの大人が時には厳しく怒り、ときには優しく諭し、少しづつ社会のルールを身につけていくというプロセスがあったと思う。何もわからなかった私を育てていただいた恩師や先輩の方々に心から感謝をしなければならぬ。それに対して、今の若者は大人になるベースが昔に比べて遅く、つまり、20年ほど前の若者に比べてずいぶん子どものままであるということの責任の一端は、周りの大人、親たちにもあるのではなからうか。つまり、常識や礼儀に適ったことができない子どもたちを叱ることができず、子どものままに育つことを許し、その成長の芽を摘んでいるのではないだろうか。

また、今の大学生にも問題があるのは、そのような自分たちを顧みて少しでも成長しようという気持ちが見受けられない。自分らしくあればよいということのはき違えではないか。

学生に細かい事までいちいち教えないでほしくないのは、教える方としても教えられる方としても煩わしいことであるが、それも教育のうち、社会に出る前の若者を本当の意味での「オンリーワン」の社会の役に立てる存在にするために、「うぜー」と思われているのだから、思いながら、気持ちを奮い立たせて論している今日この頃である。



安心できる関係を生みだす体験

社会学部長 森田 明美

社会学部教授

1951年愛知県生まれ、東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻修士課程修了。1994年東洋大学社会学部准教授、1997年教授。2013年4月から現職。専門は児童福祉。卒業生たちと特定非営利活動法人こども福祉研究所で実践研究を進める。東日本大震災復興支援では、東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長として活動している。近著『子どもにやさしいまちづくり第二集』日本評論社。『女性と福祉』ミネルヴァ書房等多数。

社会学部は、全学科で取り組んでいる社会調査や実習、インターンシップ、ボランティアなど、フィールド活動を積極的に推奨している。

なぜ、こうしたことを重視しているかというところにはいくつかの理由がある。まずは、狭い大学の座学や体験だけで、学生時代を終わらせてほしくないからである。

社会に出てからの失敗は、責任を伴うがゆえにできれば避けたい。だが学生時代ならば、多少の失敗は許される。むしろ、挑戦と失敗を繰り返すことで、見通す力ややり遂げる力がついてくる。だから、できる限りたくさん体験や失敗はできる機会を提供したいと考えて、教育にあたっている。

学生の具体的な姿を加えて、このような話を先日保護者のみなさんとの会合で話をさせていたところ、その場でかなりの保護者の方から「自分もそう思っている」と共感の反応をいただいた。

我が家の子どもも同様だという保護者の方は、

「アルバイト先からとても重宝されていて、その店長が異動することになったら、遠いその店までアルバイトに行くという。いろいろな場所です、いろいろな人と出会い、いろいろな体験をもっとすればいいのと思うが、『めんどろ』というのですよね」といわれる。また他の方は、「もともとたくさん経験、海外研修や留学、ボランティア等積極的な学生生活を送ってほしいがどうも腰が重い」といわれる。実に理解ある保護者の方々である。これは子どもたちの成長を願い、多様な体験をしてほしいと願っておられ、育てておられるにもかかわらず、なぜ学生たちは新しい関係や場を作り出すことに保守的になるのだろうか。

今私に関わっている東日本大震災子ども支援の場面であつた子どもたちの語りが、そのなぞを解くカギになるのかもしれないので、紹介してみたい。

それは、宮城県石巻市に住むひなこさん(中2)の話である。

ひなこさんは、東日本大震災で祖父母を失っている。彼女は震災後、石巻市を拠点に子ども支援として展開されている「日日こども新聞」の3年の記者活動によって、ようやく祖父母を震災で亡くしたことを語ることができるようになったという。取材活動では、相手が震災をどのように考え、どのような被害を受けているかということが分かる。相手のことを聞くことによってどのよう

な語り方をすれば自分のことを受け入れてもらえるかわかるので、自分の体験を整理し、言葉にすることによって、次に動き出すことができるようになったというのである。

とても優しい若者たちであるからこそ、相手がどのような体験をし、傷つき、考えているのかがよくわからない中では、相手がどのように自分の話を受けとめてくれるか、自分の話が相手を傷つけるかもしれないことを考えると、まず自分のことを語ることができないのである。また自分という存在を受け入れてくれるかがわからなければ、どのように受け取られるか不安で、語り出せないということもできる。

相互の違いを恐れずに語りあうことが、お互いの理解につながることは、実はそれ以前に人は一人ひとり違うことが当たり前なのであるが、現代社会では人が集まる場では、違うことが許容される空間や人間関係が前提であるとはとても思えないので、大切な場であればある程、自分を出せないのである。

このように、そうしたそのままの自分を出せる空間や関係を作り出すことが学生にとっては、大学、職場、家庭、地域など、どこにいても重要な課題になっているのである。だからこそ、その課題を解決するために、多様な考え方や価値に出会い、受け入れ、その中で自分を生かすことができる力を身につけてほしいと考えている。

だがその力は、残念ながらいくら知識や技術を身につけても発揮できない。それを具体化できるのは人がいる場であり、その中で体験が育てるのである。だからこそ、私たちは学生たちを様々な体験に誘い出している。そこで学生が安心できる関係の重要性を実感し、そうした場や関係を作り出す主体に育ってほしいと願うのである。



理工学部の基礎教育と 国際化への取り組み

理工学部長(兼)工学部長 吉田 泰彦

理工学部長

1952年 東京都文京区に生まれる。東京大学合成化学科卒業。同大学院博士後期課程修了。工学博士。東京大学助手、東洋大学講師。助教を経て1992年東洋大学応用化学科教授。2006年工学研究科委員長。2009年副学長、2011年より理工学部長。

専門は高分子化学。

主な著書は「高分子材料化学」「炭酸ガス問題解決への展望」「プラスチック材料科学ハンドブック」「化学の夢」「生分解性プラスチックハンドブック」「専門基礎ライブラリー 新編基礎化学」「専門基礎ライブラリー 生命科学 改訂版」「専門基礎ライブラリー 環境科学 改訂版」。

浦水懇談会や保護者面談において保護者の方々からは就職への強い関心が見受けられます。それも当然ではありますが、大学に入学して一番大事なことは、その分野での実力をつけることです。特に、ある入試方法で入学した学生の

六人に一人は退学するなど全学生の修業年限以内の退学率は一割弱であり、修業年限卒業率は約八割前後と、大学を四年で卒業できない学生が多くおります。学生に求められることは就職の前に修業年限内(四年間)に実力をつけて卒業することです。ここでは理工学部の基礎教育の実情と国際化に向けた取り組みを紹介いたします。

一般的に、工学系・理工学系学部の原級率(留年率)は文系学部よりも高くなっております。工学部は平成二十年度まで学生募集しており平成二十三年度の修業年限で卒業した学生は約七割

であり、平成二十七年(八年目)においても十名前後の学生が在籍しております。これは工学系・理工学系の学部の多くで「四年次の卒業研究関連科目」が必修であり、その履修に際して三年次修了までに一定の条件(一定単位数の取得と特定科目の履修)を満たさないからです。特にこの条件においては、必修科目の数学・物理・英語などの基礎教育科目の理解が不十分なことから単位不足となり原級(留年)という結果につながります。平成二十一年度より工学部から改組した理工学部では学生・教職員の努力の結果、修業年限内の卒業率が約八割へと顕著に増加いたしました。

理工学部では全学科が数学を必修科目としています。これは理工系の全分野が数学を基礎としているからです。この基礎の数学を春学期において約四割の新入学生が単位を落とし、秋学期に履修しても全体の約二割五分の学生が単位を落とししています。このような結果は、学生が大学においても高校時代と同様に勉強していかなくとも単位を取得できると安易に考えるからです。大学は出席率が高くとも教科内容を理解しない場合には単位取得ができず卒業もできないということを、早く理解しなければなりません。このように留年する学生の多くは数学・物理・英語の基礎教育科目でつまづくことが多いようです。講義についていけない学生や理解不足の学

生にはキャンパス内に設置した基礎教育センター(学習支援室)において、高等学校での教育経験のあるアドバイザーの指導を受けることができる体制にしております。しかし、退学・留年する学生の多くは学習支援室などを利用しない場合も多く、そのような学生をどのように指導していくかが教員の課題となっています。

次に、講義への出席不良学生は全般的に取得単位が不足し原級(留年)となる可能性が高くなります。4月と10月の学期開始時に必修科目への出席状況をチェックし、欠席の多い場合、学生・保護者の方に連絡をしています。さらに、例年6月に川越キャンパスで行われる浦水懇談会において保護者・学生との面談や、9月と3月に単位僅少学生(取得単位不足の学生)を中心にして保護者の方との学修相談会を行っています。このように、出席チェックにより学生を注意し、学期毎にその成績を学生・保護者・教職員で確認し、原級率(留年)を減らしてまいりました。

さらに理工学部の国際化の向上のためニューヨーク・ペイス大学への海外研修プログラムによる短期留学を企画し、ホームステイ、米国大学での専門科目研修、米国学生との交流や自然史博物館等の見学などを通じ、英語のコミュニケーションに親しむ学生が年々増加しております。

学生の将来のため学生が実力をつける機会を理工学部は提供・指導しております。

が、特に重要なことは学生の自発的な努力であり、保護者の方々のご協力です。





総合情報学部 の再生へ向けての 施策とその後の経過報告

総合情報学部長 杉本 富利

総合情報学部教授

1951年、宮崎県日南市に生まれる。1975年に電気通信大学電気通信学部電波通信学科を卒業。1978年に同大学大学院電気通信学研究科経営工学専攻修士課程を修了。1998年に東洋大学大学院工学研究科より博士(工学)取得。1978年から2008年までに東洋大学工学部情報工学科の助手、講師、助教授、教授を経て、2009年東洋大学総合情報学部教授となる。専門領域はヒューマンインタフェース、認知心理学である。

総合情報学部は2009年4月に新設されました。そして昨年度と一昨年度に卒業生が社会へ巣立って行きました。私は昨年度から総合情報学部長に就任しましたが、学部には問題が山積しており、その解決策として昨年度のこの甫水会報に「総合情報学部の再生へ向けて」と題して幾つかの施策を示しました。今年度はそれらの施策の実施状況を報告いたします。

理系イメージの払拭

総合情報学部が基盤としてしている情報スキル、情報リテラシーは文系と理系の学生が共に無理なく学べる領域です。このことを在校生にも、入学を希望する高校生にも伝えるべく、参考図1、2に示すようなパンフを作成して広報に努めました。その効果もあり、今年度の入学試験においては文系科目で受験した入学志願者が増えて、全体としても昨年度よりも入学志願者を増やすことが出来ました。



参考図1、2

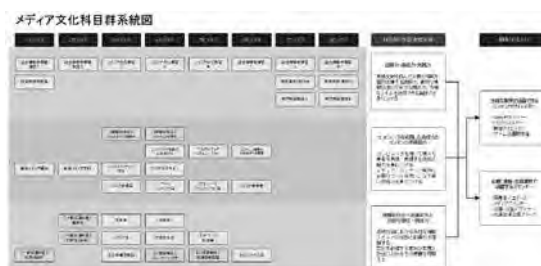
情報スキル教育の徹底

総合情報学部の教育方針は、入学学生全員に情報スキルを徹底して身につけさせ、その後に情報科学系、環境情報系、心理情報系、メディア文化系、それぞれの専門科目群の専門知識とスキルを上乘せして統合し、様々な領域で「情報の創り手、使い手」として活躍できる能力を授けることです。この情報スキル教育を徹底するために、1年次のブラクティス(基礎演習)においてITパスポート100%合格、基本情報技術者試験30%合格の数値目標を掲げ、そのためのプログラムを実施しています。結果はまだ具体的には出ていませんが、学生には「やらねばならないことを死にやる」意識を植えつけて厳しく教育して行きたいと考えています。

開講専門科目体系の「見える化」

総合情報学科には4つの系、情報科学系、環境情報系、心理情報系、メディア文化系があります。この系は専門科目をグループ化した科目群であり、一つの科目群には通常の1学科分の専門科目が開講されています。総合情報学科の中に4学科分の専門科目が開講されていることになりました。これらの専門科目を科目群ごとに参考図3(メディア文化系の系統図)に示すような系統図にまとめ、それぞれの色分けされた帯の系統の科目を履修することによって身に付く知識とスキルを具体的に示しました。また、その知識とスキルを持って社会に出て期待される人材像を具体的に示しました。

この系統図を参考にすると、学生は将来の進むべき道を具体的にイメージできて、そのために学ぶべき科目を知ることが出来ます。そして、学生自身の履修プランを立てることが出来るのです。



参考図3

PBLの徹底

PBL(Problem Based Learning)教育の集大成は卒業研究および卒業制作です。これらを履修することによって、文章力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力が培養されます。今年度の春 semesterでは教員の指導によって卒業研究Iと卒業制作Iをあわせての履修率62%(270名中168名履修)と成りました。目標の75%には及びませんでした。来年度には目標を達成できるようにしよう。

キャリア形成支援プログラム

高校生から大学生への移行を促し、大学での学習生活に対する基本姿勢を身に付けさせ、最後に大学生から社会人への移行の準備として就職意識を醸成することを目的としたプログラムです。このことによって、就職率100%を目指し、就職活動をせずに、いわゆるフリーターになる学生をゼロにしたいと考えています。

また「育てる教育」を掲げてクラス制度がスタートしました。これは教員一人に10名ほどの学生を割り当て、Face to faceある、これはMentorshipの教育・生活指導を行う制度です。キャリア形成支援プログラムとクラス制度とが相俟って学生の意識改革に多いに役立つものと期待しています。



グローバル化を推進する国際地域学部

国際地域学部長 藤井 敏信

国際地域学部教授

早稲田大学理工学部建築学科
同大学院建設工学博士課程満期退学、博士(工学)。
1997年、国際地域学部の創設と共に着任。
専攻は都市・地域計画、まちづくり。

1. 国際地域学部の特色

国際地域学部は国際化を推進する東洋大学のミッションを担った、いわばテーマ型の学部です。「Think Globally, Act Locally」を標榜してグローバル化に対応しつつ、現場に赴き、「地域づくり」や「観光振興」を目的として、地域の活性化に貢献できる創造的な人材を社会に向けて輩出するのが学部の目標となっています。

長い歴史と伝統を持つ東洋大学の中では、比較的新しい学部ですが、今年で創設以来十七年目を迎えました。昨年度から新たに整備された白山キャンパスに移転しました。一昨年の九月には全国の国公私立大学の三一学部の一つとして、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択されましたので、様々な活動を開始・推進しています。国際地域グローバルオフィスを雨水会館1階に設置し、海外研修の拡大や語学力の強化を行い、交流シンポジウムを開催して国際化に対応する人材の輩出に努めています。さらに、タイのバンコクに海外展開のためのオフィスを設けました。大学のホームページで「グローバル人材プログラム」という欄を設け、逐次活動を報告しています。

2. 国際地域学とは

さて、学部の名称である「国際地域学」は新しい学際領域です。実は、学部着任以前に九州で磯村英一元学長(故人)にお会いする機会がありました。その際、「地域」という概念を大切にしてほしいと御示唆をいただいたのを、今でも鮮明に覚えています。近年、あるいは震災の直後からか、「地域」や「コミュニティ」を再考する風潮が強くなってきたように思います。この「地域」について、国際的なひろがりから身近な環境までを対象として捉え、生起する生活文化、経済、環境など様々な分野を実践的、横断的に追究するのが「国際地域学」です。急速に変化している現代の経済社会ですが、地球環境から相隣環境までを視野に入れつつ、現場(生活の場)としての地域(コミュニティ)に依拠することで、従来のタテ割りの学系をヨコに繋いだ将来の「新しい学び」が展開していくと期待しています。

3. 国際地域学部の活躍

近年、グローバルな市場の進展により先進国では若者の就職が次第に困難になる傾向が伺えますが、本学部を構成する国際地域学科と国際観光学科の2学科で見ますと、前者は国際展開につながる科目の配分とツールとしての語学力の習得、後者は好調な観光産業との連携などにより、幸いなことに比較的高い就職率を維持しているようです。

今年度の学部の教育・研究活動について報告します。まず、国際化につながる活動について、①オーストラリアのカーティン大学の学生を招いて、東京のまち歩きを実施し、学生間でのワークショップ、シンポジウムを開催しました。韓国から来校した学生との

交流会も行いました。夏期期間には、モンゴルに出かけ、モンゴル科学技術大学の学生と本学部学生によるウランバートル市のまちづくりのワークショップを共同開催しています。各教員によるゼミ単位での専門を活かしたタイ、フィジーなどでの海外研修も盛んに行われました。②学部主催の研修も、オーストラリア・カーティン大、イギリス・ボーンマス大での語学と地域・観光研修、フィリピン・UPセブ大学での地域開発の研修、サウスウェスタン大学での語学研修、韓国・建国大学での地域づくりと文化を学ぶ研修などを実施しています。③国際地域学科では英語で学ぶ専門科目を学科専門科目全体の3割とし、意欲的な学生を対象にしてグループ化し、彼らが英語でコミュニケーションできる場所も確保して、統一したプログラムの履修を推進しています。④すでに7年目になりますが、各国の大使を招聘し、大使リレー講座を継続させています。

さらに、国内の活動では、各地からの要請に基づき、大震災被災地などで地域づくりや観光振興に関わっています。一昨年度からは合同ゼミによる「能登ゼミ」を組織して能登の中山間地域で現地研修を行っています。この様子は連日地元の新間に掲載されました。

4. 国際地域学部の将来

21世紀は大きな変革の世紀となります。資源の限界を基調とした地球環境問題、持続的な開発の模索、格差と貧困の拡大など、さまざまな課題が地域づくりに関わる私たちの前にあります。これら難問の解決に向かうとき、国際地域学部への期待がますます大きくなることは容易に予想されるところでしょう。複雑で多様に展開する「地域」からの発想―そこには集まって住む人々と、そのよって立つ環境とが紡ぎだす無限の可能性が秘められています。

創設当初からのミッションを掲げつつ、豊かな地域の未来を拓く国際地域学部の研究・教育活動に、関係各位の変わらぬご支援をお願いする次第です。



生命科学部の取り組み

生命科学部長 岡崎 渉

生命科学部応用生物科学科教授

1949年宮城県仙台市生まれ、1955年より浦和在住。東洋大学工学部応用化学卒業、同大学院博士課程修了、工学博士（東洋大学）。（株）アミノを経て、1997年生命科学部助教授、2008年同教授、2012年12月生命科学部長、地域活性化研究所長歴任。専門分野は応用微生物学、酵素科学、香粧品化学。

生命科学部と食環境科学部

板倉キャンパスは、生命科学部（生命科学科、応用生物科学科）、食環境科学部（食環境科学科、健康栄養学科）の2学部4学科体制で運営されています。また、生命科学部3学科体制（旧カリキュラム）食環境科学科の3～4年生は、「生命科学部食環境科学科」の学生として卒業まで勉学に励むことになります。

学習支援

若手の教員によって学習支援室が運営され、講義の予習・復習サポート、および、バイオ技術者認定試験の受験指導等を行っています。また、学習支援室の開室時間を1限の授業の準備ができるように、午前8時に繰り上げ、開室時間延長による利便性の向上を図ることができました。

板倉図書館では、蔵書検索以外にも利用できるPCの設置、ゼミ単位などで利用できるスペース

を開設するなどいっそうの利便性の向上を目指しています。

資格取得の促進を行っています。高等学校・中学校教諭免許（理科）取得のため教育実習などのサポート強化、バイオ技術者認定試験（中級・上級）については、授業科目「ライフサイエンス基礎Ⅰ・Ⅱ」の中でフォローするとともに専門科目間の連携を強化して高い合格率を目指しています。また、全学的に各キャンパスに専任の職員を配置した「教職支援室」を設置し、履修・就職相談、就職試験対策として模擬面接などを行っています。

キャリアアッププログラム

卒業、就職活動を踏まえた活動を行っています。初年次導入教育として設定されている「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」において、大学生活設計、自身を知るの他、アカデミックスキルの習得、学習目標・動機の獲得、キャリア観・コミュニケーション能力の育成を行い、進路検討、就活にスムーズに入ることができるようになっています。来年度の就職活動（現3年生）は、開始時期など大きく変わります。

語学力向上

英語学力アップを目指して「英語による専門講義初級プログラム」を導入し、ライフサイエンス基礎用語の習得、海外情報収集能力、国際学会発表、海外留学に対するモチベーション向上を図るようにし、専門的かつグローバルな人材育成を行っています。また、TOEICテストの導入により自分の英語力を常に確認できるようにしています。大学院生命科学研究科で実施される国際シンポジウム等への学部生の積極的な参加を推奨しています。

女子運動部の活躍

〔陸上部〕

9月28日に全日本大学女子駅伝の関東地区予選会が千葉県で実施され、板倉キャンパスに本拠地を置く陸上部女子長距離部門が2年連続でその大会への出場権を獲得しました。10月26日（日）に第31回全日本大学女子駅伝が宮城県仙台市で開催され、出場します。

〔サッカー部〕

創部2年目の「女子サッカー部」は、関東リーグ2部上位に位置し、1部リーグ昇格を目指して健闘しています。ご声援ください。



新設2年目を迎えた 「食環境科学部」の近況

食環境科学部長 林 清

食環境科学部 教授

1952年 愛知県刈谷市に生まれる。名古屋大学農学部農芸化学科卒業。農林省、食品総合研究所研究員、農林水産省首席研究開発企画官(独)農業・食品産業技術総合研究機構 理事、食品総合研究所 所長を経て、2013年4月より現職。
専門は食品科学、微生物利用、酵素利用(農学)
主な著書は、食品技術総合事典(朝倉書店)、総合 調理用語辞典(社団法人 全国調理師養成施設協会)、Biocatalysis and Agricultural Biotechnology(CRC Press)等多数。

1. 食環境科学部の概要

板倉キャンパスに1997年に創設された生命科学部は、当初は生命科学科のみでスタートしました。2009年には、バイオテクノロジーに対する関心の高まりをうけ、応用生物科学科と食環境科学科が創設され3学科となりました。そして2013年には、新たに「健康栄養科学科」を新設し、生命科学部から分離した食環境科学科とともに、2学科で構成される「食環境科学部」が創設されました。

新たな学部が創設された社会的背景は、言うまでも無く「食と健康」です。平均寿命の延伸と出生率の長期的な低下により、2050年には、ほぼ3人に1人が65歳以上となる超高齢社会を迎えるとともに、食生活の多様化による食習慣の乱れや運動不足等により生活習慣病が増加し、食と健康に関わる問題がクローズアップされています。そこで、食環境科学部では、食品の機能科学や栄養・健康科学を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成し、国民が生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活が送れる社会づくり、国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現(健康寿命の延伸)に貢献して行きます。

2. 食環境科学科の近況

食環境科学科(入学定員120名)は、フードサイエンス専攻(入学定員70名)とスポーツ・食品機能専攻(入学定員50名)の2専攻で教育を行っています。

フードサイエンス専攻では、これまでの生命科学部食環境科学科の教育を踏襲し、食品の機能科学、栄養・健康科学、食品の安全などの専門知識や、食育を通して食文化の維持・向上につながる学問領域を学ぶことにより、先端的バイオテクノロジーを基礎とした食品機能についての知識や食品の安全を高度に追及できる専門能力、さらには健康の視点から食をコーディネートする総合力の育成を行うことで、地球規模での食糧生産や加工および流通等の食環境を、総合的に理解し食の安全を追及する食品技術者を養成します。

スポーツ・食品機能専攻では、生命科学の知識を基礎に、栄養学、食品学、衛生学、人体の構造と機能、健康増進のための運動と食品が持つ機能(栄養)の関係を学び、身体活動に伴う食事・栄養の摂り方などの専門知識を修得し、食品機能が人体におよぼす影響から生命の営みを科学的に探究する食品機能科学、スポーツ栄養科学を熟知した食品技術者を養成します。また、この専攻では、板倉キャンパスにある陸上競技部女子長距離部門及びサッカー部女子部と連携し、スポーツ活動の中での学部教育についても実践しています。



ち社会で活躍できる人材の育成に努めておりますので、会員皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

3. 健康栄養学科の近況

健康栄養学科(入学定員100名)では、生命科学分野の幅広い知識を有し、健康と食との間をつなぐ専門的知識と技術を修得し、医療・福祉・栄養行政の分野の専門職を目指して、社会に貢献できる高度な知識と技術力をもった管理栄養士として、地域社会に参画し、人々の生活の質(QOL: Quality of Life)の向上に貢献できる人材を養成します。管理栄養士の活躍の範囲は今後、給食サービスからメデイカルサポートへと移行の時期を迎えつつあり、今後の職業ニーズが高まることが期待されます。

本学科は2年目となり、2年生のカリキュラムでは講義に加え実験・実習科目が多く、体験を通して学ぶ科目が増加しています。3年秋学期から4年次に学外の病院や保健センター等で指導を受ける「臨地実習」や、管理栄養士国家試験受験対策システム(Active LMS)による学習支援も開始されます。



4. やりごと

食環境科学部では、食品の機能を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、健康格差を生まない社会創りに貢献できる人材を育成します。また、板倉キャンパスに併設されている生命科学部との協働により、再生医療、革新的医療診断システムの開発など、総合大学の強みを生かして健康寿命の延伸に取り組めます。さらに、板倉キャンパスにある陸上競技部女子長距離部門及びサッカー部女子部とも連携し、スポーツ栄養科学をスポーツ活動の中で実践し、発展させます。

今後とも、甫水会の皆様の暖かいご支援・ご協力をお願いいたします。



学部開設10年、新たな挑戦

ライフデザイン学部長 白石 弘巳

ライフデザイン学部生活支援学科教授

1979年東京医科歯科大学医学部卒業。同大学院修了(医学博士)。専門は精神医学、精神保健学。2005年4月ライフデザイン学部開設に伴い着任。2013年4月から学部長。精神疾患に罹患した人の地域生活支援、家族支援、精神保健福祉法制度などに関する研究の傍ら、国や東京都等自治体の精神・障害分野の各種委員を歴任。

ライフデザイン学部の近況

本年はライフデザイン学部が開設されて10年目になります。この節目の年に新体育館やテニスコートの建設、講義棟の改修により学生ホールやミーティングルームの拡張が行われました。ミーティングルームでは週2回、学修支援も行われます。さらに本年は、朝霞図書館の改修も行われています。リニューアルされた朝霞キャンパスには是非足をお運び下さい。

さて、本学部では20周年に向けて更なる飛躍を期し、東洋大学が掲げる哲学教育、キャリア教育、グローバル化への対応という教育目標を踏まえ、「21世紀の生活をデザインし、創造する」ための学問であるライフデザイン学の理念の教育、研究、社会貢献を通じた展開に取り組んでいます。今回は、いくつか特徴的なプログラムのご紹介をさせていただきます。

「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育プログラム

ライフデザイン学部では、教職員と学生が一体となって社会貢献活動に取り組む中で、現場で考

えつつキャリア形成を図る「アクティブ・ラーニング」を重視した教育を行っています。その中には、「子育てサブリ」(子ども支援学専攻など)、「Keep Active」(志木市子ども教室)「健康スポーツ学科」(北区高齢者の見守り学生サポーター)「生活支援学専攻」(鯉ヶ沢まちづくり(域学連携プロジェクト)総務省)「人間環境デザイン学科」などがあります。プログラムは総じて行政や近隣住民の方々から高く評価され、本年は「子育てサブリ」は「子育てひろば」、また「Keep Active」は新しいタイプのスポーツクラブである「健康スポーツ倶楽部ASAKA」として、さらに内容を充実させました。このほかにも、少子高齢社会やオリンピック・パラリンピックなど日本が直面する重要課題に積極的に関与する中で、教育成果を上げていくための新たな企画を検討中です。

キャリア教育

卒業生の進路は、受験生が学部選びの際に大いに参考にするポイントの1つといわれています。ライフデザイン学部では既に6期生までが社会人として巣立っています。「福祉・介護」「保育・幼児教育」「健康づくり」「運動支援」「人間と環境を大切にするデザイン」などの専門性と技術を生かした職場に就職する学生の他、いわゆる一般企業に就職する学生も決して少なくありません。そのため、通常の授業やキャリア支援センターの就職支援プログラムを充実させるとともに、卒業生との交流の場となる「アドボカシーセミナー」(生活支援学専攻)や「リカレント教育」(子ども支援学専攻、教

職支援室による面接、論文などに関する実践的指導(健康スポーツ学科など)、製品開発にたずさわった一流の講師を招き、自ら「デザイン思考」の過程を体験する「デザイン未来塾」(人間環境デザイン学科)など、学科や専攻独自のキャリア支援プログラムを設け、学生を幅広くサポートしています。

グローバル化への対応

東洋大学は、海外の大学や機関との国際交流を強化しています。ライフデザイン学部でも、ドイツ体育大学等への研修、韓国での介護施設研修や中国・韓国等への建築・環境デザインゼミ、ニュージーランドへの語学研修などを実施しています。最近では、東洋大学と協定を結んでいる大学への留学を希望する学生も増えてきています。

こうした国際化の流れを意識し、英語能力の向上が大きな課題となっています。ライフデザイン学部でもTOEIC試験を年間1回は受験して英語力の向上に努めるよう、学生に呼びかけているところです。また、近い将来留学生の受け入れも検討していく方向です。

これからは、教員も一層語学力の向上を求められそうです。

追記..

ライフデザイン学部では、1年遅れて開設された人間環境デザイン学科が10周年を迎える平成27年に開設10周年の記念行事を計画しております。詳細は追ってホームページ等に掲載する予定です。多数のご参加をお待ちしております。

平成二十六年 度 四 校 舎「甫水懇談会」

白山校舎甫水懇談会に協力して

教務部社会学部教務課 課長 花田 洋一

平成26年度の白山校舎甫水懇談会は、天候が悪
い中、約600名の多くの会員の皆様にご参加い
ただきました。

午前10時30分から、井上円了ホールで懇談会が
始まり、竹村学長の挨拶に続き、大学生に対する就
職支援で著名な福島直樹氏の「採用スケジュー
ル変更で、お子様の就活はどう変わるか」というテ
ーマで講演が行われました。

このところのゆるやかな経済状況の改善のも
と、大学生の就職状況も上向きになってきている
と言われているものの、企業の厳選採用の基調は
続いており、学生にとっては相変わらず厳しい状
況であることには変わりがないようです。ご父母
の皆様も、お子様の就職活動がどのような流れで
進んでいくのか、どう準備を進めたらよいか、ま
た、企業が学生に求めているものは何か等々につ
いて、当然不明な点もあることでしょうし、どのよ
うにお子様と接し、力添えができるかとお感じに
なっていることと思います。

講演では、福島氏が採用試験の具体例を取り上
げながら、時折参加者の笑いを誘いつつ、皆様の疑
問点について適切に応えられたわかりやすいお話

であったと思います。毎日の学業を基本に知識を
蓄積する一方で、分野は問わず、アピールできる具
体的な活動・体験を有すること、さらに経験をもと
に職業に対するしつかりとした意識が醸成されて
いることが就職活動の結果を左右すると感じまし
た。いま大学では、企業が求める人材像と学生の志
向を考慮した上で、広範なキャリアアップのため
の行事を行っており、お子様には授業を中心
に専門性を深めると同時に、各種行事のプログラ
ムにも参加した上で幅広い教養を身につけていた
だきたいと思っています。

当日の午後のプログラムでは、甫水会会長の挨拶、
学部長紹介に引き続き各学部に分かれて学部・
学科の説明が行われました。私が担当する社会学
部では、まず森田明美学部長から、学部全体の教育
方針をはじめ、教育内容の特徴、教育現場の具体的
な事例、日ごろの学生の活動や様子等について全
体説明と報告が行われました。その後、各学科に分
かれ学科の全体説明に引き続き、教員との個人面談
が行われました。

多くの父母の方々にご参加いただき面談が行わ
れましたが、成績に関することをはじめ学習面に

関すること、海外留学、奨学金、就職等々様々なご
質問があり、予定時間を延長し行われた学科もあり
ました。並行して、キャンパスの諸施設をめぐる
校舎見学会が行われましたが、こちらにも多数の
ご参加があり、学生の日常空間を感じていただき
ました。最後に、場所をスカイホールに移し、会員
の皆様と学部長をはじめとする教職員が一堂に会
した懇親会が開かれ、ここでも多岐にわたるご質
問をいただきながら、懇親を深める良い機会とな
りました。

今回久しぶりに甫水懇談会に参加させていただ
きました。ご父母の方々の大学に対する期待の
高さを改めて感じると同時に、様々な疑問、不安も
持たれており、大学からの適切な情報発信の重要
性を確認しました。近年では特に、卒業後の進路に
ついてご関心が高く、今回も多くの方が就職に関
する個別相談会に参加されました。

これからも、時代の変遷に伴い、皆様方のご期待
に添えていくことは勿論ですが、そのために本学
がどのような方針で臨み、大学教育を展開してい
るのかを様々な機会を通じてお伝えし、皆様方と
の相互理解をはかることが大切であると今回の懇
談会を通じ強く感じました。

川越校舎雨水懇談会に協力して

川越事務部教学課 課長補佐 大野 幾代

平成26年6月29日(日)に川越キャンパスにて、雨水懇談会が開催されました。当日は11時から受付が開始されるにもかかわらず、ご父兄の雨水懇談会にかかる熱心さゆえか、はたまた川越駅から15分に1本という電車の無さか、受付開始40分以上も前からみえられたご父兄もおられ、準備後の余裕もなく受付開始となり総計267名のご父兄が来場されました。来年は、もう少し余裕を持った受付開始となるよう事務局の集合時間をもう少し早めないといけないかと思案しております。

午前中は、(株)ソーシャルデザインング研究所人事コンサルタントの櫻井照士氏の「就職活動において親ができること」の講演が行われました。時間も押し詰まってしまっていたため質問等の場を設けることができませんでした。残って質問されていたご父兄もおり、やはり入学後は卒業就職へのご父兄の関心は強いと改めて思いました。

昨年は、来場されたご父兄より「学科説明がある」と聞いていたが、ないのでしょいか」との質問が数件あり、また事前にいただく質問内容も「成績表の見方が知りたい」「就職準備はいつ頃からしたらよいのか、就職までの流れはどのようになるのか」

「就職するうえでどのような資格を取っておいた方がいいのか」など今年度も皆様に共通な質問を多々いただきました。そのため、今年度は学科説明を行い、その中で、事前の質問に対する回答や、カリキュラム体系、履修の仕方、成績表の見方、就職状況などパワーポイント等を利用して教員から説明をしていただきました。これにより、個人面談の方も比較的時間が短縮されたのではないかと思います。ですが、それでも15分ほどの面談予定時間を学科によっては30分近く、ご子息の学校での様子や履修状況、成績状況など教員と話されていたご父兄もいらっしゃいました。

また、1年生のご父兄に対し、「成績も出ていない状況では個人面談を行ってもあまり話す内容がない」との教員からの意見もあり、初の企画として、1年生のご父兄と2年生のご父兄の希望者を学科説明後、別会場で親と子で一緒に考える「学生生活を充実させるためのPROGテスト活用法」と題して、PROGテストを行った業者に来ていただき解説を行ってもらいました。ご父兄あてに説明をするのも業者にとっては初めての試みであったようですが、ご父兄も熱心に聞かれておりご子息

との会話の話題提供の一助になったのではないかと思います。

総合情報学部においては、今年度からクラス担任制を取り入れたことにより、個人面談は自分が担当しているクラスのご子息のご父兄と面談していただきました。ご父兄にとっても教員にとっても情報交換が出来て良い機会を持てたと思っております。

自由見学においては、機械工学科製図室、応用化学科学生実験室、建築学科製図室や実験室、総合情報学科実験室、バイオ・ナノセンター棟など、ご子息がどのような機器を利用しどのような実験や製図などを行っているのかを見ていただけたかと思えます。あいにく個人面談開始あたりから懇親会開始前くらいまで大雨になってしまいました。が、面談終了後大雨の中を建物が離れているにもかかわらず実験室を見に行ってくださいるご父兄もおられ、教育に対する熱心さを痛感致しました。

毎年、どのような懇談会の企画にするのか事務局と雨水会と打ち合わせを行いますが、打合せ時期が早すぎるのか、企画がなかなか決まらないためか、ご父兄の皆様へ懇談会のご案内を送るまでに内容を詰めることができておりません。そのため、事前にお知らせしていた内容と異なることが今年は多々ありましたが、少しでも来て良かったと思えるものにしていきますので、ぜひ来年も足を運んでいただければと思います。

板倉校舎甫水懇談会に協力して

板倉事務部板倉事務課 課長補佐 叶内 孝

今年度の板倉キャンパスにおける甫水懇談会は、6月22日に開催されました。内容として、は大学紹介に始まり、就職講演会・学科別説明会と校舎見学会・個別面談へとお集まりいただきました保護者の皆さまへは充実した内容でご案内できたかと思えます。年々参加いただいております保護者の皆さまは少しずつ増える傾向にあり、関心の高さを感じることで、私の方もより真剣な気持ちで懇談会へと参加させていただきました。

全体会で行なわれました就職講演会では、(株)エービーシーエデュケーションよりチーフコンサルタントの山本みどり氏をお招きして「採用側から見た就職活動の現状と学生の傾向」をテーマとした講演を行なっていただきました。主な内容としますと、2016年度の採用ではスケジュールが大きく変化することの説明に始まり、就職に際して面接時の企業側から見る学生の見方、企業が求める人材、近年の学生に多い傾向や就職活動までに必要なことなどをお話いただきました。熱心に聞き入っていた皆さまは、近年の就職状況への不安が大きいゆえに特に高い関心を持ってもらえることと感じました。保護者の皆さまは、お

子様の最も身近な相談先であります。このような機会に更に関心を高めていただき、是非とも低学年のうちから就職活動に大きな力添えをいただけることを願いたいところです。しかし、一方では大学生になると社会的にも大人として扱われ、大学の就学関係諸手続きや当然就職活動も学生自らが主体的に動いていかなくはなりませんので、あくまでもお子様本人の意思を尊重して保護者としては、良きアドバイザーとして悩んだときの心の支えとなっていただけだと思います。

今回、私の方で直接携わらせていただきました個別面談では、様々な相談が寄せられました。内容のひとつとしては理系の学部と言うこともありまして、特に低学年では大学の授業についていくことに対しての不安をお持ちの保護者様からのご心配の声は少なくはありませんでした。これに対しては、板倉キャンパスでも設置してあります学習支援室の利用をご案内いたしました。各個人の学力レベル引上げに対し、学生本人のやる気を大切にして手厚いサポートをしておりますので有効にご利用いただきたいと考えております。また、保護者様にお送りしております成績表につ

いては、修得単位や成績評価的な良し悪しをご覧いただくことも当然大事ではありますが、継続的に経過を追っていただき、急激な落ち込みや続落などがあつた場合には生活面においても何か変わったことがないかなどがご注意いただくポイントかと思いました。この点などで感じましたが、私たちも単に成績表の評価だけではない総合的な見方が出来る個別相談を今後も行ないたいと考えております。

板倉キャンパスは、敷地の大きさは本学のキャンパス1番でありながら、学生数は最も少なく、事務局規模も小さな組織で、比較的少人数のスタッフで運営させていただいておりますが、学生一人ひとりにより多くの目を配れる、アットホームなキャンパスであります。特に板倉キャンパスでは教員と職員の連携も強く、学生に親切的な指導と案内をより総合的にサポートできる体制をとっております。キャンパス内におきまして学業をサポートするイベント、キャリア教育(就職)に関するイベントや合宿等様々な企画を行なっておりますので、これらをひとつでも多く利用していただき、充実度を高めていただければと思います。また、保護者の皆さまにもおかれまして、少しでも多くの方に甫水懇談会へ参加が実りあるものとなるよう教員・職員共に取り組んでまいりますので、今後の積極的なご参加をお待ち申し上げます。今回は、盛況な開催ができましたことを皆様に心から感謝申し上げます。

朝霞キャンパス甫水懇談会の開催にあたって

朝霞事務部 次長 佐久間 孝行

平成26年度朝霞キャンパスにおける甫水懇談会は、6月21日(土)、100名を超えるご父母をお迎えし、盛況のうちに無事終了することができました。ご父母の皆さま、関係者の方々におかれましては、改めて感謝申し上げます。

当日の全体会では、甫水会役員の方々のご挨拶、白石弘巳学部長の挨拶に引き続き、各学科長、専攻長および朝霞事務部長の挨拶と紹介があり、その後「就職講演」が開催されました。株式会社ソーシャルデザインニング研究所の人事コンサルタント・櫻井照士氏によるご講演は、「就職活動において親ができること」と題し、採用選考スケジュールの変更に伴い、新卒採用はどう変わるのか?採用現場の今を伝えていただくとともに、保護者として、就職活動にどう関わり方があるのか?自身の体験等に触れながら、ユーモアを交えて詳しくお話しいただきました。また、ライフデザイン学部全ての学科・専攻においては、身体を使って実践する幅広く学ぶ特色があり、それは、どんなマーケットにも対応できること、すなわち汎用性のある学びを強みとして、様々な就職先に活かすことができるということもお話し

されました。

講演終了後は、各学科専攻毎に会場を分けて、学科・専攻説明および個別面談を設定させていただき、多数の方々に参加していただきました。また、学生支援に関して様々なご相談等にお答えできるよう「就職・学生生活個別相談コーナー」を開設いたしました。残念ながら利用された方々はごく少数でありました。今回の甫水懇談会では、個別面談の実施方法を含めて、工夫改善を図ってまいりたいと存じます。

校舎見学会では、図書館、図書館地下実習室、図書館1階工房、人工芝グラウンド、3月に竣工した体育館およびテニスコート、保育実習室、音楽実習室、学生食堂、学生ホール等をご案内させていただきました。ご子女の学習環境や学生生活の現場を直接ご覧いただけたかと存じます。また、今秋、朝霞図書館は2階を「動」のゾーン、3階を「静」のゾーンとする次世代型図書館としてリニューアルいたしました。2階は、多様な学習環境に対応できるラーニング・コモンズ及びPCコーナー等利用目的に応じたフレキシブルな学習エリアとして、3階エリアには、グループディ

スカッション、プレゼンテーション等可能なセミナールーム及び個人学習の可能なスタディールームをそれぞれ新設し、さらにリフレッシュルームを設置する等、長時間滞在が可能な図書館となりました。図書館の豊富な資料やインターネット環境を基に、積極的にご利用いただければ幸いです。

今年度、朝霞キャンパスにおいては、教職課程履修者への指導・相談対応の窓口として、教職支援室を開設し、さらに、海外留学相談なども含め、英語学習のサポートを中心に学修支援を行うラーニングサポートセンター(LSC)を開設いたしました。今後も、ご子女からの学びの疑問や相談を受けて、様々な形でサポートをしてまいりたいと存じます。

最後になりましたが、ライフデザイン学部は、平成27年度に開設10周年を迎えます。様々な記念事業並びに記念行事の計画について、準備を進めておりますが、詳細が決定しましたらお知らせ申し上げます。

これからも学生との意見交換会等を通じ、学生と教職員のコミュニケーションを密にした学部・キャンパス運営を行なってまいりたいと存じますので、ご父母の皆様におかれましては、引き続きご理解、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

板倉キャンパス懇談会に出席して

東洋大学浦水会副会長 茂木 明男

板倉キャンパス懇談会には、生命科学部、食環境科学部に在学している学生の保護者(首都圏支部)111名の参加者であった。

大学から大熊廣一教授・本学常務理事、生命科学部長 岡崎歩教授、食環境科学部長・林清教授からそれぞれにご挨拶をいただきました。

大熊廣一教授、本学常務理事から大学の近況についてご説明があり、25年度就職率(就職者率77.2%、就職率96.9%、卒業率(86.2%)、ともに昨年度を上回ったこと、次に26年度第1部一般入試志願者数のお話の中で、今年度は60490名の志願者であったことをお話しされました。今年度の特徴は、最後のゆとり世代であるため「安全志向」就職に有利な理系人気「理高文低」、家計負担を考慮した「地元志向」の3点が挙げられるそうです。また、保護者が気になる本学の一般入試志願者数の全国順位は、第10位でありました。1位は近畿大学、2位は早稲田大学、3位明治大学、4位日本大学、5位法政大学と続きます。また、本学は前年度より志願者の減少はありましたが、偏差値ランクは同等以

上の結果になっています。

このあと就職講演があり、(株)エービーシーエデューション、チーフコンサルタント山本みどり様の「採用側から見た就職活動の現状と学生の傾向」について講演していただきました。2016年度採用(現在の3年生から)の就職活動時期が変更になります。企業の「広報活動」が、3年生の12月から3年生の3月へ。企業の「選考活動」が、4年生の4月から4年生の8月へ。企業の「選考期間の短縮」内定式(10月1日)まで2ヶ月、卒業式まで8ヶ月しかありません。このスケジュール変更に伴い起こりうる影響は、「選考期間短縮により受験できる企業数が減る」、「大手企業にますます応募者が殺到し、書類筆記選考の重要性が高まる」、「企業は、広報活動前から動く」インタースhipなど広報活動前からの準備が大切になってくる。ということは、日々の大学生活がとても大切であるということが、この講演であらためて気づかされました。

保護者の皆様には、就職活動に際しましては、大学の就職・キャリア支援部の活用をご子女に促して

ください。本学の就職・キャリア支援部の職員は、「時には厳しく、時には優しく」学生が希望就職先に合格できるように親身になっていただけます。就職・キャリア支援部を活用している学生は、企業が求める「人間力」の形成が成長できます。また、数社企業を受験し、疲れたり、悩んだりした時は、山本みどり様の言葉を借りれば、就職活動に疲れて悩んでいたから、「休ませて、止めさせない」。また「働くことに憧れを」。一番身近な社会人としての存在は保護者です。保護者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年度板倉キャンパス懇談会を開催するに際し実施本部長として、大学関係者、保護者の皆様にご理解ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

平成二十六年 支部総会(浦水懇談会)に出席して

福島支部・山形支部総会に出席して

生命科学部長 岡崎 渉

7月12日(土)福島支部、7月13日(日)山形支部総会(浦水懇談会)に参加いたしました。3年連続しての両支部への参加でありました。多くのご父母のご参加をいただき、学業のこと、卒業後の進路のことなどご子息への心配、大学への期待などが多方面から感じられました。保護者の方と教職員との交流、説明会の開催は、非常に有意義なものであり、全国規模で行われている浦水懇談会は東洋大学の姿勢を、参加の方々からも大きく評価されています。

両支部とも大学側から、大学の教育方針、理念、成績表の見方、キャリア支援部による就職活動の状況と来年度の変更点について説明が行われ、また、併行して希望者に職員による個別面談が行われました。

大学の現状については、DVD、配付資料(東洋大学はいま2014)、「大学の学習・学生生活・キャリアサポート」などを用いて東洋大学の「哲学教育」、「国際化」および「キャリア教育」に

ついて、また、各キャンパスの現状について説明が行われました。キャリア支援部職員より、就職支援の現状、就職率、来年度の採用開始時期が8月となることに対する対応などのお話と質疑が行われました。なお、大学の現況については、ホームページからもご覧いただけます。

個別面談の合間を利用して、自由に意見交換を行いました。小生からは板倉キャンパスを例に、①7月の時期での内定状況は、複数内定を持っている学生と「0」の学生に2極化している傾向があり、前者の場合には、明るく元気でコミュニケーションがとれている、後者の場合は、おとなしく一歩引いている場合が多いこと、②高校で化学の履修が少なく講義についていけない場合には、学習支援室の利用を進めていること、③学内でコミュニケーションをとりやすくするために、学生と教員の交流の場を設けていること、気楽に何でも話のできる教員を見つけておくこと、などをお話しました。また、ご父母からは、ご子息にでき

るだけ実家に近いところで就職(Uターン)を希望していることが多く、そのような場合には、都道府県、自治体ごとにUターン就職説明会が行われているので、学内の掲示などを見ると共に就職担当課員に相談すること、ご子息が帰省した際には、お互いに構えず気楽な場を作って意思の疎通を図ることも必要であることもおすすしめました。総会終了後の懇親会では、テーブル間を移動しながら、総会では意見交換できなかったことなど有意義に交流することができました。また、ご出席のご父母のご子息が父親から懇談会の話しを聞いて3日くらいして研究室に来訪してきたことは、望外の喜びでした。山形支部では、東洋大学出身のご父母も参加されており、小生も本学の卒業生(工学部・応化)であることから、ミニ同窓会といった感じで楽しいひとときでした。

大学としてこのような浦水会行事への参加は、大学の活動を保護者の方々にご理解いただくと共に、保護者の方々のご希望、要望などを伺う良い機会としてとらえることができるものと思います。「将来を担う若者」を育成する上でも保護者の方々と大学教職員が一致して理解・協力することが益々の発展に繋がることと思います。

平成26年度甫水懇談会実施にあたって

甫水会事務局

平成26年度の首都圏を除く甫水懇談会は、全国46箇所の会場で、1,000名を超えるご父母（保護者）の方々にご参加いただきました。

今回、事務局として全国各地の甫水懇談会に参加しましたが、地域の特徴、会員数、支部役員のお

考えなどによって、支部ごとにいろいろな特色があり、それに対してきめ細かく対応する必要があることを改めて感じました。また、参加者の自己紹介から始まったアットホームな支部、学生スポーツの話題で盛り上がった支部、活発な質疑応答がなされた支部などが印象に残りました。ある支部では、個人面談の順番を待たれる間、各自の自己紹介とお子様のことについてお話いただく場面があり、懇談会の場合、ご父母同士が情報を共有できる場所、共感できる場所としても機能しているのではないかと感じられました。当日の運営進行に当たっては、プログラムどおりきわめて円滑に進行されている支部があった一方で、その場の状況に合わせて、進行のなかで適宜打合せをしながら進められていた支部も見受けられました。

しかしながら、どこの支部においても、ご父母は大学代表者である教授や就職・キャリア支援部

の職員のお話を熱心に聞かれており、個人面談を希望される方も多く、大切なお子様の様子を心配し、教育を託した大学への高い関心を示されるご父母に対して、甫水懇談会が、大学からの情報発信と情報共有の貴重な場となっていることを、改めて痛感しました。

支部総会については、多くの支部で肅々と総会が行われる中で、質問が挙がる場面も見られ、支部運営に対しての関心の高さを感じられる場面もありました。懇親会では、大学の日頃の教育活動に対して感謝をされている方、大学に対して熱い思いを述べられる方、ご父母お二人で参加されている熱心な方、それほど期待はしていなかったが参加してみても大変に良かったとおっしゃられる方、その他多くの方々とお話ができて、事務局にとっても貴重な時間となりました。

支部長をはじめとする支部役員の皆様におかれましては、数か月前から本日まで、次第の検討、会場の手配、本部及び大学との事務連絡、資料の受け渡し、当日の進行と大変なご苦勞があったのではないのでしょうか。参加者減という予想に直面して、とりわけ参加者が少ない支部においては、昨年に比べて一人でも多くの参加者を増やすた

めの働きかけを支部長にお願いし、大変ご苦勞をおかけしたところもありました。しかし、甫水会と大学が魅力的なプログラムを提示することによってご父母の参加が増えるところでもあり、事務局としても、今年度の懇談会の中身を検証して、多くのご父母の皆さんがぜひ参加してみたいと思われるようなプログラムの改革を検討して行きたいと考えております。例えば、大学の現況説明や就職説明の充実、個人面談の待ち時間を活用した大学と父母、父母相互の対話とコミュニケーションの充実などが考えられると思います。

甫水会は、来年度に向けて、今までにいただいているご父母の皆様や各支部からのご意見ご要望、当日の懇談会の様子、ご父母の皆様からいただいたアンケートの結果などを踏まえて大学とともによりよい懇談会を検討してまいります。今後とも、お子様の健全な成長のために甫水懇談会をはじめとする甫水会行事に対して、ご理解とご関心をお寄せいただければ幸いです。

最後になりましたが、甫水懇談会が、事前の準備や当日の運営にご尽力された支部長をはじめとした役員の皆様、そして大学に関心をお寄せいただき参加された多くの父母の皆様によって成り立っているものだということを痛感するとともに、今回、この懇談会携わった全ての方々に、事務局として、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

群馬県支部総会（浦水懇談会）を終えて

浦水会群馬県前支部長 小坂橋 俊雄

「……25年度新役員候補者は、お手許の一覧表のとおりです。」

私が支部長として発言する最後の言葉を発した瞬間でした。

何か重い荷が下りたような安堵感と、大きな仕事をやり遂げた後の充実感とが、私の脳裏を交錯しました。

諸々の事情があつて、私は2年間、支部長の任を務めさせて頂くこととなり、既に今春、卒業した息子から遅れること4か月、ようやく私自身の浦水会からの卒業式を迎えたのです。

思えば、息子と共に歩んだ4年間、いろんな事がありました。

東京の日本武道館での華やかな入学式に続き、板倉校舎にて生命科学部のガイダンスが実施された朝、緊張感で顔を紅潮させた息子を送り出して、間もなくのこと「電車に乗り遅れちゃったよ！」と息子からの電話を受けました。

しまった！今日は土曜ダイヤだった！ 初日から一時間の大遅刻でした。

板倉キャンパスの交通アクセスは厳しく、スクールバスに乗遅れ久喜経由での東武日光線回りとなったからです。

こんな調子で4年間、通学できるのだろうか？ 私と妻とは互いに顔を見合わせてしまいました。

2年生の夏休み、息子から「東北の被災地にボランティアに行く」と言われた時、「こいつも困っ

ている人の為に、働くことが出来るのか」と成長を感じ、とても頼もしく、誇らしく思いました。

2週間ほどの活動を終え、息子は大きな段ボール箱を背負い、帰ってきました。

「何だ、これは？」と尋ねると「被災者の人からのお土産だよ。食べ切れないんだって」と、カップラーメンの山の理由を説明しました。

その後、いまだに被災者の人々との交流は続いている様子です。

4年生になり、息子はメダカの毛細血管を研究するゼミ室に入りました。

「なんでメダカなの？」と尋ねると、「何となく」と曖昧な返答だったので、卒業まで続くのかな？と不安が過ぎりました。

しかし、息子は親の心配をよそに土曜日や夏休みも取らず、研究に没頭。

就職活動を中断して、仙台での「日本ゼブラフィッシュ学会」に参加しました。

そんなある日、「ゼミ室の研究と就職活動とが両立できないよ」と相談された時、私と妻とは迷う事なく「今しか出来ない研究を優先して、就職活動は一時休戦させなさい」とアドバイスしました。

その日を境に気持ち吹っ切れたのか、息子はスーツに着替え、東京の会社へ足を運ぶようになりました。

しかしながら、現実厳しく「お祈りメール」の連

発でした。

そんなある日、息子が意気揚々と2階の自室から駆け下りて「内定通知もらったよ！」と地元中小企業の内定を報告してきました。

皮肉なことに入社念書の提出期日は、第一希望とする東京の上場企業の面接指定日より前だったので、息子と相談のうえ、内定企業に理由を説明して入社念書の提出期日延長を願いました。結果、翌日には内定取消のメールを受信しました。

「どうしてくれるんだよ！」息子から詰め寄られました。が、「正直に話した結果だから仕方ない。企業も新人確保に必死なんだから、お互い様なんだ。」

但し、お前の良いところ、お父さんは沢山知っている。だから必ず、お前を必要とする企業がある。自信を持って堂々と振る舞えば良い。ついでに面接テクニックの本なんか、捨てちゃえ！」

それから数日後、息子がポツリと呟きました。「明日は東京へ行ってくるから」

「東京の会社訪問か？」と問う私に、「うん、最終面接」

いつの間にか、第一希望とする東京の上場企業での最終面接まで辿り着き、その日のうちに、事実上の内定告知を受けました。

以上、息子の4年間に終始しましたが、私の4年間も浦水会と共に歩んできたので、親子ともども東洋大学を共通項として過ごしてきたと言っても過言では無いと思います。

大学教職員の皆さん、浦水会の皆さん、私達親子に素晴らしい時間を与えて下さり、有難うございました。息子も東洋大学に入学して良かったと申しております。

兵庫県支部総会を終えて オール東洋を基本に

南水会兵庫県支部長 中川 真一

NHK大河ドラマ軍師 官兵衛でいま話題になっている姫路城のすぐ隣、姫路総社会館で開催されました。

私も52年東洋大学文学部英米文学科卒業です。E S S 所属。アパートは地下鉄都営線の板橋本町の近くでした。アリス 吉田拓郎 かぐや姫の全盛期白山祭では谷村新司がきてたなあ。また長嶋の引退試合も後楽園でありました。まさしく青春してました。

息子は社会学部心理学科4年生です。息子も都営線の板橋に住んでいます。高校時代は甲子園を目指し大学では軟式野球をしています。

南水会兵庫県支部会員は185名です。兵庫県支部は東洋大附属姫路高校からの入学がほとんどです。会員、校友会の方々など52名が参加されました。

総会では南水会村田会長から東洋大学、南水会の現状を大変詳しくわかりやすく説明していただきました。続いて校友会内海副会長からは南水会ともっと深い絆をとあいさつされ、東洋大附属姫路校高橋校長からは去年から中学校が設立さ

れ益々注目をあびているとパンフレットも配布されすばらしい学校をアピールされました。続いて議事に入り桃井副会長が進行、25年度事業報告、決算報告、26年度予算、事業計画と進み並行して個別面談を実施しました。

面接は別室で3カ所に分かれて行いました。父兄のみなさんもころあたたまる親身になった説明には満足されました。

かんばしい 南水会理事鳥越様のユニークなご挨拶から開始です。42名の参加です。村田会長は東洋大学の学生でいまだレポートに悩まされているお話し10月には出雲駅伝、11月には伊勢駅伝そしてお正月には箱根駅伝に行こうと盛り上がっているテーブルもありました。こうして東洋大学を通じて新たな出会いの場となりました。

兵庫県支部はこれを機会に高校、校友会、南水会とオール東洋の絆をもっと深いものにしていきたいと思ひます。



大学事務局から

●大学の教育・学習の仕組み●

大学の教育システムは学部や学科ごとに「教育課程表」(カリキュラム)があり、学生はこの教育課程表に基づいて学習することになります。教育課程表には卒業までに修めるべき要件や1年間(1セメスタ)に履修できる単位数、条件等が設定されており、卒業にはその条件等を満たす必要があります。

教育課程表に掲げられた授業科目は、年度ごとに「授業時間割表」として大学から学生に提示されます。学生は「教育課程表」と「授業時間割表」に基づいて学習計画を立て、「自分自身の時間割」を作成することになります。学生が自由に選んで学習できる選択科目が豊富に開講されていますので、各学生の「授業時間割」は同学年・同学科の学生であつても、十人十色といつても過言ではありません。つまり、学生自身の自主性が重んじられることになります。

文・経済・経営・法・社会・国際地域学部

教務部

■大学の授業

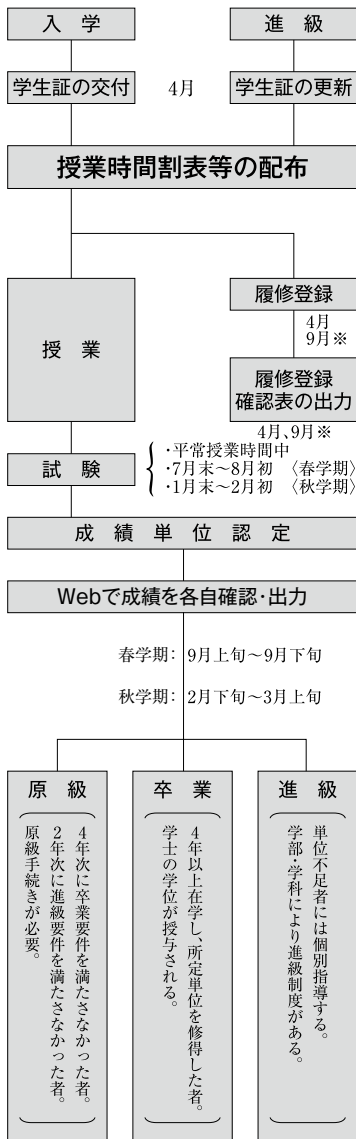
大学の授業は1年を春学期と秋学期の2期に分けて行われます。1年を通して完結する授業と、セメスタ制(※)というそれぞれの「学期」で完結する授業とがあります。いずれにしても常に授業に出席することが重要であることは言うまでもありません。また、授業科目の評価は学期末の試験で判定する科目、授業中にテストを行う科目、レポート提出を課す科目や出席状況を重視する科目等、その評価方法は授業により異なります。

大学生になると高校時代と比較して授業への出席を軽視する傾向が見受けられますが、授業に出

※セメスタ制

セメスタ制とは、1年を春学期(4月1日から9月30日まで)と秋学期(10月1日から翌年の3月31日まで)の2つの学期(セメスタ)に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて卒業するシステムです。半年単位で授業が完了することによって、授業効果を高め、学生が集中して学ぶことができ、学生の理解度を把握しやすくなるメリットがあります。

大学の学習・教育の仕組み



※経済・経営・国際地域学部および法学部の2012年度以降の入学学生が対象。

白山キャンパス (2014年度)

1時限	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50
6時限	18:10～19:40
7時限	19:50～21:20

■修得単位数

4年間で卒業するための修得単位数の目安は、下記の表のようになっています。

学 年	単位数
1年	36～40
2年	72～80
3年	108以上
4年	124以上

■諸 資 格

大学では卒業に必要な科目のほかに、教員になるための教職課程や学部・学科の特性を生かした諸資格取得のための科目も開講しています。特に、本学では教職課程に力を注ぎ、基準以上の科目を開講し実力養成に努めています。教員になるための履修手続・相談等は各学部教務課で行います。

しかし、卒業要件のほかに諸資格関係の単位を修得することは、授業時間割の組み方等難しい点が多いので、希望者は1年次からしっかりと目標とそれに沿った学習計画をもって努力することが大切です。

授業科目と単位

授業の内容は大別すると基盤教育と専門科目に分けられます。また、卒業単位にはなりません。が、教員になるための教職課程科目があります。

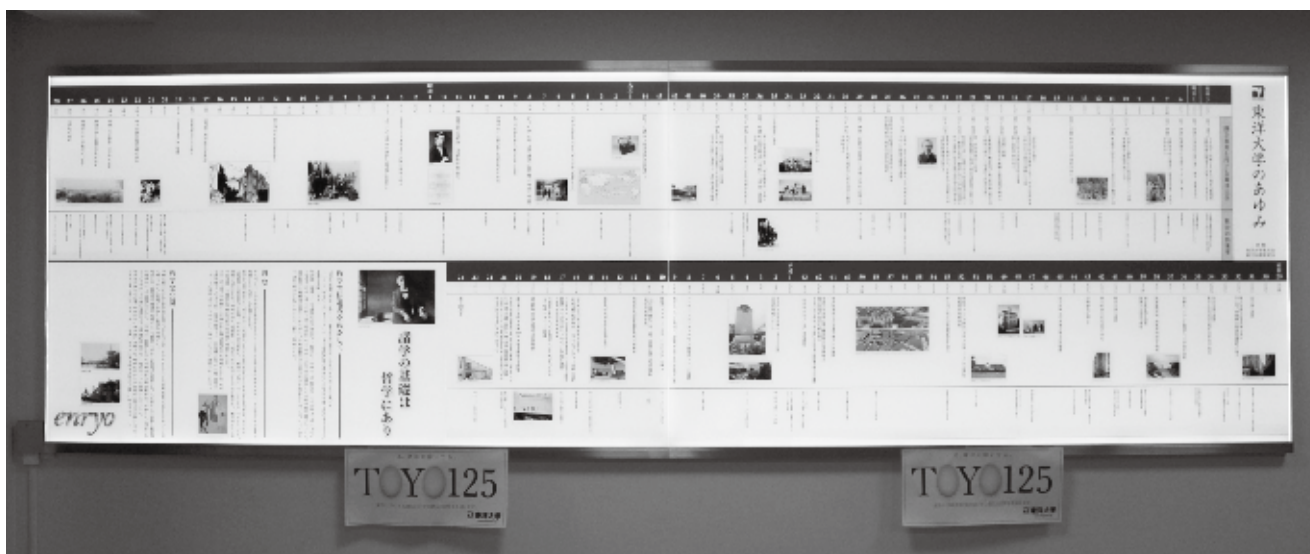
さらに、授業科目は①必修科目②選択必修科目③選択科目④他学部他学科開放科目に区別され、履修できる年次(学年)が指定されるなど、ステップアップしながら体系的な学習ができるように配慮されています。

①必修科目とは卒業要件として必ず修得しなければならない授業科目、②選択必修科目とは特定の科目群(グループ)の中から所定の科目数(単位数)を選択し修得することが卒業要件になっている授業科目、③選択科目とは任意に選択でき修得単位を卒業要件の単位数に算入する授業科目となります。

また、④他学部他学科開放科目とは『学生が所属している学部の教育課程表に記載されていない他学部などの授業科目』で、卒業単位として算入されます。他学部他学科開放科目は各学科・コースの専門科目と併せて学習することにより、専門性が高まり、資格試験にも役立ちます。



総合スポーツセンター(板橋)



白山6号館連絡通路「年表 東洋大学のあゆみ」雨水会創立50周年記念寄贈

入学年度別課程表

■文学部 2004～2007年度入学生

学 科 科目区分		第 1 部								第 2 部		
		哲	インド 哲	哲学 中国 文	日本 文学 文化	英 米 文	史	教 育	英語 コミュニケーション	インド 哲	日本 文学 文化	教 育
共通総合科目		12～	16～	16～	16～	14～	16～	16～	16～	16～	①	16～
文学部 共通科目	文学部演習科目											
	文学部基礎専門科目											
	英語コミュニケーション 英 語	16	8	4	12	8	4	8	10	8		8
	ドイツ語											
	フランス語											
	中国語											
	① 日本語											
専門科目	諸資格関連科目										①	
	インターンシップ・ボランティア活動	①										
	学習支援特別講座											
	小計	16～	16～	14～	18～	20～	18～	16～	14～	16～	②	16～
	必修科目	38	36	36	14	30	38	28	42	18	14	28
	選択必修科目	26	38	42	56	18	8	12	40	48	56	12
	選択科目	24			16	24	32	①				32
卒業必要単位		88～	74～	78～	70～	64～	70～	72～	82～	74～	70～	72～

●第2部日本文学文化学科:①と②の合計で34単位以上 ●史学科:国際コミュニケーション科目は左側＝1年次、右側＝2年次
●①設定なし ●②留学生科目

■文学部 2008～2011年度入学生

学 科 科目区分		第 1 部									第 2 部		
		哲	インド 哲	哲学 中国 文	日本 文学 文化	英米 文	史	人間 発達 専攻 教 育	初等 教育 専攻 教 育	英語 コミュニケーション	インド 哲	日本 文学 文化	教 育
共通総合科目		12～	16～	16～	16～	14～	16～	16～	16～	16～	16～	㊦	16～
文学部 共通科目	文学部演習科目												
	文学部基礎専門科目												
	英語	16	8	4	12	8	4	8	8	10	4	4	
	ドイツ語					6	4		4				
	フランス語					㊦							
	中国語												
	日本語									㊦			
諸資格関連科目													
インターンシップ・ボランティア活動	㊦												
学習支援特別講座													
小計	16～	16～	14～	18～	20～	18～	16～	16～	14～	16～	㊦	16～	
専門科目	必修科目	34	32	36	14	30	38	32	48	42	12	14	32
	選択必修科目	30	44	42	56	18	8	㊦	14	40	58	56	㊦
	選択科目	24				16	24	42	20	㊦			42
	小計	88～	76～	78～	70～	64～	70～	74～	82～	82～	74～	70～	74～
卒業必要単位		124											

●第2部日本文学文化学科:①と②の合計で34単位以上 ●史学科:国際コミュニケーション科目は左側＝1年次、右側＝2年次
●①設定なし ●②留学生科目

■文学部 2012年度以降入学生

学 科 科目区分		第 1 部									第 2 部				
		哲	東洋思想 文化	インド 哲	中国 哲学文	日本文学 文化	英米文	史	教育 人間発達専攻	教育 初等教育専攻	英語 コミュニケーション	東洋思想 文化	インド 哲	日本文学 文化	教育
共通総合科目		12～	16～	16～	16～	16～	14～	16～	16～	16～	16～	16～	16～	①	16～
文学部 共通科目	文学部教育														
	文学部基礎専門科目														
	英語	16	4	8	4	12	8	4	8	8	10	4	4		4
	ドイツ語		6				4		4	4	4	4	4	4	
	フランス語		①												
	中国語	①					①						①		
	日本語														
諸資格関連科目															
キャリア教育															
小計		16～	16～	16～	14～	18～	20～	18～	16～	16～	14～	16～	16～	②	16～
必修科目		34	34～	32	38	14	30	26～	32	48	42	34～	12	14	32
選択必修科目		30～	20～	44～	42～	54～	18～	20～	①	14～	40～	20～	58～	54～	③
選択科目		24～					16～	24～	42～	16～	①				42～
小計		88～	74～	76～	80～	68～	64～	70～	74～	82～	82～	74～	74～	68～	74～
卒業必要単位		124													

●第2部日本文学文化学科:①と②の合計で34単位以上 ●史学科:国際コミュニケーション科目は左側＝1年次、右側＝2年次
●①設定なし ●②留学生科目

※第1部東洋思想文化学科と第2部東洋思想文化学科は、2013年度以降入学生

入学年度別課程表

■経済学部 2004～2007年度入学生

学 科		第1部経済	国際経済	社会経済システム	第2部経済
科目区分					
一般教養的科目	人間探究分野				
	スポーツ健康科学分野	12	12		
	他学部開放科目				
	英 語	16	8	16	
	ドイツ語		12 ^②		
	フランス語		8 ^①		
	中国語				
専門科目	情報分野				
	小 計	28～	40～	24～	16～
	必修科目	22	23	48	26
	選択科目A	52 ^④	45	36	
	選択科目B				66
卒業必要単位		124			

- ①1年次配当科目→1か国語8単位
 ②2年次配当科目→1年次履修言語から1か国語8単位
 ③3年次配当科目→2年次履修言語から1か国語4単位
 ④3・4年次配当科目28単位以上を含む

〔専門科目と一般教養的科目〕で最低条件を修得した場合、卒業要件124単位までの残り単位を、選択科目A、選択科目B、一般教養的科目の中から自由に選択できます。

■経済学部 2008～2011年度入学生

学 科		第1部経済	国際経済	総合政策	第2部経済
科目区分					
一般教養的科目	教 養 科 目	12	12		
	他学部開放科目				
	英 語	16	8	16	
	ドイツ語		8 ^②		
	フランス語		8 ^①		
	中国語				
	小 計	28～	40～	24～	16～
専門科目	必修科目	20	22	38	6
	選択科目A	54 ^③	46	46	10
	選択科目B				56
	小 計	74～	68～	84～	72～
卒業必要単位		124			

- ①1年次配当科目→1か国語8単位
 ②2年次配当科目→1年次履修言語から1か国語8単位
 ③3・4年次配当科目36単位以上を含む

■経済学部 2012年度以降入学生

学 科		第1部経済	国際経済	総合政策	第2部経済
科目区分					
基盤教育	共通教養科目				
	社会人基礎科目	12 ^①	12 ^①		
	留学支援科目				
	他学部開放科目			16 ^③	16 ^①
	英 語	8			
	ドイツ語		14 ^②		
	フランス語				
専門科目	中国語				
	小 計	20～	26～	16～	16～
	必修科目	20	20	38	8
	選択科目A	54 ^④	46	46	10
	選択科目B				54
卒業必要単位		124			

- ①共通教養科目(哲学・思想分野から選択必修2単位を含む)
 ②1年次配当科目→「英語」4単位および「ドイツ語」
 「フランス語」、「中国語」の中から1か国語4単位必修
 2年次配当科目→「英語IIA」2単位および「ドイツ語IIA」、
 「フランス語IIA」、「中国語IIA」の3か国語から1か国語2単位選
 択必修、「英語IIB」、「ドイツ語IIB」、「フランス語IIB」、「中国語II
 B」から2単位選択必修
 ③基盤教育16単位の中に語学系科目英語の必修8単位を含む
 ④3・4年次配当科目36単位以上を含む

■経営学部 2008～2011年度入学生

学 科		第1部経営	マーケティング	会計ファイナンス	第2部経営
科目区分					
一般教養的科目	人間探究分野				
	スポーツ健康科学分野				
	他学部開放科目				
	英 語	8	8	8	
	ドイツ語				
	フランス語				
	中国語				
専門科目	情報分野				
	小 計	24～	24～	24～	24～
	必修科目	2	2	2	
	基礎科目	10	10	10	6～
	選択科目	60～	60～	60～	78～
卒業必要単位		124			

■経営学部 2012年度以降入学生

学 科		第1部経営	マーケティング	会計ファイナンス	第2部経営
科目区分					
基盤教育	共通教養科目				
	社会人基礎科目				
	英 語	8	8	8	
	ドイツ語				
	フランス語				
	中国語				
	情報分野				
専門科目	他学部開放科目				
	留学支援科目				
	小 計	24～	24～	24～	24～
	必修科目	2	2	2	
	基礎科目	10～	10～	10～	6～
卒業必要単位		124			

入学年度別課程表

■法学部 2004～2007年度入学生

学 科 科目区分		第1部		第2部
		法 律	企 業 法	法 律
一般教養の科目	人間探究分野	12	12	
	文化間コミュニケーション分野(外国語)	10 *	10 *	
	スポーツ健康分野			
	情報分野	—	—	
	小 計	28以上		
専門科目	必修科目	①24 ②36	26	12
	選択必修科目	①20 ②12	③22 ④16	4
	選択科目	①28 ②24	③24 ④30	60
	小 計	72以上		76以上
法学部内他学科開放科目				—
法学部1・2部相互聴講科目		—	—	
他学部他学科開放科目				
学部共通科目注)				
卒業必要単位数		124以上		

①総合政策コース ②法職コース
 ③企業法務コース ④国際企業コース
 *2ヵ国語10単位
 (ただし履修方法の詳細については
 履修要覧を参照)
 注)2006～2007年度入学生対象

■法学部 2008～2011年度入学生

学 科 科目区分		第1部		第2部
		法 律	企 業 法	法 律
一般教養の科目	人間探究分野	12	12	
	文化間コミュニケーション分野(外国語)	10 *	10 *	
	スポーツ健康分野			
	情報分野	—	—	
	学部留学科目			
専門科目	必修科目	①24 ②32	24	12
	選択必修科目	①20 ②16	③24 ④18	4
	選択科目	①28 ②24	③24 ④30	56
	小 計	72以上		
法学部内他学科開放科目				—
法学部1・2部相互聴講科目		—	—	
専門開放科目(他学部他学科開放科目)				—
他学部他学科開放科目		—	—	
留学支援科目(英語特別教育科目)				
教職科目(一部分)				
卒業必要単位数		124以上		

①公共政策コース ②法職コース
 ③企業法務コース ④国際企業コース
 *1年次英語4単位・第2外国語4単位必修、
 2年次2単位必修

■法学部 2012年度以降入学生

学 科 科目区分		第1部		第2部
		法 律	企 業 法	法 律
基礎教育	共通教養科目	必修2 10	必修2 10	必修2
	スポーツと健康			
	社会人基礎科目	—	—	
	文化間コミュニケーション科目(外国語)	10 *	10 *	
	学部留学科目			
専門科目	必修科目	16	16	8
	選択必修科目	32	36 A群24 B群8 C群4	8
	選択科目			
	小 計	72以上		
法学部内他学科開放科目				—
法学部1・2部相互聴講科目		—	—	
専門開放科目(他学部他学科開放科目)				—
他学部他学科開放科目		—	—	
留学支援科目(英語特別教育科目)				
教職科目(一部分)				
卒業必要単位数		124以上		

*1年次英語4単位・第2外国語4単位必修、
 2年次2単位必修

※上記コースは、1年次に希望調査を実施し、2年次から各コースに分かれて履修します。(2012年度以降入学生、第2部法律学科にはこの制度はありません。)

■社会学部 2008～2011年度入学生

学 科 科目区分		第1部					第2部	
		社 会	シ ス テ ム 社 会 文 化	社 会 福 祉	テ レ ビ シ ン	サ マ ソ シ ヤ リ ー	社 会 心 理	社 会 福 祉
共通総合科目	人間探究分野	4	4	4	4	4	20	20
	人文社会	4	4	4	4	4		
	総合							
	健康分野							
	スポーツ実技講義							
	英語	12	12	12	12	12	—	—
	ドイツ語							
	フランス語							
	中国語							
	ハンガール							
	(※1)日本語							
	小 計	24～36	24～36	24～36	24～36	24～36	20	20
専門科目	必修科目	28	20	16	20	28	26	18
	選択必修科目	24～	28～	32～	34～	20～	8	14
	必修科目	14	14	14	14	14	(選択)28	(選択)26
	選択必修科目	14～	14～	14～	14～	14～		
	小 計	80～	76～	76～	82～	76～	62	58
(※2)留学支援科目								
卒業必要単位数		124						

●第2部共通総合科目は人間探究分野(自然・人文・社会)とスポーツ健康分野のみ
 (※1)日本語は外国人留学生用
 (※2)2007年以前に入学した学生は除く

■社会学部 2012年度以降入学生

学 科 科目区分		第1部					第2部	
		社 会	シ ス テ ム 社 会 文 化	社 会 福 祉	テ レ ビ シ ン	サ マ ソ シ ヤ リ ー	社 会 心 理	社 会 福 祉
基礎教育	哲学・思想	2	2	2	2	2	2	2
	自然・環境・生命	4	4	4	4	4		
	日本と世界の文化・歴史							
	現代・社会							
	スポーツと健康							
	総合							
	文化間コミュニケーション	4	4	4	4	4		
	英語	6	6	6	6	6	—	—
	ドイツ語							
	フランス語							
	中国語							
	ハンガール							
	(※1)日本語							
	小 計	24～36	24～36	24～36	24～36	24～36	20	20
専門科目	社会人基礎							
	留学支援							
	必修科目	30	20	16	20	30	26	22
	選択必修科目	22	28	36	34	20	8	10
学部共通	必修科目	14	14	14	14	14	(選択)28	(選択)26
	選択必修科目	14	14	14	14	14		
	小 計	80～	76～	80～	82～	78～	62～	58～
キャリア形成科目								
卒業必要単位数		124						

※日本語は外国人留学生用

入学年度別課程表

■国際地域学部 2008～2011年度入学生

学 科			国 際 地 域	国 際 観 光
科目区分				
共通総合領域	一般教養的教育科目	人 文	2	2
		社 会	2	2
		自然情報	2	2
		総 合	2	2
	外国語科目	英語(必修)	10	8
		中国語	2	2
		ハングル		
		フランス語		
		ドイツ語		
		スペイン語		
		マレー・インドネシア語		
		タイ語		
		選択(上記外国語より)	2	—
	健康科学	選 択		
専門領域	必修科目		30	22
	国際地域：選択必修科目 国際観光：第1選択科目		28	24
	国際地域：選択科目 国際観光：第2選択科目		22	36
	卒業必要単位数		124	124

■国際地域学部 2012年度以降入学生

学 科			国 際 地 域	国 際 観 光
科目区分				
基盤教育科目群	共通教養科目	哲 学 ・ 思 想	2	2
		自 然 ・ 環 境 ・ 生 命		
		日本と世界の文化・歴史		
		現 代 ・ 社 会		
		ス ポ ー ツ と 健 康		
		総 合		
	社 会 人 基 盤 科 目			
	留 学 支 援 科 目			
学部共通教育科目群	学 部 共 通 教 養 科 目		4	4
	語学教育科目	必 修	9	8
		選 択 必 修	2	2
		選 択	3	4
専門教育科目群	必 修 科 目		28	26
	国際地域：選択必修科目 国際観光：コース必修・選択必修科目		30	28
	選 択 科 目		22	28
キャリア支援科目			2	—
卒業必要単位数			124	124

年間履修単位の上限

入学年度	学部	1・2部	学 年				備考
			1	2	3	4	
2004年度以降	文	1・2部	48	48	48	48	
	経済	1・2部	48 春24 秋24	48 春24 秋24	48 春24 秋24	48 春24 秋24	
	経営	1部	44 春22 秋22	44 春22 秋22	44 春22 秋22	44 春22 秋22	
		2部	48 春24 秋24	48 春24 秋24	48 春24 秋24	48 春24 秋24	
	法	1部	40※	48	48	48	
		2部	48	48	48	48	
	社会	1・2部	48	48	48	48	
	国際地域	1・2部	44 春22 秋22	44 春22 秋22	48 春24 秋24	48 春24 秋24	

※2012年度以降入学生は48単位

進級制度

文学部

哲学科のみ進級制度があります。2年次終了までに以下の科目単位数を修得しない場合は3年次に進級できません。

2004年度以降入学生

共通総合科目8単位、国際コミュニケーション科目10単位、専門科目の必修講義科目8単位、専門科目の必修・選択必修演習科目2単位計28単位

2012年度以降入学生

共通総合科目8単位、国際コミュニケーション科目8単位、専門科目の必修講義科目8単位、専門科目の必修・選択必修演習科目2単位計26単位

経済学部・経営学部

進級制度を導入していません。

法学部

2011年度以前入学生

第1部では2年終了時までに卒業に必要な単位のうち48単位以上を修得できなかった場合、3年生への進級はできません。3年生への進級ができなかった学生等、修得単位の少ない学生に対しては、教員が面接による指導を行っています。また、在学年数4年を過ぎても3年生に進級できない場合は学則に基づき退学となります(休学期間は在学年数に含まれません)。

第2部には進級制度はありません。

2012年度以降入学生

進級制度を導入していません。

社会学部

進級制度を導入していません。

国際地域学部

進級制度を導入していません。

4年次生コース

文学部

卒業論文は各学科とも必修科目で、4年次配当の科目として置かれています。卒業論文執筆にあたっては、3年次より論文題目(テーマ)を決めていきますので、指導教員からの指導や資料収集など、指導教員や研究室との連携を密に取ることが大切です。提出期限は学科ごとに定められていますので、学内掲示板等に注意して下さい。なお、2004年度以降入学の第2部インド哲学科につ

いては、卒業論文は選択科目(2008年度以降入学生は選択必修科目)となります。また、4年次の履修にあたっては学科専門科目から必ず4単位以上履修かつ修得することが必要となります。

経済学部

所属の学科により、4年次については卒業要件を満たしたうえで、以下の条件を満たさないと卒業できません。

2005～2011年度入学生(総合政策学科除く)

4年次最初のセメスタおよび最終セメスタで各1科目以上履修し、かつ4年次で専門科目を2科目以上修得

2012年度入学生

第1部経済学科、第2部経済学科は、4年次最初のセメスタおよび最終セメスタで1科目以上履修し、かつ4年次で専門科目を2科目以上修得
国際経済学科は、第7セメスタにて2単位以上履修し、かつ第8セメスタ以降において専門選択科目A、専門必修科目または語学系科目から合計6単位以上修得

経営学部

4年次については卒業要件を満たしたうえで、以下の条件を満たさないと卒業できません。

第1部 2004年度以降入学生

最終セメスタで卒業単位として認められる科目を2単位以上履修かつ修得

第2部 2004年度以降入学生

最終セメスタで卒業単位として認められる科目を2単位以上履修かつ修得

法学部

4 年次については卒業要件を満たしたうえで、左記の条件を満たさないと卒業できません。

・第1・2部 2004～2007年度入学生

4 年次には卒業単位として認められる科目を通年で4単位以上履修かつ修得が望ましい。

・第1・2部 2008年度以降入学生

4 年次には卒業単位として認められる科目を春学期2単位、秋学期2単位以上履修しなければなりません。

・第1・2部 2012年度以降入学生

4 年次「第7セメスタ以降」には、卒業単位として認められる科目を春学期2単位、秋学期2単位以上履修しなければなりません。

社会学部

第1部、第2部とも全学科で「演習」が必修科目です。また、第1部社会学科では「卒業論文」、第1部社会福祉学科では「卒業課題研究」が必修科目となっています。

国際地域学部

国際地域学科国際地域専攻と国際観光学科は、最終セメスタに卒業論文の執筆が必要です。

国際地域学科地域総合専攻は、カリキュラムの特性上最終セメスタ前に卒業要件を満たしてしまう場合がありますが、最終セメスタで1科目以上の履修を推奨しています。

結 び

大学の動向は、年数回お手元に郵送される「東洋大学報」や浦水会報「東洋」において詳しく伝えられていると思います。大学内での事務手続の日程や、年間の行事予定もその都度掲載されます。特に履修や成績に関する手続方法・時期は学生にとって重要な事項ですが、学費の納入等は保証人の方にも大きな係わりがありますので、ご留意いただきたいと思います。

学生にとって大学教育を受ける4年間は、人生の中で最も貴重な期間に当たります。大学は学生諸君が自主的に自立的な学生生活を送られるよう切望しています。大学生活を有意義に過ごしていただくため、保証人の皆様のご協力をお願いいたします。
(教務部)

文・経済・経営・法・社会・国際地域学部 2014年度 年間スケジュール(抜粋)

春学期	春学期納付金納入期間	4月 1日(火)～ 4月25日(金)
	新入生教育期間	4月 1日(火)～ 4月 5日(土)
	時間割等配布	4月 4日(金)・ 5日(土)
	授 業 開 始	4月 7日(月)
	定期健康診断	4月 2日(水)～ 4月12日(土)
	授 業 終 了	7月24日(木)
	夏季休暇期間	8月 8日(金)～ 9月20日(土)
秋学期	授 業 開 始	9月22日(月)
	秋学期納付金納入期間	10月 1日(水)～10月15日(水)
	大 学 祭 期 間	11月 1日(土)～11月 2日(日)
	冬季休暇期間	12月24日(水)～ 1月 3日(土)
	授 業 終 了	1月21日(水)
	試 験 期 間	1月22日(木)～ 1月28日(水)
	春季休暇開始	2月 5日(木)
	4年生成績発表・卒業単位充足者発表	2月下旬
	1～3年生成績発表・進級単位充足者発表	3月上旬
	卒業決定者発表	3月中旬
	卒 業 式	3月23日(月)



宮崎県支部総会

「目指せ教師」教職支援室の利用について」

東洋大学は、創立当初から多くの教員を輩出しており、現在も多数の学生が教師を目指しています。これらの学生を就職対策の面から援助するため、平成26年春、白山・朝霞・川越・板倉の4キャンパスに教職支援室を開設しました。

教職支援室では、永年・校長・教頭として学校教育に携わり、また教育委員会等において教育行政に従事されるなど、見識豊かな教育界のプロの方が、教職支援アドバイザーとして学生の相談に対応しています。また、教員採用試験の過去問題集や教職関係の雑誌・図書などを揃え、学生の利用に供しています。

4月から8月までに、延べ約2,000名の学生が教職支援室を利用しました。学生は採用試験合格に向けて、各自の試験対策進行状況に応じて教職支援室を利用しています。4・5月は、教職全般に関する、論文対策・添削指導、面接練習、志願書・面接票の書き方等、相談内容も多岐に渡りました。6月から7月前半は、3年生は介護等体験、4年生は教育実習に参加する時期に当たするため、利用が減少すると予想していましたが、引き続き多くの学生が相談に訪れ、キャンパスによつては利用者が増加しました。7月後半から8月は採用二次試験間近のため、面接や集団討論の練習を希望する学生が何度も来室しました。特に集団面接・集団討論対策では、学生自身が自主的にグループを作り、本番と同じ雰囲気の中で教職支援アドバイザーの念入りな指導を受ける光景が何度も見られました。近年の採用試験は人物重視の傾向が顕著であり、多くの学生と教職支援アドバイザーが一体となった本番さながらの練習

は、とても有効です。

今後、採用試験の結果が明らかになって行きます。学生は合格に向けて努力を続けてきたのですから、良い結果を祈らずにはいません。教職支援室の利用者も、3年生の利用が増えて行く予想されます。また4年生も、採用試験合格者には来年4月に教壇に立つための準備等、引き続き相談に対応します。残念な結果となった学生には、来年度の合格に向けてのフォローを行います。

もしもご子女が、将来、教職に就くことを希望しているのだしたら、ぜひ教職支援室を利用するようにお伝えをお願いいたします。

「白山キャンパス学修支援室」

「学びの次ぎの一步をサポートします」

白山キャンパス学修支援室は、学生が学修を進めていく上で支障がないよう、また意欲のある学生がさらに学ぶことができるよう、学修環境等を整備することを目指して、平成26年3月に設置されました。

具体的な学修支援内容としては、TA(ティーチング・アシスタント)である大学院生による学修相談を中心に、「レポート・論文の書き方相談」「文献・資料の調べ方相談」「高校までの基礎学力向上に係る支援」「語学系資格取得に係る支援」「情報リテラシーに係る支援」「留学希望者への事前学修及び留学後の事後学修に係る支援」「留学生に対応した日本語ライティング支援、論文の書き方相談」を行っています。

また、授業以外にも様々なスキルを修得できるよう、学修支援講座を開設しています。これまでの講座では、「文章力アップ講座」「プレゼン

テーションスキルアップ講座」「文献検索に役立つデータベースガイダンス」「TOEIC対策短期集中講座」などを実施し、文章力や表現力、語学力の成長に資するよう取り組んでいます。また、海外留学に向けた講座なども実施しております。学生の皆さんにとつては、大学での学び方を身につけることが必要です。

各学部で行われている履修ガイダンスや教員からの指導に耳を傾けるとともに、学修支援室を活用してください。学生皆さんの学びに次ぎの一步を進めることで、より良い学生生活を送っていただきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましても、4年間の学びを充実させるために、是非、一度お子様へお話をください。



「学修支援講座の様子」

理工(工)・総合情報学部

川越事務部教学課 課長 深町 浩之

川越キャンパスでは、年度を二学期に分け、半年単位で授業が完結するセメスタ制を採用しています。学生が集中して学ぶことができることに、学生の理解度を把握しやすくするためです。

学習支援の取り組みとして、学修相談会の開催、基礎科目(英語・数学・物理)学習支援室の設置、学生休暇中の数学補習講座、出席不良者への連絡などを行っています。

授業科目と単位

理工(工)学部では、低学年から教養科目とともに、数学や物理、化学等の理工学共通の基礎科目を学ぶことで、上位学年に配された各学科の専門科目へと段階的に学習していきます。履修登録できる単位数は理工学部では、一セメスタあたり24単位、一年間では48単位(工学部では一セメスタあたり25単位、一年間では50単位)を上限としています。

総合情報学部では、情報を扱うための基礎となる科目を一年次に配しています。また、演習形式の科目を多く配し、実践的なスキルも磨きます。学問内容により4つに大別した専門科目を設けることで、学生ごとに異なる文理を超えた多様な将来の目標(業種・職種)に総合的に対応します。履修登録できる単位数は、一セメスタあたり24単位、一年間では、48単位を上限としています。

卒業論文・卒業研究着手条件

理工(工)学部では、三年生(第6セメスタ)終了



川越キャンパス7号館外観

時に卒業論文・卒業研究着手条件(理工学部については【表】を参照ください)の単位を修得していなければ、「卒業論文・卒業研究着手不可」となり、卒業関係科目の履修はできません。四年生に進級しても研究室に配属されず、その時点で原級(留年)が確定します。

総合情報学部は、卒業論文・卒業研究着手条件はなく、卒業要件【表】を参照ください)を満たせば卒業となります。

いずれの学部も、しっかりとした目標を持って学習計画を立て、努力することが大切です。

総合情報学部 卒業要件

(平成25年度以降入学生)

(単位)

科目区分	要件単位数
基盤教育	
哲学・思想	
自然・環境・生命	
日本と世界の歴史・文化	
現代・社会	
スポーツと健康	
総合	
留学支援科目	
社会人基礎科目	
小計	21
英語科目	
必修科目	6
選択必修科目	4
小計	10
専門科目	
必修科目	14
選択必修科目	6
選択科目	
小計	77
教職関係科目	
他学部他学科専門科目	
合計	124

総合情報学部 卒業要件

(平成21～24年度入学生)

(単位)

科目区分	要件単位数
一般教養科目	
人間探究分野	
自然	
人文	
社会	
総合	
ウェルネス	2
文化間コミュニケーション分野	
留学支援科目	
人間形成分野	
小計	16
必修科目	26
選択必修科目	4
選択科目	
小計	92
他学部他学科聴講科目	
合計	124

授業時間

時限	時間
1時限	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10
昼休み	12:10～13:10
3時限	13:10～14:40
4時限	14:50～16:20
5時限	16:30～18:00

■理工学部 卒業要件 (平成 25 年度以降入学生)

(単位)

科目区分 学科	基盤教育群								理工学共通科目群								専門科目群					副専攻科目群	他学部他学科専門科目	合計
	哲学・思想	自然・環境・生命	日本と世界の歴史・文化	現代・社会	スポーツと健康	総合教養	社会人基礎科目	留学支援科目	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	外国語	小計	必修	選択必修	選択	小計			
機 械 工 学 科									10	9	6	2			3	6	26	15	24		70			124
生 体 医 工 学 科					2				10	6	2	2	2		3	6	28	14	24		70			124
電気電子情報工学科									10	6	6				3	6	25	28	16		74			124
応 用 化 学 科	2								10	4	4	6				6	24	30	—		70			124
都市環境デザイン学科									10	6	2	2			2	6	24	12	2	12	70			124
建 築 学 科									10	6	4					6	24	21	4		70			124

■理工学部 卒業論文・卒業研究着手条件 (平成 25 年度以降入学生)

(単位)

科目区分 学科	基盤教育群								理工学共通科目群								専門科目群					副専攻科目群	他学部他学科専門科目	合計
	哲学・思想	自然・環境・生命	日本と世界の歴史・文化	現代・社会	スポーツと健康	総合教養	社会人基礎科目	留学支援科目	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	外国語	小計	必修	選択必修	選択	小計			
機 械 工 学 科									10	9	6	2			3	6	26	7	24		53			104
生 体 医 工 学 科					2				10	6	2	2	2		3	6	28	14	16		50			104
電気電子情報工学科									10	6	6				3	6	25	20	14		56			104
応 用 化 学 科	2								10	4	4	6				6	24	20	—		60			104
都市環境デザイン学科									10	6	2	2			2	6	24	4	2	12	60			104
建 築 学 科									10	6	4					6	24	12			50			104

※電気電子情報工学科では、卒業論文・卒業研究着手条件の合計単位数には副専攻科目群と他学部他学科専門科目の修得単位を含めません。

■理工学部 卒業要件 (平成 21～24 年度入学生)

(単位)

科目区分 学科	教養的科目群							理工学共通科目群								専門科目群					副専攻科目群	他学部他学科専門科目	合計
	自然科学	人文科学	社会科学	ウェルネス	コミュニケーションと文化	総合教養	留学支援科目	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	外国語	小計	必修	選択必修	選択	小計			
機 械 工 学 科				2	2			10	9	6	2			3	6	26	6	30		70			124
生 体 医 工 学 科				2				10	6	2	2	2		3	6	28	14	28		66			124
電気電子情報工学科				2				10	10	6				3	6	25	28	16		74			124
応 用 化 学 科	2	2	2					10	6	4	6	2			6	24	34	—		80			124
都市環境デザイン学科				2	2			10	6	2	2			2	6	24	12	2	12	70			124
建 築 学 科				2				10	6	4					6	24	21	2		70			124

■理工学部 卒業論文・卒業研究着手条件 (平成 21～24 年度入学生)

(単位)

科目区分 学科	教養的科目群							理工学共通科目群								専門科目群					副専攻科目群	他学部他学科専門科目	合計
	自然科学	人文科学	社会科学	ウェルネス	コミュニケーションと文化	総合教養	留学支援科目	小計	数学	物理学	化学	生物学	地学	情報処理	外国語	小計	必修	選択必修	選択	小計			
機 械 工 学 科				2	2			10	9	6	2			3	6	26		26		53			104
生 体 医 工 学 科				2				10	6	2	2	2		3	6	28	14	20		50			104
電気電子情報工学科				2				10	10	6				3	6	25	20	14		56			104
応 用 化 学 科	2	2	2					10	6	4	6	2			6	24	22	—		70			114
都市環境デザイン学科				2	2			10	6	2	2			2	6	24	4	2	12	60			104
建 築 学 科				2				10	6	4					6	24	12			50			104

※電気電子情報工学科では、卒業論文・卒業研究着手条件の合計単位数には副専攻科目群と他学部他学科専門科目の修得単位を含めません。

※誌面の都合上、工学部の卒業要件、卒着条件を掲載できません。入学時に学生に配付している履修要覧をご確認ください。

生命科学部・食環境科学部

板倉事務部板倉事務課 宮崎 研介

はじめに

例年甫水懇談会では、新入生の保護者に対しては、学生がどのような授業を履修しているのかを確認することができる「履修登録確認表」を、2年生以上の学生の保護者に対しては「甫水会用成績表」を作成し、説明資料としています。今回は1年を春学期・秋学期に分けて授業、試験および成績評価を行うセメスタ制の仕組みや履修方法などを次に掲載します。

なお、今後の学年暦については以下の通りです。

冬季休暇期間 12月24日(水)～1月3日(土)

授業再開 1月5日(月)

秋学期授業終了 1月26日(月)

秋学期試験期間 2月3日(火)～2月9日(月)

春季休暇期間 2月10日(火)～3月31日(火)

3月卒業単位充足者発表 2月23日(月)

3月卒業決定者発表 3月13日(金)

卒業式 3月23日(月)

在校生秋学期成績発表 3月中旬

セメスタ制

生命科学部・食環境科学部では、セメスタ制度を導入しています。この制度は、1年を春学期と秋学期の2つの学期(セメスタ)に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて卒業するシステムです。半年単位で授業が完結することによって、授業効果を高め、学生が集中して学ぶことができ、学生の理解度を把握しやすくなるメリットがあります。

授業時間

時 限	時 間
1時限	9:30～11:00
2時限	11:10～12:40
昼休み	12:40～13:20
3時限	13:20～14:50
4時限	15:00～16:30
5時限	16:40～18:10

原則として授業科目は、春学期または秋学期のいずれかに開講されます。
なお授業時間は左記の通りですが、実験のように1日に2～3時限連続で行う科目もあります。
そのほか、短期間に集中して開講される科目もあります。

セメスタ制の仕組み

1学年	第1セメスタ
	第2セメスタ
2学年	第3セメスタ
	第4セメスタ
3学年	第5セメスタ
	第6セメスタ
4学年	第7セメスタ
	第8セメスタ
卒 業	

履修方法

履修できる単位数は各学期24単位までです。学期ごとの定められた期間にWEB履修登録を行うことにより授業を履修することができます。

次に説明する卒業論文着手条件等を3年次終了までに満たすよう、1年生のうちから計画的に履修し単位を修得することが大切です。生命科学部・食環境科学部いずれにおいても、定められた学年の必修科目をきちんと修得することが重要となります。



板倉キャンパス5号館(実験棟)外観

食環境科学部が開設されました

平成25年度4月、これまでの生命科学部食環境科学部を基礎とした食環境科学部と管理栄養士を養成する健康栄養学科の2学科(2専攻)を擁する、東洋大学の11番目の学部として食環境科学部が開設されました。

平均寿命の伸長と出生率の低下で、2050年には、ほぼ3人に1人が65歳以上の老年人口となる超高齢化社会が到来します。さらに、糖尿病やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病が増加する昨今、生活習慣の改善、特に食生活の改善が社会的に重要な課題となっています。

このような社会的背景とニーズに対し、食環境科学部では、食品の機能科学や栄養・健康化学を総合的に探求し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成することで、国民が生涯にわたり健康的で明るく、活力ある生活が送れる社会づくりに貢献しようと考えています。

学科(専攻)の特色

食環境科学部フードサイエンス専攻

先端的バイオテクノロジーを基礎に、食品機能と安全、未利用資源の有効活用、最新の分析技術を修得します。食品の安全・安心を高度に追求できる、食品技術のスペシャリストを育成します。新規食品や素材の開発研究、検査業務、食品産業分野など各フィールドでの活躍が期待されます。

食環境科学部スポーツ・食品機能専攻

運動と食品が持つ機能(栄養)の関係を学び、身体活動に伴う食事・栄養の摂り方などの専門知識を修得し、食品機能が人体に及ぼす影響から生命の営みを化学的に探求する食品機能学、スポーツ栄養科学

を熟知した人材の育成を目指します。

健康栄養学科

管理栄養士(栄養士)養成施設に指定されています。資格取得だけに重きをおかず、研修能力やプレゼンテーション能力も兼ね備え、チーム医療やライフステージに応じた栄養アセスメントを強化し、「食と健康」の未来を見据えた専門性の高い栄養ケアマネジメントができる管理栄養士の養成を目指します。

生命科学部卒業論文着手条件

卒業論文・卒業研究(必修)に着手するのは4年次のはじめからですが、着手するためには3年次終了までに所定の条件を満たさなければなりません。条件がひとつでも足りなければ、卒業論文・卒業研究に着手することができず、卒業時期が延期となります。なお、修得単位は、卒業に必要な科目として認められているものとします。各領域の分類は42ページ以降の「卒業要件一覧」の表をご覧ください。

食環境科学部卒業論文等着手条件

食環境科学部については、3年次終了までに各学科専攻の所定の条件を満たさなければ、卒業時期が延期となります。

食環境科学部フードサイエンス専攻については、3年次終了までに「卒業論文着手条件」の項目1〜7を満たさなければ、卒業研究・卒業論文に着手することができず、卒業時期が延期となります。

食環境科学部スポーツ・食品機能専攻については、3年次終了までに「4年次必修授業受講条件」の項目1〜7を満たさなければ、4年次開講の必修科目を受講することができず、卒業時期が延期となります。

健康栄養学科については、3年次終了までに「総合演習受講条件」の項目1〜7を満たさなければ、4年次開講の総合演習を受講することができず、卒業時期が延期となります。このほか「臨地実習履修条件」も定められています。

条件区分および必要単位数等は次項「食環境科学部4年次開講科目履修条件一覧」の表をご覧ください。

生命科学部卒業論文着手条件 2009~2012年度入学生

	生命科学科 2009~2012年度 入学生	応用生物科学科 2009~2012年度 入学生	食環境科学科 (生命科学部) 2009~2012年度 入学生
総修得単位数	105単位以上		
一般教養的教育科目	人文4単位以上を含む12単位以上		
外国語科目	必修4単位および選択必修4単位以上を含む8単位以上		
専攻領域の 必修科目	25単位	21単位	実験科目9単位を 含めて21単位以上
専攻領域の 選択必修科目	34単位	24単位	26単位
専攻領域の選択科目、 各要件単位を 上回って修得した科目	26単位以上	40単位以上	38単位以上

生命科学部卒業論文着手条件 2013年度以降入学生

	生命科学科	応用生物科学科
1.総修得単位数	105単位以上	110単位以上
2.共通教養科目の哲学・思想	4単位以上	
3.共通教養科目の自然・環境・生命	4単位以上	
4.共通教養科目の文化間コミュニケーション	必修4単位を含む6単位以上	
5.基盤教育科目	20単位以上	
6.専門科目	70単位以上	—
7.専門科目の必修科目	28単位	26単位
8.専門科目の選択必修科目	基礎科学および4分野 すべてについて それぞれ4単位以上	基礎科学16単位 各自のコース6単位を 含む22単位
9.専門科目の選択必修科目(生命科学科)	上記7・8を含め32単位以上	
10.専門科目の選択科目、各要件単位を上回って 修得した科目(応用生物科学科)		42単位以上

食環境科学部4年次開講科目履修条件一覧

	食環境科学科		健康栄養学科
	フードサイエンス 専攻	スポーツ・ 食品機能専攻	
各種条件	卒業論文 着手条件	4年次必修授業 受講条件	総合演習 受講条件
1. 総修得単位数	105単位以上修得		
2. 共通教養科目の 哲学・思想	4単位以上修得		
3. 共通教養科目の 自然・環境・生命	4単位以上修得		
4. 共通教養科目の 文化間コミュニケーション	必修4単位を含む6単位以上修得		
5. 基盤教育科目	20単位以上修得		
6. 専門科目の必修	実験科目11単位を含む 45単位以上修得	実験科目10単位を含む 38単位以上修得	24単位以上修得
7. 専門科目の選択必修	20単位以上修得	22単位以上修得	26単位以上修得

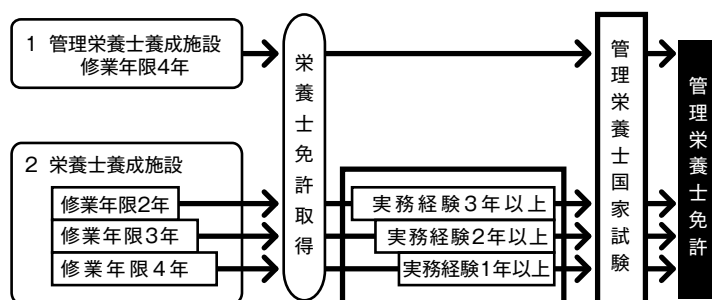
生命科学部・食環境科学部取得可能資格

		生命科学部			食環境科学部		
		生命 科学科	応用生物 科学科	食環境科 学 科 (2009～ 2012年度 入学生)	食環境科学科 (2013年度以降入学生)		健康栄養 学科
					フード サイエンス 専攻	スポーツ・ 食品機能 専攻	
教育 職員 免許状	中学教諭1種理科						
	高等学校 教諭1種理科	○	○	○	○	○	
	栄養教諭1種						○
管理栄養士(栄養士)							○
食品衛生管理者及び 食品衛生監視員(任用資格)				○	○	○	○
危険物取扱者(甲種)受験資格		○	○	○	○	○	○
バイオ技術者認定試験受験資格		○	○	○	○	○	○
フードスペシャリスト受験資格				○	○	○	○

生命科学部・食環境科学部では次の資格を取得することが可能です。なお、各資格の取得には、それぞれ条件があります。

諸資格について

管理栄養士とは、指定養成施設を修了し、管理栄養士国家試験に合格し、厚生労働大臣より免許を受けた者と栄養士法に定められています。その専有業務は、病院や福祉施設、事務所における給食管理・栄養指導、個人の栄養指導にいたるまで、その専門性と範疇はとても広範です。さらに、近年の少子高齢化社会を背景に、予防医学やアンチエイジング、介護医療（QOL）など、医療の場においても栄養士法に「傷病者に対する背景に、療養のために必要な栄養の指導」と定められているように、管理栄養士が医師や看護師と手を携えて果たせる役割は大きいものです。



生命科学部卒業要件 2009~2012年度入学生

				生命科学科 2009～ 2012年度 入学生	応用生物科学科 2009～ 2012年度 入学生	食環境科学科 (生命科学部) 2009～ 2012年度 入学生			
授業科目区分				卒業要件単位数	卒業要件単位数	卒業要件単位数			
共通総合領域 20単位以上	一般教養的教育科目 12単位	人文		12単位 (人文から 4単位以上)	12単位 (人文から 4単位以上)	12単位 (人文から 4単位以上)			
		社会							
		自然情報							
		総合							
	外国語科目 8単位以上	必修		4単位	4単位	4単位			
		選択必修		4単位以上	4単位以上	4単位以上			
		選択	中国語						
			ハングル						
	フランス語								
	健康科学科目	選択							
専攻領域 90単位以上	必修科目		31単位 〔1年次6単位 2年次12単位 3年次7単位 4年次6単位〕		27単位 〔1年次6単位 2年次8単位 3年次7単位 4年次6単位〕		31単位 〔1年次4単位 2年次12単位 3年次9単位 4年次6単位〕		
	選択必修		基礎科学	26単位以上	基礎科学	16単位以上	基礎科学	16単位以上	
			細胞制御科学	10単位以上 (3コースの中から 1分野を選択)	細胞利用	10単位以上 (3コースの中から 1分野を選択)		専門科学	10単位以上
			ゲノム・情報科学		生物利用				
			生命環境科学		環境保全				
	選択科目								
	留学支援科目	英語特別教育科目							
開放領域(他学科)									
合計				124単位		124単位			

生命科学部卒業要件 2013年度以降入学生

			生命科学科		応用生物科学科	
授業科目区分			卒業要件単位数		卒業要件単位数	
基盤 教育 科目	共通教養 科目	哲学・思想	20単位	4単位	20単位	4単位
		自然・環境・生命		4単位		4単位
		日本と世界の文化・歴史				
		現代・社会				
		スポーツと健康				
		総合				
	文化間コミュニケーション	6単位		6単位		
	社会人基礎科目					
	留学支援 科目	英語特別教育科目				
日本語科目						
専門 科目	必修		90単位	34単位	90単位	36単位
	選択必修			40単位以上		22単位以上
	選択					
合計			124単位		124単位	

食環境科学部卒業要件 2013年度以降入学生

			食環境科学科 フードサイエンス専攻		食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻		健康栄養学科		
授業科目区分			卒業要件単位数		卒業要件単位数		卒業要件単位数		
基盤 教育 科目	共通 教養 科目	哲学・思想	20単位	4単位	20単位	4単位	20単位	4単位	
		自然・環境・生命		4単位		4単位		4単位	
		日本と世界の文化・歴史							
		現代・社会							
		スポーツと健康							
		総合							
		文化間コミュニケーション		6単位		6単位		6単位	
	社会人基礎科目								
	留学 支援 科目	英語特別教育科目							
日本語科目									
専門 科目	必修		90単位	55単位	90単位	46単位	90単位	31単位	
	選択必修			20単位以上		22単位以上		26単位以上	
	選択								
合計			124単位		124単位		124単位		

ライフデザイン学部

朝霞事務部朝霞事務課 原 千晶

朝霞キャンパスにはライフデザイン学部は生活支援学科、健康スポーツ学科、人間環境デザイン学科の3学科で構成され、そのうち生活支援学科は生活支援専攻と子ども支援専攻の2専攻に分かれています。どの学科、専攻でも多くの資格を目指すことができるカリキュラムを編成しており、学生の資格取得に向けた意欲も高くなっています。

授業科目と単位

ライフデザイン学部は1年を4月から9月までの春学期と10月から3月までの秋学期に分けて授業を行い、それぞれの学期末に成績を発表します。これをセメスタ制と呼びます。セメスタ制の利点は半期毎に授業や成績評価が完結することによって授業効果を高め、集中して学ぶことができ、幅広い科目選択が可能になります。

それぞれの学期の開始時に、学生は履修登録を行います。学生は各自、自分の興味・関心や資格取得に必要な授業を選択して登録を行います。春・秋とも最大24単位まで履修登録をすることができます。年間48単位履修することができ、各学科とも学年ごとに必修科目を配置することで、大学に必ず来なければならないカリキュラムになっています。なお、資格取得に配慮するため、生活支援学科生活支援専攻で介護福祉士コースに配属する学生は各学期において最大28単位履修登録することができます。また、教職課程を履修する学生は、教育職員免許状取得のための科目に限り、最大24単位の制限を越えて履修登録することができます。

ライフデザイン学部では出席を重視する授業が多く、単位の認定に際しては授業回数の2/3以上の出席を条件としています。また、休講となった科目は必ず補講を行っており、その実施率は100%です。

2013年にはカリキュラムの改正が行われ、すべての学科・専攻において基盤教育として社会人基礎科目が設置されました。これにより、従来よりもさらに自分のキャリア形成を意識した授業が行われています。また、グローバル人材の養成は社会の急務であると考え、選択科目の外国語に従来の英語・中国語・韓国語にドイツ語・フランス語が加わりました。さらに、TOEIC試験の対策授業を開講し、合わせて一部の学科では英語の必修科目の時間数を増やし、英語力のレベルアップを目指しています。

授業時間

時 限	時 間
1時限	9:00~10:30
2時限	10:40~12:10
昼休み	12:10~13:00
3時限	13:00~14:30
4時限	14:40~16:10
5時限	16:20~17:50

進級と卒業

ライフデザイン学部では単位の修得状況に関わらず4年生まで進級していきます。ただし、人間環境デザイン学科においては卒業研究・卒業制作の着手条件を設けています。この条件を充足できない場合、卒業研究・卒業制作を履修することができないため、必然的に4年間での卒業ができなくなります。

各学期の終了時に単位の修得状況が芳しくない学生に対しては専任教職員による面談を実施しています。

卒業するために最低限修得しなければならない単位数(2012年度以前入学生)

(単位)

授業科目区分			生活支援学科 生活支援学 専攻	生活支援学科 子ども支援学 専攻	健康スポーツ 学科	人間環境 デザイン 学科
一般教養的科目	人間探究分野	読解と表現	12	12	12	12
		人間と生活の理解				
		社会と自然の理解				
		経営と管理の知識				
		総 合				
	文化間コミュニケーション分野		4	4	4	4
	スポーツ健康分野				2	
	留学支援科目					
小 計		16	16	18	16	
専門科目	学部共通科目	必修科目	8	8	8	8
		選択科目				
	学科専門科目	必修科目	22	18	36	14
		選択必修科目			5	2
		選択科目	46	46	30	53
		計	68	64	74	69
	小 計		76	72	90	77
	合 計		124	124	124	124

人間環境デザイン学科卒業研究・卒業制作着手条件
3年生6セメスタ終了時まで1・2年次専門科目の必修科目をすべて修得していること、かつ卒業要件単位を100単位以上修得していること。
4年生7セメスタ終了時まで各自が所属するコースのデザイン演習ⅡAを修得していること。

ライフデザイン学部では下記の表に記載されている資格を取得、または受験資格を取得することができます。資格にはそれぞれ取得のための条件があり、一部の資格は入学直後の1年次の春学期から継続的に学修を進めなければならないものもあります。そのような資格の取得と卒業を同時に目指すためには、漠然といくつもの資格を目指すよりも、本当に自分の将来に必要な資格は何かをよく考え、そのために授業に集中して取り組み組むことが必要です。また、資格取得を目指す学生

資格取得について

卒業するために最低限修得しなければならない単位数(2013年度以降入学生)(単位)

授業科目区分			生活支援学科 生活支援学 専攻	生活支援学科 子ども支援学 専攻	健康 スポーツ 学科	人間環境 デザイン 学科	
基礎教育	共通教養科目	哲学・思想	12	12	12	12	
		自然・環境・生命					
		日本と世界の文化・歴史					
		現代・社会					
		総 合					
	文化間コミュニケーション		4	4	8	6	
	スポーツと健康				2		
	社会人基礎科目						
留学支援科目							
小 計		16	16	22	18		
専門科目	学部共通科目	必修科目	8	8	8	8	
		選択科目					
	学科専門科目	必修科目	18	18	38	14	
		コース別必修科目				10	
		選択必修科目			4	1	2
		選択科目	48	46	30	43	
		小 計	74	72	81	77	
	合 計		124	124	124	124	

取得可能な資格

	生活支援学科 生活支援学 専攻	生活支援学科 子ども支援学 専攻	健康スポーツ 学科	人間環境 デザイン学科
社会福祉士	受験資格取得	受験資格取得	受験資格取得	
精神保健福祉士	受験資格取得		受験資格取得	
介護福祉士 ※1	2011年度以前入学生	資格取得		
	2012年度以降入学生	受験資格取得		
保育士		資格取得		
A.D.I.	受験資格取得	受験資格取得	受験資格取得	
健康運動指導士			受験資格取得	
健康運動実践指導者	受験資格取得	受験資格取得	受験資格取得	
障害者スポーツ指導員	資格取得	資格取得	資格取得	
レクリエーション・インストラクター	資格取得	資格取得	資格取得	
第一種衛生管理者			資格取得	
公認スポーツ指導者			資格取得	
一級建築士				受験資格取得
二級建築士				受験資格取得
木造建築士				受験資格取得
社会福祉主事	任用資格取得	任用資格取得	任用資格取得	任用資格取得
教育職員免許状	幼稚園教諭1種	資格取得		
	高等学校教諭1種(福祉)※2	資格取得		
	高等学校教諭1種(保健)		資格取得	
	中学校教諭1種(保健)		資格取得	
	高等学校教諭1種(保健体育)		資格取得	
	中学校教諭1種(保健体育)		資格取得	
	養護教諭1種		資格取得	
	高等学校教諭1種(工業)			資格取得
	高等学校教諭1種(工芸)			資格取得

※1 生活支援学科生活支援学専攻介護福祉士コース所属学生のみ取得可能。

※2 社会福祉士受験資格取得希望者のみ取得可能です。

はその他の学生と比較した場合、授業の時間割に制約が生じます。そのため、資格取得に必要な授業は一度の履修で単位を修得することができるよう、予習、復習を欠かさず、毎回授業に出席することが大切です。

● 学生部の窓口から ●

最近の学生事情とサポート体制

学生部長(法学部教授) 小林 秀年

東洋大学学生相談室は、白山・朝霞・川越そして板倉の各キャンパスに開設され、専門の職員(二四名の臨床心理士)が学生の個性をはじめキャンパスの環境や学部の特徴などを踏まえて学生相談員として対応しています。学生には、「学生ハンドブック」で相談室の利用案内などを掲載して周知に努めています。学生相談員は、学生相談のみならず教職員のメンタルヘルス講習の講師を務めたりしています。学生援助活動としては、自発的あるいは依頼されて来室する学生に対しては、学生自身が抱える問題の整理や問題解決の糸口を見つけていくことのサポートですが、緊急性の高い問題の場合には危機介入を行ったりしています。これらのことを行う際には、当該学生の了解を得てから必要に応じて教職員や保護者との連絡を取り合うあるいは地域医療機関や関係機関の照会なども行っています。

二〇二三年度学生相談室の利用件数総数は九、五四四件あり、そのうち個人相談の利用者実数は八九二人、延べ面接回数は八、七二二回でした。一人あたりの平均面接回数も二〇二〇年度は九回を越え、二〇二三年度は一〇回に迫るという、年々増加の傾向が見られます。これは、年間を通じて大学生活のみ

ならず日常の人間関係など様々な場面で助言を求めてくる学生、継続的な支援を必要とする学生、情緒不安定で予約外での対応が必要な学生、障がいを持つ学生など、学生生活を送る上で学生相談室以外の関係部署との連携が必要なケースや学生が増えたことが考えられます。特に関係部署との連携は、障がいを持つ学生への支援が整備されてきたことにより(二〇一三年四月に、白山キャンパスに東洋大学障がい学生支援室(通称:バリアフリー推進室)が開設)、より細やかな援助が可能になったことが理由の一つとされています。このバリアフリー推進室は、東洋大学における障がい学生の教育および学生生活等の支援を行うワンストップサービスの場として(障がい学生が直接に関係部署に支援を求めなくても、この支援室が支援窓口となり、必要に応じて関係部署と連携するための調整などを行います)、そして修学環境の向上を図ることを目的に設置されました(白山キャンパスと他キャンパス間では、必要に応じた連携協力を行っています)。

利用者の相談内容は九五.三%が「適応相談」ですが、学生相談員によると学業や進路など他の動機を持って学生相談室に来室した場合でも、背景に精神的不調や性格特性上の問題が想定される学生が増加したためであると分析しています(東洋大学学生相談室「学生相談室報告書 第一五号」二〇一四年六月発行)。

学生相談員の分析に拠れば、近年、学生気質が大

きく変化し、悩みや葛藤を自己の内に抱えることが難しく、ちょっとしたきっかけで暴発したり、危機的事態を生じさせる学生が増加する傾向にあるそうです。それらの悩みを悩みとして抱え、最初から自発的に学生相談室を訪れる学生は、援助に必要な学生の一部に過ぎません。残りの要援助学生については、その時々学生に関わった教職員が、それぞれの現場で、立場で対応していくことになります。その際に、これは難題であるとか、このような学生をどのように理解し、どのように対応すれば良いのか、どのような配慮が必要なのであるのかなどといった戸惑いを覚える教職員が出てくるのが予想されます。そこで学生相談室では、今まで継続して発行してきた「困ったときの学生対応Q&A」をリニューアルして、教職員に向けてそのような学生についての理解を深めて学生支援がより円滑になるように、「教職員のための学生対応ガイドブック」(仮)を作成中です。同書が学生相談に関するガイドブックとして、学生対応の一助となることを願っています。そして必要に応じて、「保護者向けの学生対応Q&A」も作成しようと思います。

学修支援に関しましては、白山では学修支援室、川越と板倉は学習支援室、朝霞は学習支援センターを開設して、学生諸君のニーズに応えるべく学修(学習)のサポートを行っています。

就職関係

就職・キャリア支援部 部長 大田 啓子

平素より、就職・キャリア支援部の活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も6月後半に開催された、首都圏地区浦水懇談会を皮切りに、全国各地で「浦水懇談会・支部総会」が行われました。その時々において保護者の皆様と交流をさせていただきました。今後とも就職の担当者は、お子様が自分の進路を自分で決定できるよう支援を続けてまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、秋学期が始まり各キャンパスは、夏季休暇を利用してインターシップやボランティアを経験した学生達の活気で溢れています。ここにあらためて4年生及び3年生の状況、現3年生の就職活動スケジュールについてお伝えいたします。

4年生の就職状況について

現4年生の就職内定率は、10月時点で約7割のところにあります。例年より早めの動きとなった企業側の採用活動により、この時期としては昨年よりやや良好の状況であります。しかしながら、まだまだ多くの学生が進路決定に向けて活動しています。特に今年は企業からの求人は届いていますが、学生には、粘り強く最後まで諦めずに活動を継続することの大切さを伝えていきます。

特にこれからは本学の求人ナビの活用をお勧め

めします。「東洋大学の学生を採用したい」という意思をもって送られてくる情報です。また企業採用担当者の来訪を受け、私ども就職担当者が直接いただく情報も多くあります。また、「学内会社説明会」「内定獲得のためのセミナー」など、活動中の学生の進捗状況に添ったイベントも開催してまいりますので、お子様には是非、各キャンパスの就職支援室と、職員・相談員による個別相談を利用するようお願いください。なお、学生向けポータルサイト「ToyoNet-Gの就職情報」は、自宅のパソコンからもアクセスが可能となっております。

3年生の活動状況について

現在各キャンパスでは、本格的な就職活動に向けて準備をするための「就職活動支援セミナー」が進行中です。例年、十分な準備をしないまま本番に臨み内定を得られず苦戦する学生がいます。セミナーでは、就職活動の流れを掴むとともにワークを交えながら内定獲得のために必要なエッセンスを修得します。具体的には、自分の将来と就職活動を結びつける自己分析、企業の見つけ方、面接・エントリーシートの準備、人事担当者の視点など、多岐にわたる内容を学びます。また、業界・職種研究、SPI・一般常識テスト・webテスト対策、ビジネスマナーなどのイベントも並行して行います。いずれも授業の空き時間に参加することができ、無理なく就活の準備をすることが出来ます。

現時点で進路を決めていない学生も、公務員・

就職を希望する学生も、これらのセミナーに参加することを奨励しています。自立した大人として社会で働くための準備にきつと役に立つと考えっております。

就職活動スケジュール変更について

既にご存知かとは存じますが、2016年4月入社就職活動は、これまでのスケジュールより繰り下げになります。具体的には、企業の会社説明会などの採用に関わる広報活動は3年生の3月から、面接などの採用選考は4年生の8月からとなります。変更1年目となる学生には、2年生の1月時点から周知しているとともにインターシップ合同会社説明会、OB・OGとの連携など、スケジュール変更に即した支援を行っています。実際には「繰り下げ」は就職活動期間の短縮になります。これまで以上に準備を整え情報収集を怠ることなく選考に望むことが大切です。また、外資系企業などの経団連に属さない企業は、先のスケジュールにとらわれずに、今年並みの早い動き出しが予想されていますので、早目の動きにも充分注意してください。

就職活動をスムーズに進めるために重要なことは、低学年から意欲的・積極的に学生生活を送ることです。お子様には、ゼミ、国内外インターシップなど多様な経験にチャレンジするよう促していただければ幸いです。

これからの保護者の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

● 納付金(学費等)について ●

経理部財務課

I 納付金の納入方法と時期

毎年、納付金の納入にご協力いただきましてありがとうございます。

納付金について、電話等での問い合わせ内容を中心に説明いたします。

納付金振込用紙は、学年末に次の学年に必要な金額を記載し、お送りします。

① 納付金振込用紙の郵送先

第一部：保証人住所宛てに郵送

第二部：本人または保証人住所宛てに郵送

(郵送先は入学時に選択した宛て先)

② 納付金の振込方法

大学より郵送されたその年度の指定振込用紙をご利用ください。それ以外(銀行備え付けの用紙やATM等)での振込はご遠慮ください。

また、大学での現金による受付はしておりません。

③ 全納と分納

振込用紙には「全納」と「分納」の用紙があり、振込時に選択してください。

全納：年間必要額を一括して納入

分納：年間必要額を春学期と秋学期の二回に分けて納入

分納を選択された方の秋学期用振込用紙は、秋学期納入時期に大学より郵送します。

④ 納入期間

・春学期 四月一日～四月二十五日

・秋学期 十月一日～十月十五日

※納入期間は各年度の曜日により変動します。

振込用紙記載の期間内にお振り込みください。

II 納付金の内訳

納付金は、「学費」と「その他の費用」に区別されます。

①「学費」には、入学金・授業料・一般施設設備資金・実験実習料・教育充実料が含まれます。

(実験実習料・教育充実料は該当する学部・学科のみ。)

②「その他の費用」は次のものになります。

・雨水会費

・学生課外活動育成会費(工学部を除く)

III 学籍異動に係る納付金について

休学・原級・退学等、学籍異動時には必要な納付金が変わります。

休学：一般施設設備資金およびその他の費用が必要となります。

原級：四年生で原級する場合、当該年度の正規四年生の納付金と同額になります。

なお、「学籍異動願い」が受理された日より学籍異動の効力が発生する日付が異なります。

申請手続について不明な点等は、各学部教務課等にお問い合わせください。

IV 納付金についての問い合わせ先

振込用紙の未着や紛失、支払額の詳細など、納付金に関するお問い合わせやご相談はテレフォンガイドを参照願います。また、東洋大学ホームページでも詳細をご覧になれます。

2015年度入学試験情報

2015年度の入学試験情報のトピックスをご紹介します。
掲載内容の詳細は、東洋大学入試情報サイトで必ずご確認ください。

<http://www.toyo.ac.jp/nyushi/>

TOPICS 1

入学定員を512名増員

7学部25学科の入学定員を見直し、2015年度より、入学定員を合計512名増やします。過去10年間の志願者数の増加を考慮し、学びたい人に、さらに広く門戸を開きます。

TOPICS 2

一般入試で「4教科(判定)入試」を導入

一般入試において、文系4学部7学科で従来の3教科判定入試に加え、「4教科(判定)入試」を導入します。幅広く学んできた受験生にとって、チャレンジできる幅が広がります。

■入学定員を増員する7学部（現行数→改訂数）

文学部（480名→566名）、経済学部（575名→616名）
経営学部（520名→532名）、社会学部（550名→750名）
理工学部（720名→811名）、生命科学部（200名→226名）
ライフデザイン学部（400名→456名）
全学部合計：512名増

TOPICS 3

センター利用入試の併願に検定料割引を導入

■センター利用入試の併願割引

センター利用入試は、すべての試験において、複数併願することが可能です。
従来の検定料は、1出願につき20,000円（併願割引なし）ですが、2015年度より導入する併願割引では、2出願までは一律20,000円、3出願目以降は1出願につき10,000円を加算します。2出願で20,000円割引、3出願では30,000円割引となります。

センター利用入試・一般入試スケジュール

センター利用入試

出願時期	出願期間 (郵送・消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続 締切日	試験会場
前期	1月5日(月)～1月16日(金)	1月17日(土) 1月18日(日)	2月14日(土)	2月27日(金)	各センター試験会場 (東洋大学個別の学力試験は行いません)
中期	1月5日(月)～2月20日(金)		3月7日(土)	3月12日(木)	
後期 (第1部)	1月5日(月)～2月27日(金)		3月16日(月)	3月24日(火)	
後期 (イブニングコース)	1月5日(月)～3月9日(月)		3月19日(木)		

センター利用入試は複数学科の併願や同一学科を複数の判定型で併願することができます。
後期は第1部とイブニングコース（第2部）で出願期間等が異なりますので、ご注意ください。

一般入試

出願時期	試験日	出願期間 (郵送・消印有効)	合格発表日	入学手続 締切日	試験会場
前期	2月1日(日)	1月5日(月)～1月23日(金)	2月9日(月)	2月27日(金)	東京(白山キャンパス) 埼玉(朝霞キャンパス*1、川越キャンパス)
	2月8日(日)	1月5日(月)～1月30日(金)	2月17日(火)		全国19会場*2
	2月9日(月)				
	2月10日(火)	1月5日(月)～2月3日(火)	2月19日(木)		
	2月11日(水)				
中期	2月27日(金)	1月5日(月)～2月20日(金)	3月7日(土)	3月12日(木)	全国8会場*3
後期	3月5日(木)	1月5日(月)～2月27日(金)	3月16日(月)	3月24日(火)	全国8会場*3
	3月6日(金)				東京(白山キャンパス)

*1…2月1日の朝霞キャンパスは、実技試験を含む試験のみを対象としています。

*2…東京(白山キャンパス)、埼玉(朝霞キャンパス)、札幌、仙台、郡山、水戸、宇都宮、高崎、千葉、東京(町田)、横浜、新潟、金沢、長野、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡

*3…東京(白山キャンパス)、札幌、仙台、新潟、長野、静岡、大阪、福岡

南水会活動

平成25年度南水会活動報告

(平成26年度評議員会資料抜粋)

平成25年度事業報告

東洋大学は、2013年(平成25年)に創立126周年を新たに迎えるにあたり、建学の理念を踏まえ「教育の質」の向上、「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」を実践し、グローバル化を積極的
 に推進、新たな時代に貢献できる学生を育成するための改革を行っています。

2013年4月には、板倉キャンパスに「食環境科学部」を新設、また白山キャンパスの文学部「インド哲学科」および「中国哲学文学科」を「東洋思想文化学科」に再編成し、11学部44学科となりました。

南水会も、「大学の興隆発展と学生の健全なる発達」のため、大学にできる限りの協力しております。また、大学より南水会事業に対すること支援を得ながら、教育の充実強化、学生の文化・体育活動の援助等の活動を推進してまいりました。

以下、平成25年5月25日開催の評議員会で承認された事業計画に基づき、大学のご理解ご協力のもとに執行した1年間の事業実施概要を報告いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

平成25年度評議員会は、常任理事及び全国59支部支部長と、1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員で構成され、会則第6章評議員第21条に基づき、評議員70名(定数80名)、監事2名が出席し、平成25年5月25

日13時より南水会館2階会議室において開催された。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、会則第4章役員第8条に基づき、開催された。

① 平成24年度

第2回理事会

平成25年4月20日

② 平成25年度

第1回理事会

平成25年10月26日

(3) 常任理事会

会則第4章役員第9条に基づき、月1回の定例会議(但し、7・8月は除く)及び臨時会議を開催し、業務を執行した。

① 平成24年度

第9回常任理事会

平成25年4月13日

第10回常任理事会

平成25年5月11日

② 平成25年度

第1回常任理事会

平成25年6月8日

第2回常任理事会

平成25年9月28日

第3回常任理事会

平成25年10月12日

第4回常任理事会

平成25年11月16日

第5回常任理事会

平成25年12月14日

第6回常任理事会

平成26年1月11日

臨時常任理事会

平成26年2月1日

第7回常任理事会

平成26年2月22日

第8回常任理事会

平成26年3月15日

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて内部委員会を開催し、業務を執行した。

(5) 役員選考委員会

会則第4章役員第6条に基づき、全国59支部より選出頂き次期役員候補者を選考するため、平成26年1月18日に第一回を開催、平成26年2月14日に第2回を文書開催した。

(6) 地区別支部長会議

① 平成25年5月11日、関東地区支部長会議

(首都圏地区13支部)を南水懇談会開催に伴う打合せ会議が行われた。
 ② 会則第10章第39条に基づき、平成25年2月に地区長主催で全国10地区において本部・支部活動の円滑な連携と地区の活性化を目的とし、会議を開催した。

(7) 全国59支部長研修会

① 平成25年9月14日、本部主催で全国59支部長(代理含)の参加による「南水会諸規程」及び、「支部関係業務処理に関する取扱」を主とした支部長研修会を開催した。



評議員会

行事

(1) 雨水懇談会

①首都圏地区13支部（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県）
 学生が在籍する4校舎（白山・川越・板倉・朝霞）で開催され、大学教職員による「報告・個別面談」を実施し、支部会員同士の親睦も深められた。

支部名/ 日付・校舎	支部 コード	6月22日(土) 板倉校舎	6月22日(土) 朝霞校舎	6月30日(日) 白山校舎	6月30日(日) 川越校舎	合 計
茨 城	0801	24	18	56	35	133
埼 北	1101	18	2	16	14	50
埼 中	1102	8	9	53	57	127
埼 東	1103	23	2	45	19	89
埼 南	1104	11	16	104	48	179
千葉東	1201	2	2	80	4	88
千葉西	1202	3	10	94	17	124
城 東	1301	4	3	42	10	59
城 西	1302	2	5	33	9	49
中 央	1303	0	4	17	1	22
城 北	1304	5	9	78	16	108
多 摩	1305	2	8	69	20	99
神奈川	1401	3	18	109	6	136
出席者合計		105	106	796	256	1,263

②首都圏地区以外46支部

全国46支部総会の中で雨水懇談会として開催し参加者は1,075名であった。大学教職員及び本部役員が出張し、会員相互の交流も図られ無事終了した。

(2) 会員の集い・就職活動フォーラム

平成25年度で5回目を迎えた「会員の集い・就職活動フォーラム」は、大学との共催により、就職関係の充実を図ることを目的に、白

山キャンパス井上円了ホールにおいて10月26日(土)・27日(日)の2日間に亘って4部構成で開催する予定であったが、台風27号の影響により10月26日(土)第1部講演及びキャンパスツアーが中止となった。

10月27日(日)2日目は、第2部講演会・第3部就職活動フォーラムが行われた。講演会では、硬式野球部部長新井恭子准教授より「もしアラ・：もしも大学野球部の部長新井がドラッカーの『マネジメント』を読んだら」と題して、選手の活動内容などについて講演、本学名誉教授講演では、井上博文国際地域学部名誉教授より、「東洋大学と観光教育」と題し、グローバル化推進に向けた国際地域学部の取組み及び今後の国の観光政策と人材育成における国際観光学科の教育目標などについて講演を頂いた。また、第3部就職活動フォーラムは、就職・キャリア支援部深野弘美部長から東洋大学の現状について説明があり、東洋大学OB・OG講演では、経済学部卒、巣鴨信用金庫の福島啓太氏、社会学部卒、㈱クレオの中村琴美氏2名による卒業生の就職活動体験などの講演があった。キャリア講演として、「現代の学生と社会で求められる人材のギャップ」と題して、スターツコーポレーション(株)の杉山正則氏より具体的に実践的なお話があった。平成25年度の参加者は、383名であった。なお、5年間実施した結果、平成21年度は546名、22年度は330名、23年度は228名、24年度は472名の参加者数であった。

2. 学生諸制度

(1) 奨学金

「奨学生規程」に基づき、常任理事会において選考の結果、20名(留学生2名含む)を採用した。

(2) 弔慰金：……「弔慰金規程」に基づき、会員の申請により4名に支給した。

(3) 学生総合補償制度：……1年生を対象とする「学生総合補償制度」の傷害保険への任意加入者は、570名であった。

(4) 学生クラブ・サークル、学術研究等援助表彰制度：……「援助・表彰基準」により、1部体育会・2部体育会の団体及び個人へ表彰状と褒賞金198万円を援助した。さらに学生クラブ・サークル(文化系サークル)に対し、学生部と連携して申請願いが出された16サークルに32万円援助した。なお、文科系特別援助金として、英語スピーチコンテスト・中国語弁論大会等8万円、スポーツ東洋新聞等への新聞広告掲載料として17万円援助した。

3. 雨水会費・援助金の交付

(1) 雨水会費

雨水会費は、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、本部から所属会員数1人当たり、1,500円を乗じ(6月暫定会員数80%支給・11月確定会員数20%支給)各支部へ支部運営費交付金として37,599,000円を支出した。

(2) 会員数割傾斜援助金

会員数割傾斜援助金は、全国59支部の会員数を7ブロック(0から18万円)に分け、年1回6月に算定基準により支出した。

援助金内訳

会 員 数

500名以上	0円×17支部＝	0円
500名未満	11万円× 8支部＝	880,000円
120名未満	12万円× 7支部＝	840,000円
80名未満	14万円× 0支部＝	0円
70名未満	15万円× 2支部＝	300,000円
60名未満	16万円×12支部＝	1,920,000円
30名未満	18万円×13支部＝	2,340,000円
		59支部＝6,280,000円

(3) 調整金

支部運営費と会員数傾斜援助金の合計額が会員数の少ない支部より下回る「逆転現象」が生じた場合は正として、11支部へ11月の支部運営費支払い時に加算（134、500円）し支給した。

(4) 支部事業・イベント等に対する援助金
支部主催行事に対し、支部主催行事援助金支給規程により援助した。

4. 就職問題

支部主催の就職説明懇談会出張に伴う大学教職員の旅費交通費等は大学側にお願ひし、就職説明会開催希望支部について講師派遣などを大学側と協議しご支援ご協力を頂いた。また、浦水会の支部主催行事援助金支給規程に基づき、支部総会と同時開催支部に対しても援助した。

実施支部については、後述の「支部主催行事」参照

5. 大学事業（行事）に対する協力

- 平成25年度浦水会事業計画に基づき執行した。
- 体育後援会
(1) 体育後援会
体育後援会は、校友会・本会とで構成し、本部拠出金として400万円援助した。
- (2) 「井上円了が志したものは」に対する援助
井上円了記念学術センターの企画・実施に、実行委員会を構成し、その運営費の一部負担金150万円を援助した。
- (3) 卒業記念品
卒業記念品（25年度は今治タオル）購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金180万円を援助した。
- (4) 全学的な行事に対する援助
大学祭（白山祭・朝華祭）こもれび祭・雷祭・スポーツ大会（川越朝霞・板倉）に援助した。
- (5) 留学生に対する援助
大学の国際化が求められている今日、留学生連合会の活動等に対し援助した。
- (6) 「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力
創立150周年に向けて国際的に評価される大学を目指した①育英事業の展開②教育・研究活動支援③学生課外活動の充実④教育研究施設設備の拡充に係る募金の取組みに対して、学生への支援として平成25年度については、大学へ100万円の援助寄付をした。

6. 大学・校友会行事等に対する協力

- 大学・校友会の年間行事として実施する祭事・会議に浦水会代表者を派遣、協力した。
- (1) 大学・校友会行事に派遣、協力した。
 - ①平成25年4月6日 入学式
 - ②平成25年4月21日 2013年度新入留学生歓迎会
 - ③平成25年5月8日 箱根駅伝で優勝させる会総会
 - ④平成25年5月18日 校友会代議員会

7. 広報活動

- 会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施し、「会員のしおり」及び「会報東洋」の発送に伴う経費は、大学側にお願ひした。
- (1) 新入会員対象の「会員のしおり」
平成26年1月発行
 - (2) 全会員対象の「会報 東洋」
平成25年12月発行
 - (3) 役員及び支部長対象の「浦水会ジャーナル 第51号、52号」
平成25年4月・10月発行
 - (4) 大学側にリンク依頼開示のホームページを通じて、情報活動を強化した。

8. 会員情報管理システム

浦水会本部では、情報開発による大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理を行っている。会員情報管理システムの情報更新は、本会で確認し大学総務課に依頼している。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供した。

平成17年4月1日からの「個人情報保護法」施行後は、情報の使用・管理等については引き続き支部でのご協力をお願いしたい。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、ホームページについても、新しいデータを加えながら大学側ホームページにリンクを依頼し、情報化を促進している。

支部事業関係

1. 支部総会（浦水懇談会）

支部総会開催については、本部支部経費の節減と業務処理の合理化の観点から、前年度同様、支部総会（浦水懇談会）の「案内と出席申込」は本部一括発送・受取処理した。また、支部総会の中で、浦水懇談会として大学関連行事を取り込む形で実施した。なお、今年度も支部総会への大学側出張者（代表・事務説明者）の旅費交通費は、大学側にお願した。

- ① 支部総会…59支部 会員数6、279名
- ② 開催日…平成25年7月6日～8月4日
- ③ 出張者…浦水会本部代表者 延べ46名
- ④ 出席者…1、716名

2. 支部行事

実施支部は以下の通りであり、浦水会の支部主催行事援助金支給規程に基づき援助金を支出した。

①就職説明（懇談）会

月 日	曜	支 部	場 所	事務説明者(敬称略)			出席者数
7月6日	土	兵庫県	清交倶楽部総社会館	次長	野口	正生	34
6日	土	徳島県	ホテルグランドパレス徳島	主任	畠野	真規子	6
7日	日	茨城県	ホテルマロウド筑波	准教授	小島	貴子	107
7日	日	千葉県東	千葉市生涯学習センター	課長	中村	健司	63
7日	日	千葉県西	船橋グランドホテル	部長	深野	弘美	70
7日	日	岡山県	ビュアリティまきび	次長	野口	正生	17
7日	日	愛媛県	いよてつ会館	主任	畠野	真規子	14
7日	日	熊本県	熊本ホテルキャッスル	主任	早坂	充樹	28
7日	日	宮崎県	ホテルセンチュリー宮崎	課長補佐	萩原	剛志	26
13日	土	山口県	山口グランドホテル	課長補佐	萩原	剛志	20
13日	土	大分県	大分市コンパルホール6F601	課員	高山	泰輔	7
14日	日	滋賀県	ホテルグランヴィア京都	部長	深野	弘美	5
14日	日	京都府	ホテルグランヴィア京都	部長	深野	弘美	8
14日	日	広島県	ホテルニューヒロデン	外部講師	田中	淳	20
14日	日	福岡県	TKPガーデンシティ博多	課員	高山	泰輔	28
15日	月	埼玉県東	春日部市商工振興センター	次長	野口	正生	86
20日	土	埼玉県北	埼玉グランドホテル深谷	次長	野口	正生	41
27日	土	島根県	ホテル一畑	主任	西澤	昌子	10
27日	土	高知県	高知会館	課長	中村	健司	18
27日	土	長崎県	奥座敷てん新	課員	高山	泰輔	9
28日	日	富山県	高志会館	課員	富岡	周平	24
28日	日	香川県	オフィスサポートセンター	課長	中村	健司	9
28日	日	佐賀県	ホテルニューオータニ佐賀	課員	高山	泰輔	13
8月3日	土	和歌山県	ホテルアバローム紀の国	次長	野口	正生	10
4日	日	北海道旭川	ロワジールホテル旭川	課員	大倉	ゆかり	14
4日	日	福井県	ホテルリバーージュ アケボノ	課長補佐	萩原	剛志	3
4日	日	長野県	長野第一ホテル	課員	富岡	周平	40
9月29日	日	栃木県	コンセーレ	課長	中村	健司	144
10月6日	日	群馬県	前橋商工会議所	部長	深野	弘美	105
11月4日	月	新潟県	新潟ユニゾンプラザ4階	准教授	小島	貴子	76
9日	土	静岡県	静岡駅ビルパルシェ	部長	深野	弘美	112
10日	日	山形県	大手門パルズ	課長	中村	健司	34
16日	土	岩手県	盛岡大通商店街「リリオ2F」	次長	野口	正生	9
16日	土	秋田県	第一会館本館	部長	深野	弘美	15
16日	土	福島県	郡山市労働福祉会館	課長補佐	腰山	雅基	46
17日	日	青森県	ラ・プラス青森	次長	野口	正生	14
17日	日	山梨県	ホテル談露館	課長	中村	健司	44
12月1日	日	宮城県	KKRホテル仙台	課長	中村	健司	29
1月19日	日	埼玉県南	埼玉会館	外部講師	櫻井	照士	78
19日	日	鳥取県	ホテルハーベストイン米子	課長	中村	健司	10
3月15日	土	神奈川県	ホテルヨコハマガーデン	外部講師	川田	英利	95
			合 計				1,541

②大学施設設備校舎見学会

月 日	曜	支 部	場 所	出席者数
4月7日	日	阪奈	川越校舎	7
6月29日	土	東京都城東	白山校舎	40
12月7日	土	群馬県	白山校舎・川越校舎	53
14日	土	茨城県	板橋総合スポーツセンター	15
3月30日	日	阪奈	川越校舎	10
合 計				125

出席者数=支部長報告による

③講演・研修会等

月 日	曜	支 部	講演会・研修会等／内容	講演者(敬称略)／場所	出席者数
6月29日	土	東京都城東	箱根駅伝V奪回への道のりについて	陸上競技部監督(長距離) 酒井 俊幸	71
7月7日	日	茨城県	井上円了の人と思想について	東洋大学学長 竹村 牧男	107
7日	日	千葉県西	「子供を守る」～社会に出る前に知っておきたいこと～	弁護士 荻原 富保	70
7日	日	東京都城北	東洋大学保護者への経済・就職セミナー	(有)ベイ・フォワード 代表取締役 川田 英利	74
14日	日	石川県	第3回全日本大学選抜相撲金沢大会	金沢市卯辰山相撲場	69
20日	土	埼玉県中央	航空会社やホテルなどグローバル企業で求められる人材とは?	グローバルキャリア教育センター 副センター長 柳川 悦子	59
21日	日	東京都多摩	三大学生駅伝大会制覇に向けて	陸上競技部長距離部門コーチ 佐藤 尚	60
8月13日	火	徳島県	東洋大学連 阿波踊り参加	徳島市内 阿波踊り演舞場他	100
14日	水				
24日	土	新潟県	東洋大学陸上競技部山古志合宿支援と激励	新潟県長岡市山古志「山古志体育館」	17
25日	日	東京都城北	日経新聞を最大活用せよエントリーシート&面接を完全突破するためのマル秘活用法	(有)ベイ・フォワード 代表取締役 川田 英利	44
10月14日	月	鳥取県	第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲駅伝(出雲大社、出雲ドーム周辺)	27
14日	月	島根県	第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲駅伝(出雲大社、出雲ドーム周辺)	8
14日	月	岡山県	第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲駅伝(出雲大社、出雲ドーム周辺)	7
14日	月	広島県	第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲駅伝(出雲大社、出雲ドーム周辺)	38
19日	土	千葉県東	秋の研修旅行～日本の気象観測の歴史を訪ねて～	富士山レーダードーム館	79
20日	日	東京都城北	筑波宇宙センター見学と那珂湊漁港で新鮮な魚介類のお食事等、城北支部研修会・会員懇親バス旅行	筑波宇宙センター・那珂湊漁港・木内酒造等	82
11月2日	土	茨城県	茨城支部研修旅行	白山校舎・ホテル椿山荘等	63
2日	土	東京都城西	哲学堂祭に行こう	哲学堂公園	14
3日	日	京都府	大学祭見学と白山付近の文化施設散策ツアー	白山校舎・白山神社他等	6
3日	日	三重県	全日本大学駅伝応援	熱田神宮～伊勢神宮	11
16日	土	埼玉県東	見学研修会	カップヌードルミュージアム・羽田空港国際ターミナル等	86
17日	土	東京都多摩	多摩支部親睦研修旅行	鎌倉・三崎等	73
9日	土	千葉県西	銀座・日本開花の品格を訪ねて	東洋大学文学部 名誉教授 竹内 清己	54
17日	日				
23日	土	埼玉県中央	日帰り研修旅行	神奈川県箱根方面	73
23日	土	東京都城東	文学鑑賞・社会見学会「防災体験と広東料理を堪能し、ビール工場見学の旅」	錦糸町・本所防災館・横浜中華街・キリンビール工場等	96
23日	土	神奈川県	山梨県リニア見学センター見学	山梨県リニア見学センター等	41
30日	土	埼玉県北	大学校舎見学並びに会員交流親睦会	白山・板橋総合スポーツセンター等	25
30日	土	埼玉県南	日帰り研修旅行	北本グリコピア・富岡製糸場等	80
30日	土	東京都中央	秋のバス研修会、美保の松原散策とミカン狩り	静岡県	37
12月1日	日	東京都城北	「東洋大学保護者への季節のアレンジメントと折り紙のセミナー」	華道元池坊正教授 清水 悦子	61
7日	土	栃木県	白山・朝霞・板橋スポーツセンター見学バスツアー	白山・朝霞・板橋スポーツセンター等	55
1月2日	木	山梨県	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	往路ゴール付近	29
3日	金	茨城県	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	日比谷公園日比谷門前	26
3日	金	埼玉県東	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	日比谷公園日比谷門前	55
3日	金	埼玉県南	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	日比谷公園日比谷門前	63
3日	金	千葉県西	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	大手町	15
3日	金	東京都中央	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	日比谷花壇前	26
3日	金	東京都城北	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	増上寺隣東京プリンスホテル前	80
3日	金	兵庫県	第90回東京箱根間往復大学駅伝競走	大手町	6
25日	土	千葉県西	千葉県西支部研修会	木更津アウトレット周辺	48
2月16日	日	埼玉県東	就活生や親が知りたい就活の現状と内定絶対獲得に向けての対処法	(有)ベイ・フォワード 代表取締役 川田 英利	80
22日	土	東京都城西	鴨川セミナーハウス見学会	鴨川セミナーハウス等	48
3月1日	土	千葉県東	春の研修旅行～東京いまむかし～	東京スカイツリー、江戸東京博物館	83
1日	土	東京都城北	早春の佐原とDIC川村美術館を巡る	東薫酒蔵、佐原町、DIC川村美術館等	44
2日	日	神奈川県	春の支部研修旅行「ニッポンの最先端」に行く	JAL機体整備工場、東京スカイツリー見学	45
合 計					2,335

出席者数=支部長報告による

雨水会収支関係

雨水会費……年額5,000円

第1部会費徴収数	24,891名	124,455,000円
第2部会費徴収数	487名	2,435,000円
合 計	25,378名	126,890,000円

平成25年度会計報告

平成25年度決算は、4月および5月に開催されました理事会・評議員会において、承認されました。

平成25年度一般会計決算報告書

自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
(流 動 資 産)	(60,602)	(流 動 資 産)	(590)
現 金	94	前 受 金	285
普 通 預 金	60,418	預 り 金	191
郵 便 振 替	90	未 払 金	114
(固 定 資 産)	(9,000)	正 味 財 産 の 部	
雨水会記念事業積立金	9,000	次 年 度 繰 越 金	60,012
		特定資産次年度繰越金	9,000
合 計	69,602	合 計	69,602

一般会計収支計算書

自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

(単位:千円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
雨水会費収入	126,890	事 業 費	98,654
雑 収 入	1,283	管 理 費	14,034
投資活動収入	0	投資活動支出	1,000
前 年 度 繰 越 金	45,527	次 年 度 繰 越 金	60,012
合 計	173,700	合 計	173,700

平成26年度雨水会活動計画

(平成26年度評議員会資料抜粋)

● 平成26年度事業計画 ●

東洋大学は、創立125周年を記念して発出した「未来宣言」において、「教育の質を高めること」を優先課題として、哲学教育、グローバル人材の育成及びキャリア教育を重点的に取り組むべき「3本の矢」と位置づけ、豊かな個性と優れた資質を備えた人材を社会に送り出すことを決意しました。

また、建学の理念に根差し、時代の要請に応え、未来の課題を先取りし、かつ分野別の特質に鑑み、それぞれの学部・学科ごとに人材養成の目的・教育目標を適切に定め、その目標の十分な達成を追求していくことが望まれます。

雨水会もこのような方針のもとで、「大学の興隆発展と学生の健全なる発達」のため、引き続き大学に協力してまいります。併せて、大学より雨水会事業に対するご理解・ご協力を得ながら、教育の充実強化・学生の文化・体育活動等を奨励し、支援する諸事業を運営してまいります。

以下、平成26年度雨水会事業計画の概要を説明いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

常任理事及び全国59支部長と1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として年1回5月に開催する。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年2回10月及び翌年4月に開催する。

(3) 常任理事会

原則として、毎月1回開催する(7・8月は除く)。

本会運営の基本的業務について、評議員会・理事会等で決定した事業計画を円滑に執行する。

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。

(5) 役員選考委員会

次期役員候補者を全国59支部より選出し、1月に役員候補者の選考を行う。

(6) 地区別支部長会議

全国10地区において地区長主催で、本部・支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議及び実務研修を2月に実施する。

(7) 全国59支部長研修会

本部主催で全国59支部長の参加による会議及び実務研修を9月に開催する。

行事

(1) 雨水懇談会

首都圏地区支部(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)の会員は、学生が在籍する校舎(白山・川越・板倉・朝霞)で大学教職員による「履修・成績及び学生生活就職」等について説明・面談を6月に実施する。併せて、就職関係講演の充実を図るための施策を検討する。

また、首都圏地区支部以外の会員は、各

支部主催の行事「支部総会」等の中で、雨水

懇談会として「履修・成績及び学生生活・就職」等について、大学から代表者(教員)と事務説明者より説明・面談を7月から8月にかけて実施する。なお、会員からの要望がある教員との個人面談の実現に向けて、教員出張者の増員等について大学と協議する。

(2) 会員の集い・就職活動フォーラム

大学との共催により会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、10月25日(土)に実施する。講演内容としては、魅力ある講演者・テーマ等を選択し参加者の増員を図りたい。なお、遠隔地支部会員については、前年度通り規定額の交通費を補助する。

2. 学生諸制度

(1) 奨学金制度

会員が不測の事故等で家計が急変し、修学が困難となった学生に対し、規定により学業・課外活動に優秀と判断される場合は、常任理事会の議を経て、原則として1年間の奨学金給付を月額30,000円とし、会員の出願に基づき所定の選考で採用する一般学生は、昨年度より10名増員の25名とする。留学生で学業優秀者は、大学の推薦により奨学金給付を2名に行う。

なお、予算の範囲内でより多くの学生を採用することを目的とし、東洋大学奨学金との併用は、制限するものとする。

(2) 弔慰金制度

不測の事故等で会員のご子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金30,000円を支給する。

(3) 学生総合補償制度

1年生対象の任意加入、「学生総合補償制度」の案内をする。

(4) 学生クラブ・サークル、学術研究等援助表彰制度「援助・表彰基準」により、1部体育会・2部体育会の団体及び個人へ表彰と援助をする。活動として学生クラブ・サークル活動(運動部・文化部・学術研究サークル・ゼミ等)を学生部と連携して、より多くの活動に対し賞賛・奨励する。文化系サークルに対しても全面的に支援する。

3. 浦水会費・援助金の交付

(1) 浦水会費

浦水会費は、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、本部から所属会員数1人当り1,500円を乗じ年2回(6月暫定会員数80%支給・11月確定会員数20%支給)各支部へ支部運営費として支出する。

(2) 会員数割傾斜援助金

会員数割傾斜援助金は、全国59支部の会員数を7ブロック(0から18万円)に分け、年1回6月に算定基準により支出する。

(3) 調整金

援助金のブロック間の逆転現象が生じた場合、11月支部運営費に加算し支出する。

(4) 支部事業・イベント等に対する援助金

支部事業の開催に対し、支部での活性化を図ることを目的とし、支部主催行事援助金支給規程により援助する。

4. 就職問題

父母又は保護者・学生本人と大学就職担当者の、より密接な連携を保つため、就職・キャリア支援課と本部役員で「大学と父母との協力関係」について協議する等、就職支援プログラム・就職活動を進める実力を養う講座・制度の充実をお願いしている。そし

て、学生の生涯設計を立てる上での支援を積極的に進め、本年度も同様継続する。なお、大学教職員の支部就職説明会派遣旅費交通費等は大学にお願いし、就職説明会開催希望支部について講師派遣などを大学側と協議していく。

5. 大学事業(行事)に対する支援協力

会則に定める「目的と事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助協力することを基本としている。

(1) 体育後援会

体育後援会は、校友会・本会とで構成し、スポーツ活動を支援するため、本部拠出金として400万円支援する。

(2) 井上田了が志したものは「」に対する援助
井上田了記念学術センターの企画・実施、実行委員会を構成し、その運営費の一部150万円を援助する。

(3) 卒業記念品

毎年度、卒業記念品購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金180万円を援助する。記念品目については、関係部署と事前に協議する。

(4) 全学的な行事に対する援助

大学祭(白山祭・朝華祭・こもれび祭・雷祭)の4校舎に援助する。

なお、平成26年度に白山祭が50周年及び、朝華祭が10周年を迎えるにあたり昨年度より援助金を白山祭は100万円から120万円の増額とし、朝華祭は50万円から60万円の増額とした。さらに、スポーツ大会(白山・川越・朝霞・板倉)の4校舎に援助する。

(5) 留学生団体等に対する援助

大学の国際化が求められている今日、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等団

体の活動等に対し広く援助する事を目的とし、援助金を5万円から10万円へ増額とした。

(6) 学部行事等に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「浦水会会長賞」を授与することを通じて、大学行事の振興及び学生に対する支援を目的とし、援助金100万円を計上した。

(7) 「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力
創立150周年に向けて国際的に評価される大学を目指した、①育英事業の展開、②教育・研究活動支援、③学生課外活動の充実、④教育研究施設設備の拡充に係る募金の取り組みに対して、平成26年度について本部予算(案)として1,000万円の寄付を行うとともに、各支部及び会員に対して大学への協力を促す。

6. 大学・校友会行事等に対する協力

大学・校友会が年間行事として実施する祭事等に、浦水会代表者を派遣・協力する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施し、「会員のしおり」及び「会報 東洋」の発送に伴う経費は、大学側をお願いしている。

- (1) 新入会員対象の「会員のしおり」……年1回
- (2) 全会員対象の「会報 東洋」……年1回
- (3) 役員及び支部長対象の「浦水会ジャーナル」……年2回
- (4) 大学側にリンクした浦水会のホームページを通じて、情報活動を強化する。

8. 会員情報管理システム

甫水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、本会で確認し大学総務課に依頼しているが、平成26年度からは、卒業生・甫水会連携推進室に依頼することとなる。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

平成17年4月1日からの「個人情報保護法」施行により、情報の使用・管理については、引続き支部でのご協力をお願いする。

大学と「個人データ」の提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

9. 会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

キャンパス見学时に配布するための「4キャンパスマップ」を新たに作成する経費として、50万円計上した。

本部で実施する諸行事への出席者に配付するための甫水会名入の甫水会グッズを新たに作成する経費として、100万円計上した。

支部事業関係

各支部が中心になって主催する行事等については「支部主催行事援助金」支給基準により、支援・協力する。

(1) 支部総会

本部は、毎年度の支部総会出席者の意見をまとめ大学側に提出しているが、特に父母又は保護者との面談形式を含め多数の意見を頂いたので、今後も改善を行い、支部総会運営状況を踏まえ大学側と協議していく。

首都圏地区13支部は、白山・川越・板倉朝霞校舎で6月に甫水懇談会を開催するので、支部総会は別途に独自で開催することになる。

首都圏地区以外支部においては、7月・8月に支部総会の中で「甫水懇談会」として開催する。また、開催案内および支部総会出席者集計の本部一括処理は、前年通り行う。

(2) 就職説明(懇談)会

支部からの開催要望に基づき、日程及び派遣者依頼願いについて大学側と調整し支部へ報告する。なお、開催申請支部は開催日及び講師派遣の都合もあるので、近隣支部とも調整の上、申請されるよう要請する。

(3) 大学施設設備校舎見学会

校舎案内者を派遣依頼要請する関係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請されるよう要請する。首都圏地区13支部は、4校舎の甫水懇談会時実施し、首都圏地区以外支部は、本部主催事業の「会員の集い・就職活動フォーラム」において同時開催を計画し、参加されるように要請する。

(4) 講演・研修会等

本部は、講演・研修会等の講師について、本学教員を希望する場合、紹介を含め協力する。

甫水会収支関係

(1) 収入について

① 甫水会費5,000円については、「大学に委託徴収を依頼」している。

第1部の入学生及び在学生から徴収し、留学生は除く。

第2部の入学生及び在学生は、任意加入として本部が徴収する。

② 雑収入については、学生総合補償制度の事務費収入等がある。

(2) 支出について

【事業費】

① 本部関連事業の主要行事である、甫水懇談会・就職説明懇談会・会員の集い・就職活動フォーラム・会報発行等については、前年度通り大学の協力を得て執行する。

② 支部関連事業の支部主催行事についても規定に準じて援助し、各支部の活性化を図る。

③ 学生協力費については、本会の目的に基づき、大学祭・スポーツ大会・クラブ・サークル等の援助を学生部と連携して交付する。

④ 業務委託費については、労働者派遣契約書に基づき支出する。

⑤ 人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を労務契約書に基づき支出する。

⑥ 平成26年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

【管理費】

① 会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。

② 通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。

③ 人件費は、事業費関連事務以外の事務に伴う人件費を労務契約書に基づき支出する。

④ 積立金は、甫水会記念事業に向けての準備積立金を計上している。

⑤ 平成26年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

⑥ 予備費については、緊急支出として措置する。

以上

平成26年度予算書

平成26年度予算は、理事会・評議員会に於いて、事業計画書と共に提出、報告されました。

一般会計収支予算書

自平成26年4月1日～至平成27年3月31日

(単位:千円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
雨水会費収入	127,500	事業費	134,092
雑収入	1,466	管理費	27,431
投資活動収入	0	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	60,012	予備費	1,500
		次期繰越収支差額	24,955
合 計	188,978	合 計	188,978

以上の説明、報告を受け「平成26年度一般会計予算書」については、審議の結果、承認されました。

平成26年度雨水懇談会・支部総会報告

首都圏

首都圏13支部

雨水懇談会出席者数

支 部 名	6月21日(土) 板倉校舎	6月21日(土) 朝霞校舎	6月29日(日) 白山校舎	6月29日(日) 川越校舎	合計
茨 城	17	10	45	33	105
埼 北	12	1	9	20	42
埼 中	9	12	40	31	92
埼 東	23	4	62	32	121
埼 南	19	19	50	48	136
千 葉 東	2	4	69	7	82
千 葉 西	13	3	44	13	73
城 東	3	2	34	7	46
城 西	0	5	28	11	44
中 央	0	3	15	1	19
城 北	7	14	61	32	114
多 摩	4	10	57	21	92
神 奈 川	2	12	93	9	116
出席者合計	111	99	607	265	1,082

※出席人数は複数出席者を含む

首都圏13支部

支部総会出席者数

支 部 名	会員数	※出席者	※出席者 %
茨 城	1,735	84	4.8
埼 北	540	45	8.3
埼 中	1,704	42	2.5
埼 東	1,497	70	4.7
埼 南	2,701	120	4.4
千 葉 東	1,866	76	4.1
千 葉 西	1,805	74	4.1
城 東	1,017	70	6.9
城 西	648	32	4.9
中 央	441	51	11.6
城 北	1,737	41	2.4
多 摩	1,692	48	2.8
神 奈 川	1,862	75	4.0
合 計	19,245	828	4.3

6月暫定会員数

※出席者は報告書による

首都圏以外46支部

支部総会(雨水懇談会)成績・履修出力数

支 部 名	開催場所	会員数	参加者数	申込会員数 (学生数)
札幌	札幌市	135	27	23
函館	函館市	25	6	6
旭川	旭川市	29	9	9
北見	北見市	20	9	7
室蘭	苫小牧市	26	8	7
釧路	釧路市	34	12	8
青森	青森市	83	12	11
岩手	盛岡市	83	22	19
宮城	仙台市	187	30	27
秋田	秋田市	120	21	19
山形	山形市	150	35	28
福島	郡山市	407	56	53
栃木	宇都宮市	686	57	53
群馬	前橋市	768	83	72
新潟	新潟市	645	65	51
富山	富山市	121	31	26
石川	金沢市	90	28	22
福井	福井市	13	6	5
山梨	甲府市	191	28	23
長野	長野市	596	78	66
岐阜	岐阜市	61	14	11
静岡	静岡市	522	56	53
愛知	名古屋市	141	23	17
三重	津市	49	20	17
滋賀	京都市	12	1	1
京都	京都市	35	7	5
阪奈	大阪市	103	20	16
兵庫	姫路市	184	24	23
和歌山	和歌山市	16	6	6
鳥取	米子市	32	10	8
島根	松江市	17	15	8
岡山	岡山市	36	16	12
広島	広島市	70	23	22
山口	山口市	42	15	13
徳島	徳島市	18	6	5
香川	高松市	23	11	7
愛媛	松山市	44	9	9
高知	高知市	43	20	15
福岡	福岡市	110	22	22
佐賀	佐賀市	12	11	7
長崎	大村市	38	8	8
熊本	熊本市	54	28	24
大分	大分市	22	11	7
宮崎	宮崎市	29	16	12
鹿児島	鹿児島市	32	14	10
沖縄	那覇市	59	7	5
合 計		6,213	1,036	878

6月暫定会員数

平成26年度 甫水会

甫水懇談会父母アンケート結果から考えられること

卒業生・甫水会連携推進室

六月から始まった平成二六年度の甫水懇談会が終わりました。首都圏懇談会と地区別懇談会を合わせ、一六六三組のご父母が出席されました。地区別懇談会は、昨年とほぼ同程度の出席状況でしたが、首都圏懇談会は、若干の減少となりました。

大学は、甫水懇談会を、ご父母に子弟の在学中の成長をとおし、大学教育の実態に触れていただく機会と位置づけてまいりました。

今回、地区別懇談会を実施するにあたり、甫水会の支部を通じて、ご父母の参加依頼をお願いいたしました。が、会場により多少の増減はあるものの、参加者数が増えない結果となりました。本事務室としては、この状況を懇談会の実施方法について見直す契機ととらえました。ご父母が懇談会に何を期待されているのか、申込時にご記入いただいた質問項目、実施後にご協力いただいたアンケートなどを検証し、ご父母の懇談会に対するご期待に応え、ご納得と信頼感を感じられる懇談会にすべく、見直しに着手しました。現在、甫水会事務局及び甫水会役員と協議を進めている段階にあります。が、本稿で、改善方策の一端についてお知らせいたします。

新聞等で報道されているように、現大学三年生の来年度の就職活動は、就職広報時期が今年度と比較して後ろ倒しになります。このこともあり、懇談会のご父母の質問やアンケートには、「就職の状況」や「就職について相談したい」意向をお持ちのご父母が大勢いらつしやることが表れていました（下記参照）。次年度は、就職説明をより充実させ、大学の就職支援プログラムの紹介、就職

結果の報告、地域の就職実績などを解説し、ご父母が、よりご理解を持つていただけるよう説明内容を充実・工夫してまいりたいと考えております。

また、履修状況の説明につきましても、さらにわかりやすい方法へあらためることとし、現在、教務担当者が検討を進めております。

懇談会進行は、「履修、課外活動の取り組みが分かりやすかった」と好意的な意見があった一方で、一部の地区において「個人面談を待つ間に大学代表者の説明が始まり、就職説明が聞けなかった」と進行上の課題を指摘された方や、「式次第がわかりづらい」と意見を寄せられた方が多数いらつしやいました。次年度は、全体会と個別面談の時間を分け、個人面談を待たれる間、大学教職員が父母席に入り、大学と父母、父母間の交流ができる場を設定することを検討しています。なお来年度は左記の日程で実施する予定で調整しています。

月日	曜日	父母懇談会開催地区
6月27日	土	静岡県静岡市
6月28日	日	愛知県名古屋市
6月28日	日	福島県郡山市
7月4日	土	兵庫県姫路市
7月5日	日	大阪府大阪市
7月5日	日	山梨県甲府市
7月11日	土	熊本県熊本市
7月12日	日	鹿児島県鹿児島市
7月12日	日	鳥取県米子市
7月18日	土	宮城県仙台市
7月19日	日	山形県山形市
7月19日	日	沖縄県那覇市
7月25日	土	富山県富山市
7月26日	日	石川県金沢市
7月26日	日	長野県長野市
8月1日	土	岩手県盛岡市
8月2日	日	秋田県秋田市
8月2日	日	新潟県新潟市
8月22日	土	香川県高松市
8月23日	日	高知県高知市
8月23日	日	広島県広島市
8月29日	土	福岡県福岡市
8月30日	日	長崎県長崎市
8月30日	日	北海道釧路市
9月6日	日	北海道札幌市
9月6日	日	青森県青森市

※首都圏懇談会日程は6月を予定しています。

首都圏アンケート		地区アンケート	
順位	項目	順位	項目
1	大学の近況を知りたい	1	就職の状況について知りたい
2	就職の状況について知りたい	2	大学の近況を知りたい
3	成績について面談したい	3	成績について面談したい
4	就職について面談したい	4	就職について面談したい



川越キャンパス 甫水懇談会

平成26年度 浦水会

「会員の集い・就職フォーラム」を開催して

東洋大学浦水会副会長 須田 龍一

「会員の集い・就職フォーラム」参加者629名

最初に、神田雄一副学長よりのご挨拶があり、東洋大の基本理念について「哲学教育、キャリア教育、グローバル教育を三本柱とし、それを貫くものとして『グローバル人材の育成』を目指す。・学生に多様な学習や体験の場を提供すること、自己探究を行い、主体的に行動できる力を育てる。・社会探究を通して広い視野を身につけ、哲学する力でキャリアを切り拓いて地球社会の改革に貢献するグローバル人材を排出する」と述べた。

また、「就職支援ミッションとして、キャリア開発プログラム、就職支援プログラム、キャリア育成関連科目の体系化」「組織的キャリア支援としてのグローバルキャリア教育センター、就職キャリア支援部」を挙げた。

そして、「年次毎の就職支援の流れと基礎力テスト（1年次）、職業興味検査（3年次）」「教職員一体の支援」に触れ、「昨年度の就職率96.9%」の成果を述べた。

次に、浦水会の村田薫会長より「東洋大との深い繋がり」「今後一層の協力依頼」（巻頭参照）がされた後、理工学部生体医工学科小島貴子准教授が

「来年度から変わる就活」「企業が見るもの」「未知の企業が大多数」「入社と就職の違い」「企業からの情報（受け身）と自分で掴む情報（自律）」「入社時の条件と入社後の条件」「外的報酬欲求と内的報酬欲求」「成長は言動に表れる」等と述べた。

最後に、就職内定者5名（営・村上勇士、法・横田菜乃葉、理工・石綿大幹、生命・上林千里、ライフ・澤館秀哉）のパネルディスカッションがコーディネイター中村健司就職キャリア支援課長によって行われ、「就職は早期からの取り組みが必要」とのアドバイスがなされた。

鬼怒鳴門・長井鞠子・鳥飼久美子・リービ英雄・藤原正彦のglobalization

神田副学長の触れておられた、東洋大関係者の並々ならぬご努力による「スーパードグローバル大学創成支援」採択に率直に敬意を表します。それを重層的に促進させる意味で、左記の幾つかの記事も参考にして頂けたら幸いです。

・ネイティブスピーカーや帰国子女による通訳の流暢なことは確かだが、その通訳精度の判定者が「企業」現場にはまず存在し得ない現実（日本通訳

業界のトップ長井鞠子が、下調べする間もなく通訳に臨み「散々な結果になった」と告白している）

・鳥飼久美子の「歴史を変えた誤訳」によると「ボツダム宣言に対して、時の鈴木貫太郎内閣がこれを『黙殺する』と応じ、その訳しようが（例えば“neglect”とか）二発の原爆投下に繋がったのでは？」（とちなみに最近の某首相の「trust me」発言が日米関係を無用の混乱に陥れたことは記憶に新しい）

・日本の英会話学校のトップたるA校とB校、いずれも優秀な卒業生の就職先に呻吟している

・ドナルド・キーン本学名誉博士へのインタビュー番組で、インタビュアー氏が日本古典の知識は希薄としか思えなかった事実。これは批判ではなく、インタビュアー氏が如何に英会話に勤しんで来たかの証左。事実、後日同番組に於けるS・スピルバーグへのインタビューでは「あの映画のあの台詞は・・・」と詳細な解説

・藤原正彦によると、英国で『漱石の『心』の先生の自殺と、三島由紀夫の割腹の違いは？』と問われさえる

・市井の某英会話学校ネイティブスピーカー氏が

「数年後自動通訳機が自分達をこの学校から追い出すだろう」と深刻な表情。「my kidsには7、8年教育費がかかるから、普及を遅らせてくれれば」とも

・英語は子音の多用される言語であり、ネイティブ同士でも聞き取りにくい(通訳の現場に立つ近しい人の言)。これは日本語がほぼ全て母音で終わる聞き取りやすい言語であり、英語も訓練次第ではスムーズに聞き取れるはずという思い込みがあるからか(但し、リービ英雄『日本語を母語とせず、日本文学を発表し、数々の文学賞受賞』は「書字日本語は世界一の難しさ」と)

・単純に世界に200ヶ国語あるとして、最大の通訳困難語は英語。英語は最大の多国籍語だから皆さん「お国訛り」を引きずっており、それを適正化するのは不可能であり、その気はないし、する必要もない

日本文化の回帰的習性

ノーベル賞受賞者の中村修二氏ら、勝利者のほとんどが「(英語ではなく)英会話の必要性」を口にする。しかし英会話に煩わされることなく、かけがえのないソフトたる日本語で「専門」に没頭する時間を持てたという事実を、栄冠を得た瞬間に忘れてしまう。即ち、一旦取得した文化・技術・能力をあつさり捨てて一顧だにしないというのも日本人ならではのありましよう。日本史を俯瞰するに、日本民族は凄まじい奔流で世界のトップ

(沸点)に達し、目的と手段の混同を経て突然止む、というパターンが奇妙なほど繰り返される。古代では「古墳造成」、中世に在っては「国盗り合戦(武器)」、近現代では「(大戦用)大艦巨砲主義」「(昭和の)過激派」、最近の「中国への企業進出」(これは未収束)……。この文化的考察は興味あるところですが字数が尽きつつあり、省略します。そこまで大上段に構えずとも、次の様な逸話も参考にして頂きたい。

米国にシヨートステイの学生があるパーティーで「貴女の宗教は？」と問われ、戸惑いつつ「特にありません」と応え、明らかに怪訝な表情。それを後に、事情に詳しい知人に相談すると「欧米では『無宗教』『無政府主義』と捉える向きがある」と。そこで次のパーティーでは答えを準備して臨み「I believe in Buddhism.」と応じると「What's Buddhism? Tell me its doctrines. Trace that history.」と質問攻めに。母語で知らないことを外国語で応えられるはずもない、という確たる現実を私達は忘れがちである。

東洋大への共感

甫水会活動に関わる中で過日、筆者はA教授のご厚情により東洋大ゼミ生を前に長々たる拙話を述べる機会を得たが彼らの受講態度は実に真摯であり、ほとんどのゼミ生が正確な理解力を示しており、とりわけある学生氏からは2500字にも及ぶ感想が送られて来た。

「東洋大学の教育機関としての基本は正しい」と判断する所以であり、歴史的現在的存在としての東洋大学に深く感謝しております。また、ソフトとしての甫水会継承をお願いしたいとも思っております。



学生総合補償制度のご案内 (学生・こども総合保険団体契約)

学生生活が安心であるのには理由があります。

—— 急増する自転車事故、地震などの天災によるケガ等も補償 ——
(傷害補償、個人賠償責任危険補償、育英費用補償、学資費用補償)

学生ご本人のケガ・病気も補償 (国内・外)

■傷害補償

授業中・学校行事中、課外活動中、登下校中、日常生活中などに偶然な事故により学生ご本人がケガ(傷害)を被った場合に補償します。



■食中毒補償

学生ご本人がO-157等の細菌による食中毒やウイルス性食中毒によって身体に障害を負った場合に補償します。



■熱中症補償

学生ご本人が日射または熱射により身体に障害を被った場合に補償します。



■天災補償

地震もしくは噴火またはこれらによる津波によって学生ご本人がケガをされた場合または扶養者の方が死亡されたり重度の後遺障害となった場合に該当する各種保険金をお支払いします。

■疾病補償 オプション

学生ご本人が病気を発病し、その治療を目的として入院された場合、手術や放射線治療を受けた場合または退院後180日以内に通院された場合に補償します。



他にも充実の補償 (国内・外)

■個人賠償責任危険補償*

学生ご本人が誤って他人にケガをさせたり、他人の物を壊してしまい、法律上の損害賠償責任を負担することになった場合に補償します (免責金額: 0円)



- アルバイト、インターンシップ中の損害賠償責任も補償します。
- 情報機器に記録された情報を損壊した場合も補償します。
- 管理下中の受託物の破損等による損害賠償責任も補償します。

■救済者費用等補償*

学生ご本人が遭難、偶然な事故による生死不明等の場合に支出した捜索救助費用・交通費等を補償します。

一人暮らしの学生向けにも安心の補償

■生活用動産補償 (国内)*

一人暮らしや下宿をしている学生ご本人が所有している生活用動産が、偶然な事故により損害を受けた場合に補償します。
(免責金額: 盗難3万円、火災・落雷・破裂・爆発0円、それ以外1万円)



■緊急費用補償*

学生ご本人の父母・兄弟姉妹が偶然な事故によるケガが原因で事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された時、葬儀に参列するために緊急に発生する費用を定額で補償します。

■借家人賠償責任補償 (国内)*

下宿をしている学生ご本人が偶然な事故により、借用している戸室を壊したり、汚したりして、貸主に賠償しなければならない場合に補償します。
(免責金額: 0円)



扶養者皆様の万が一にも学生生活を支えます (国内・外)

扶養者が、急激かつ偶然な外来の事故によるケガ(傷害)がもとで事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡されたり、または重度の後遺障害が発生した場合等に次の費用を補償します。

■育英費用補償*

生活の維持や教育のための育英費用を定額で補償します。



■学資費用補償*

授業料等の学資費用を負担された場合、その実費を補償します。

■疾病学資費用補償*

扶養者が、保険期間中に発病した病気で死亡された場合で、授業料等の学資費用を負担された場合にその実費を補償します。

(注)「扶養者」とは、学生ご本人の親権者等で、生活費・学業費用を負担し、学生ご本人の生計を支えている方をいいます (あらかじめ指定された1名となります)。

※被保険者またはそのご家族が契約されている他の保険契約等 (共済契約または異なる保険種類の特約を含みます) により、既に被保険者について同種の補償がある場合、補償が重複し、保険料が無駄になることがあります。ご加入にあたっては、補償内容について、ご要望に沿った内容であることを必ずご確認ください。
(注) なお、複数あるご契約のうち、これらの補償が1つのご契約のみにセットされている場合は、そのご契約を解除されると、補償がなくなってしまうのでご注意ください。この広告は概要を説明したものです。パンフレット (学生総合補償制度のご案内・重要事項のご説明) 等をご確認ください。

白山キャンパス

文・経済・経営・法・社会・国際地域学部
イブニングコース(2部)
大学院

〒112-8606

東京都文京区白山 5-28-20

PHOTO



敷地: 3万4,892㎡ / 校舎: 10万2,763㎡

MAP



ACCESS

- JR巣鴨駅から浅草雷門行バスで6分、東洋大学前下車。
- 都営地下鉄三田線で白山駅下車、徒歩5分。
- 都営地下鉄三田線で千石駅下車、徒歩7分。
- 東京メトロ南北線本駒込駅下車、徒歩5分。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	総務課	03-3945-7224

●教務関係

授業・成績等	文学部	03-3945-7595
	経済学部	03-3945-8421
	経営学部	03-3945-7247
	法学部	03-3945-8450
	社会学部	03-3945-7623
	国際地域学部 (地域総合専攻)	03-3945-7811
証明書音声ガイド	大学院	03-3945-7250
	各学部共通	03-3945-7225

●学生生活関係

奨学金	学生生活課	03-3945-7258
サークル活動		03-3945-7262
運動部関係	スポーツ振興課	03-3945-7252
アルバイト・下宿・アパート	学生生活課	03-3945-7809
学生相談室		03-3945-7265
医務室(健康管理)		03-3945-7278

●就職関係

進路・就職相談	就職・キャリア支援部	03-3945-7280
---------	------------	--------------

●国際交流関係	国際センター／国際部	03-3945-7558
---------	------------	--------------

●納付金関係

納付金(学費等)	財務課	03-3945-7305
寄付金		03-3945-7304

●入試関係	入試課	03-3945-7272
-------	-----	--------------

●図書関係

図書館	図書事務課	03-3945-7325
-----	-------	--------------

川越キャンパス

〒350-8585

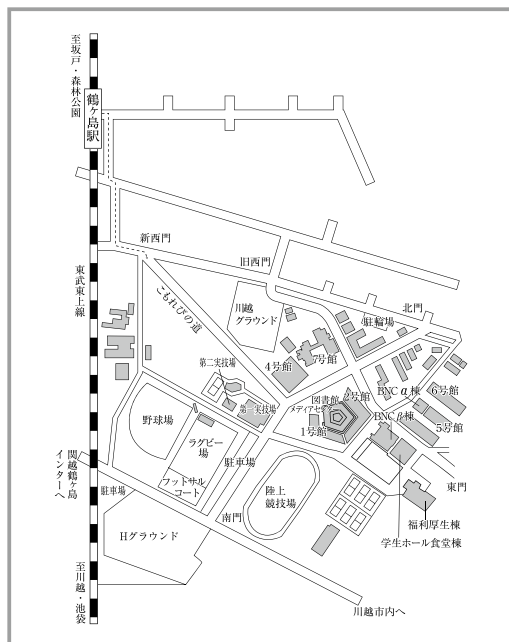
埼玉県川越市鯨井 2100

PHOTO



敷地: 28万6,981㎡ / 校舎: 7万6,138㎡

MAP



ACCESS

●池袋駅から東武東上線で急行38分、鶴ヶ島駅下車、徒歩10分。

理工学部・総合情報学部
大学院理工学研究科
大学院学際・融合科学研究科

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	総務課	049-239-1300

●教務関係

履修・成績・試験・学籍 教職・各種証明書	教 学 課	049-239-1312
-------------------------	-------	--------------

●学生生活関係

奨学金・クラブ・サークル活動	教 学 課	049-239-1314 049-239-1509
アルバイト ※	(株)ナジック・アイ・サポート	03-5466-1236
下宿・アパート ※	(株)ミニミニ城北	049-228-8832
学生相談室	教 学 課	049-239-1544
医務室(健康管理)		049-239-1317

※川越キャンパスでは業務委託をしております。

●就職関係

求人受付	教 学 課	049-239-1315 049-239-1641
就職相談		049-239-1822

●学費・入試関係

学費	総 務 課	049-239-1303
入試関係	教 学 課	049-239-1392

●図書関係

図書館	川 越 図 書 館	049-239-1321
-----	-----------	--------------

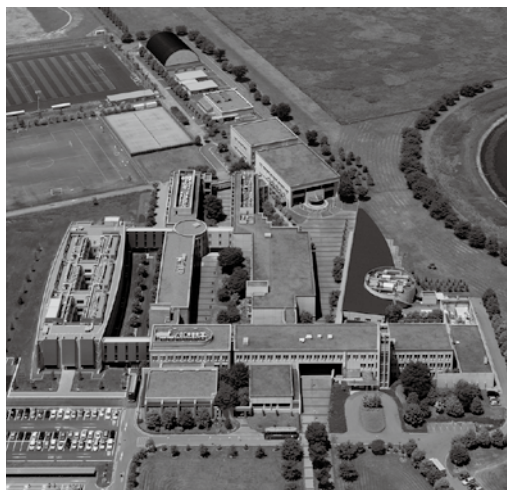
板倉キャンパス

生命科学部・食環境科学部
大学院(生命科学研究科)

〒374-0193

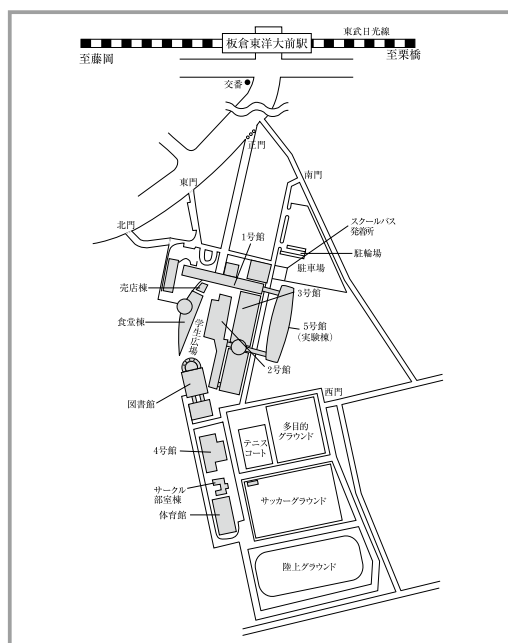
群馬県邑楽郡板倉町泉野 1-1-1

PHOTO



敷地11万2,125㎡/校舎3万497㎡

MAP



ACCESS

- 池袋駅からJR宇都宮線(湘南新宿ライン)、東武日光線で79分。浅草駅から東武日光線で快速60分、北千住駅から50分。板倉東洋大前駅下車、徒歩10分。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
キャンパス代表	板倉事務課	0276-82-9111

●教務関係

生命科学部・食環境科学部	板倉事務課	0276-82-9118
大学院(生命科学研究科)		0276-82-9170

●学生生活関係

奨学金	板倉事務課	0276-82-9046
サークル活動		0276-82-9171
アルバイト		0276-82-9171
学生相談室		0276-82-9132
医務室(健康管理)		0276-82-9123

●就職関係

求人受付	板倉事務課	0276-82-9172
就職相談		0276-82-9172
キャリア形成・就職支援室		0276-82-9126

●国際交流関係

海外留学	板倉事務課	0276-82-9139
------	-------	--------------

●学費等関係

学費	板倉事務課	0276-82-9105
----	-------	--------------

●入試関係

学部入試	板倉事務課	0276-82-9111
大学院入試		0276-82-9170

●図書関係

図書館	図書事務課(板倉)	0276-82-9061
-----	-----------	--------------

朝霞キャンパス

ライフデザイン学部

〒351-8510

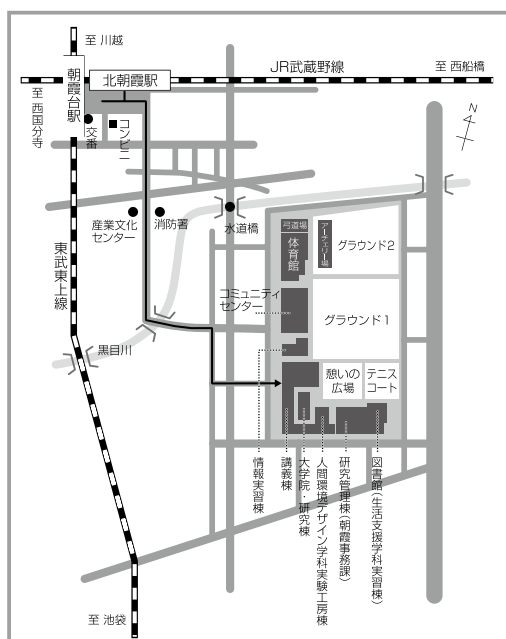
埼玉県朝霞市岡 48-1

PHOTO



敷地 7万4,707㎡／校舎 3万9,845㎡

MAP



ACCESS

- 池袋駅から東武東上線で急行15分、朝霞台駅下車、徒歩10分。
- JR武蔵野線北朝霞駅下車、徒歩10分。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	朝霞事務課	048-468-6311

●教務関係

履修・成績・試験 学籍・証明書	朝霞事務課	048-468-6401
--------------------	-------	--------------

●学生生活関係

サークル活動	朝霞事務課	048-468-6408
奨学金		048-468-6411
学生相談室		048-468-6462
医務室(健康管理)		048-468-6607

●キャリア形成支援関係

キャリア形成支援(就職)	朝霞事務課	048-468-6418
--------------	-------	--------------

●学費等関係

学費	朝霞事務課	048-468-6311
----	-------	--------------

●入試関係(ライフデザイン学部)

入試	朝霞事務課	048-468-6457
----	-------	--------------

●図書関係

図書館	図書事務課	048-468-6331
-----	-------	--------------

事務局へご質問・ご相談等ありましたら、ご遠慮なく各キャンパスのテレホンガイドによりお尋ねください。担当部課室の電話は、すべて直通になっております。

〈お電話受付時間〉

平日 9:30-12:45、14:15-16:45

土曜 9:30-12:45

なお、電話の場合は、必ずご自分の姓名と「学生の学科・学籍番号・名前」を申し出てください。申し出のない場合は、お断りする場合もございます。また、内容によってはお電話ではお答えしかねる場合がございますことを合わせてご了承ください。

東洋大学体育後援会だより

東洋大学の学生スポーツ界は、近年、広範にわたる分野において目ざましい活躍を見せ、マスメディアでも大きく取り上げられ注目を集めています。

東洋大学体育後援会は、これらの学生スポーツ活動を支援するために、昭和47年に大学・甫水会・校友会の三者により結成されました。平成21年4月からは、甫水会と校友会二者の共同運営になり、両本部の財源からの拠出金と、校友会を中心とする一般からの募金によって賄われています。

学生スポーツクラブへの体育後援会の支援は、大学公認サークルを対象としています。選手たちが少しでも良い環境の中で安心して練習に取り組み、充実した成果を発揮できるよう、遠征・合宿費用の補助、コーチ活動への支援費用、優秀団体や活躍した選手の褒章などとして活用され、大切な活動資金の一部となっています。

体育後援会が、学生のスポーツ振興に対して役割を担い続けるためには、援助金の確保が必要になってきます。校友会も、会員に支部総会や『校友会報』などを通して、機会あるごとに募金への協力依頼を行っております。甫水会員の皆さまにも、一層の温かいご支援ご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

私たちは、東洋大学のスポーツ活動が、教育活動の一環であると認識しており、これからも体育後援会は、変わらぬ熱い支援を行ってまいります。

今後、学生たちが勉学に励むとともに、スポーツの分野で、目ざましい活躍を見せてくれることを期待してやみません。

なお、平成26年度の強化・準強化部(16部)と第一部体育会・第二部体育会・川越体育会の各部への援助金一覧は、下記のとおりとなります。

平成26年10月20日

東洋大学体育後援会・東洋大学校友会

会長 羽島知之

〈強化・準強化部〉

部 名	部員数	援助額
硬式野球部	116	1,000,000
陸上競技部(長・短距離)	140	2,200,000
陸上競技部・女子長距離部門	30	60,000
アイススケート部	46	500,000
レスリング部	37	300,000
空手道部	30	250,000
スキー部	29	300,000
相撲部	25	800,000
ボクシング部	27	250,000
サッカー部	62	400,000
サッカー部・女子部	18	40,000
柔道部(準)	35	250,000
ラグビー部(準)	89	200,000
バスケットボール部(準)	46	200,000
水泳部(準)	38	800,000
剣道部(準)	49	100,000
小 計	817	7,650,000

〈2部体育会〉

部 名	部員数	援助額
空手道部	7	20,000
柔道部	10	40,000
卓球部	21	60,000
バスケットボール部	16	40,000
陸上競技部	40	80,000
剣道部	20	60,000
合気道部	6	20,000
小 計	120	320,000

〈1部体育会〉

部 名	部員数	援助額	部 名	部員数	援助額
バレーボール部	16	40,000	山岳部	10	40,000
ソフトテニス部	34	60,000	ワンダーフォーゲル部	8	20,000
ゴルフ部	9	20,000	ローバースカウト部	12	40,000
弓道部	24	60,000	アーチェリー部	29	60,000
卓球部	39	60,000	アメリカンフットボール部	41	80,000
合気道部	15	40,000	パワーリフティング・ウェイトトレーニング部	11	40,000
日本拳法部	21	60,000	キックボクシング部	21	60,000
少林寺拳法部	14	40,000	射撃部	22	60,000
自動車部	7	20,000	テニス部	35	60,000
準硬式野球部	53	80,000	ラクロス部	29	60,000
ローラースケート部	14	40,000	ハンドボール部	32	60,000
ヨット部	9	20,000	応援指導部	12	40,000
バドミントン部	18	40,000	小 計	535	1,200,000

〈川越体育会〉

部 名	部員数	援助額	部 名	部員数	援助額
柔道部	10	40,000	バドミントン部	35	60,000
卓球部	31	60,000	バレーボール部	11	40,000
自動車部	23	60,000	ボディビル部	9	20,000
軟式庭球部	12	40,000	ワンダーフォーゲル部	56	80,000
軟式野球部	43	80,000	弓道部	28	60,000
アメリカンフットボール部	36	60,000	硬式庭球部	9	20,000
ゴルフ部	6	20,000	サッカー部	32	60,000
スキー部	27	60,000	自転車部	14	40,000
バスケットボール部	20	60,000	小 計	402	860,000

※援助金総額 10,030,000

2013年11月～2014年10月 体育後援会強化部の活動状況

部名	月 日	大会・合宿名	場 所	成 績 等
硬 式 野 球	4月5日～5月25日	平成26年度東都大学野球春季リーグ戦(二部)	東洋大学野球場ほか	第3位
	9月7日～10月29日	平成26年度東都大学野球秋季リーグ戦(二部)	東洋大学野球場ほか	開催中
陸 上 競 技	11月3日	全日本大学駅伝対校選手権大会	熱田神宮西門前～伊勢神宮内宮宇治橋	団体：準優勝
	1月2日～1月3日	東京箱根間往復大学駅伝競走	大手町読売新聞社前 ～箱根芦ノ湖	総合優勝 往路：5時間27分13秒 復路：5時間25分38秒(復路新記録) 総合優勝：10時間52分51秒(歴代2位記録) 3区区間賞：設楽悠(済4) 5区区間賞：設楽啓(済4) 7区区間賞：服部弾(済1) 8区区間賞：高久(済3) 10区区間賞：大津(済4)
	5月16～17日 ・5月24～25日	関東陸上競技対校選手権大会	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 ・横浜日産スタジアム	100m決勝優勝・大会新記録・学生タイ記録：桐生(法1)200m決勝2位：小林(済3) 4×100m3位：小椋(法3)・小林(済3)・桐生(法1)・与那原(法1) 走高跳4位：山下義(法2) 競歩優勝：松永(理工3)2位：西塔(済4)5位：山下優(総情1) ハーフマラソン2位：田口(済4)3位：高久(済4)5位：淀川(済4)800m6位：尾上(理工3)
	6月6日～8日	日本陸上競技選手権大会	とうほう・みんなのスタジアム	男子100m優勝：桐生(法1)
	6月12日～15日	アジアジュニア陸上競技選手権大会	台湾 台北	男子1000m競歩優勝：及川(済1)男子1000m優勝：服部弾(済2)
	6月20日～22日	日本学生陸上競技個人選手権大会	ShonanBMWスタジアム	男子1000mW3位：原田(済3)男子1500m2位：清水(理工3) 男子5000m6位：寺内(ライフ3)
	7月22日～27日	世界ジュニア陸上選手権大会	アメリカ合衆国(ユージン)	1000mW優勝：松永(理工2)4位：山下優(総情1)男子100m3位：桐生(法1) 4×100mリレー2位：桐生(法1)10000m8位：服部弾(済2)
	9月5日～7日	日本学生陸上競技対校選手権大会	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	10000mW3位：松永(理工2)4位：山下優(総情1)
陸 上 競 技 (女子長距離部門)	5月16～17日 ・5月24～25日	関東陸上競技対校選手権大会	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場 ・横浜日産スタジアム	女子5000m8位：内田(食環1) 女子1000m7位：二瓶(食環3)
	6月20日～22日	日本学生陸上競技個人選手権大会	ShonanBMWスタジアム	女子5000m6位：佐藤(食環2)
	9月28日	関東大学女子駅伝対校選手権大会	印西市千葉ニュータウン	団体：第7位 全日本大学女子駅伝対抗選手権大会出場権獲得
ア イ ス ス ケ ー ト	1月6日～1月9日	日本学生氷上競技選手権大会(スピード部門)	北海道	男子2部優勝、1部昇格
	1月6日～1月9日	日本学生氷上競技選手権大会(フィギュア部門)	北海道	団体女子Aクラス 第3位
	4月7日～4月29日	秋父杯第62回関東大学アイスホッケー選手権大会	ダイトードリンコアイスアリーナ	団体成績：第3位
	9月13日～11月23日	関東大学アイスホッケーリーグ戦	ダイトードリンコアイスアリーナ他	開催中
レスリング	4月6日	ジュニアキーンレスリング選手権大会	駒沢体育館	女子48kg級優勝：宮原(社2)女子63kg級第2位：鈴木(社2) 男子フリースタイル120kg級3位：山口(済1)
	4月26日～4月27日	JOCジュニアオリンピック2014年度 全日本ジュニアレスリング選手権大会	横浜文化体育館	女子51kg級優勝：宮原(社2)
	6月14日～6月15日	全日本選抜レスリング選手権大会	国立代々木競技場第二体育館	女子48kg級優勝：宮原(社2)女子63kg級4位：鈴木(社2)
	6月25日～6月27日	東日本学生レスリング春季新人選手権大会 ・女子選手権大会	駒沢体育館	男子グレコローマンスタイル98kg級準優勝：黒木(法2) 女子53kg級優勝：宮原(社2)3位：野村(社2)63kg級準優勝：鈴木(社2)
	8月5日～8月8日	世界ジュニア選手権	クロアチア ザグレブ	女子48kg級優勝 宮原(社2)
	8月26日～8月29日	全日本学生レスリング選手権大会	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム	女子63kg級準優勝：鈴木(社2)女子48kg級3位：宮原(社2) 男子グレコローマン85kg級3位：宮腰(済3)
空 手 道	5月5日	第50回東日本大学空手道選手権大会	日本武道館	男子団体組手：ベスト8女子団体組手：ベスト8
	5月25日	第42回関東学生空手道選手権大会	国土館大学	4回戦進出：池原(法2)東出(法1)女子ベスト32：松田(法4)大谷津(文1)
	8月16日～17日	第45回関東空手道選手権大会	東京 東京武道館	個人組手 重量級優勝 川村(法2)
	10月13日	第57回関東大学空手道選手権大会	日本武道館	女子団体組手：ベスト8
ス キ ー	2月15日～20日	全日本学生スキー選手権大会	岩手県岩手郡雫石	I部団体：8位
相 撲	4月29日	第31回全日本大学選抜相撲宇和島大会	愛媛県・宇和島市営体育館特設土俵	個人 優勝：大道(法4)
	5月5日	第24回全国選抜大学・社会人対抗相撲九州大会	福岡県・福岡久山相撲場	個人 優勝：大道(法4)
	5月10日	第65回東日本学生相撲新人選手権大会	靖国神社相撲場	個人 優勝：新保(法1)
	5月18日	第52回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会	和歌山県和歌山市	団体優勝 個人戦 3位：大道(法4)
	6月8日	第93回東日本学生相撲選手権大会	両国国技館	個人戦 優勝：大道(法4)第3位：太田(ラ3)団体ベスト8
	7月20日	第4回全日本大学選抜相撲金沢大会	金沢市卯山相撲場	無差別級優勝：大道(法4)団体ベスト8
	7月27日	第41回東日本学生相撲個人体重別選手権大会	靖国神社相撲場	無差別級優勝：大道(法4)115kg未満3位：大波(法2)
	8月29日	第11回アジア相撲選手権大会	台湾高雄市鳳山体育館	個人重量級優勝：大道(法4)
	8月31日	第19回世界相撲選手権大会	台湾高雄市鳳山体育館	団体優勝 個人重量級第5位：大道(法4)
	9月7日	第63回東日本リーグ戦・団体戦	靖国神社相撲場	団体3位
ボクシング	5月10日～7月12日	関東大学ボクシングリーグ戦	後楽園ホール	I部団体：4位
	8月6日～12日	台北市(台湾)カップ国際大会	台湾 台北	ライト級 3位：秋山(営2)
サ ッ カ ー	4月6日～6月15日	2014関東大学サッカーリーグⅡ部(前期)	東洋大学グラウンドほか	第7位
	9月4日～11月24日	2014関東大学サッカーリーグⅡ部(後期)	東洋大学グラウンドほか	開催中
サ ッ カ ー (女子部門)	9月7日～11月2日	関東大学サッカーリーグ戦2部	東洋大学グラウンドほか	開催中

※学年の表記は大会時の学年とする。

平成26年10月14日現在

学生部スポーツ振興課

文化系サークル活動状況(2013年11月1日~2014年10月31日)

団体名	企画名称	場 所	日 時
グルービー サウンスジャズ オーケストラ	スターダストジャズタイム	埼玉県富士見市民文化会館	6月29日
	フォーブラザーズビッグバンドコンサート	新橋ヤクルトホール	6月21日
	トライアングルサウンスコンサート	青山学院大学	7月5日
	太田市大学ジャズフェスティバル	太田市新田総合体育館	12月8日
	第41回リサイタル	江古田Buddy	12月23日
	川越ジャズフェスティバル	川越市民会館	9月22日
ギターアンサンブル	東洋大学ギターアンサンブル第50回定期演奏会	三郷市文化会館	12月14日
	第49回関東学生ギター連盟定期演奏会	葛飾シンフォニヒルズ	6月14日
	独重奏会	所沢MUSE	10月19日
吹奏楽研究部	サマーコンサート2014	豊島区公会館	6月29日
	第51回定期演奏会	三郷市文化会館	12月1日
東洋大学管弦楽団	第72回定期演奏会	和光市民文化センターサンアゼリア	12月23日
	朝霞市成人式依頼演奏	朝霞市民会館ゆめばれす	1月13日
	第73回定期演奏会	練馬区文化センター	6月8日
	志賀高原カレッジコンサート	志賀高原総合会場	9月1日
	第20回朝霞ファミリーコンサート	朝霞第十小学校体育館	10月26日
白山グリークラブ	越路小学校依頼演奏	越路小学校	12月21日
	第51回定期演奏会	杉並公会堂	9月3日
混声合唱団	第56回定期演奏会	めぐろパーシモンホール	12月27日
	校友会神奈川県支部総会ミニコンサート	校友会神奈川県支部	6月15日
	校友会120周年記念式典	東洋大学白山キャンパス	9月7日
マジヤンズノサイエティー	第51回学外発表会	板橋区立文化会館小ホール	10月25日

「箱根駅伝で優勝させる会」入会のお願い

東洋大学陸上競技部(駅伝部門)を箱根駅伝で優勝させるために同部の育成、強化と会員相互の親睦を図ることを目的としており、これを達成するために必要な援助、事業を行うものであります。つきましては、本会の趣旨にご賛同いただき、是非、会員としてご入会いただきご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 会 費:原則として年間 10,000円以上
2. 郵便振替口座 口座番号 00190-2-187937番
口座名称 箱根駅伝で優勝させる会
3. お問合せ先:白山キャンパス 学生部内 「箱根駅伝で優勝させる会」事務局
Tel:03-3945-7270

東洋大学雨水会報 「東洋」通巻一五四
発行日 平成26年11月28日
発行人 雨水会会長 村田 薫
発行所 東洋大学雨水会
東京都文京区本駒込1-10-2
郵便番号 113-0021 雨水会館5階
電 話 (03) 3945-0123
FAX (03) 3942-1761
印刷所 株式会社エフエムディービー



雨水懇談会(応援指導部)

甫水会からのお願い

保証人住所変更手続きについて

転居等により保証人住所・電話番号を変更された場合には、ご子女に東洋大学ホームページサイト『ToyoNet-G』(とよねっとじー)で変更手続きを行うようにお伝え下さい。

この手続きで「甫水懇談会」・「支部総会」・「会員の集い・就職フォーラム」・「会報 東洋」等、甫水会 及び 会員の皆様が所属する支部からのすべての送付物のあて先に反映されます。

なお、甫水会では、電話・FAX・メール等による変更手続きは受け付けられませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。

教務担当窓口へ提出 もしくは 『ToyoNet-G』からの変更をお願い致します。

甫水会よりのお知らせ

事務局の移転先について

甫水会と大学(卒業生・甫水会連携推進室)が効率的かつ効果的に事業を推進し業務連携を図るために、事務局を大学校舎内へ移転する運びになりましたことを会員の皆様方にお知らせいたします。

旧来と変わらず引続き会員の皆様方のご理解・ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

移転日(予定)
2015年4月1日

新所在地
〒112-8606
東京都文京区白山5丁目28番20号
8号館(125周年記念館) 中2階
TEL:03-3945-0123 FAX:03-3942-7612
E-mail:hosui@toyo.jp



東洋大学甫水会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-10-2(甫水会館 5 階)

TEL : 03-3945-0123 FAX : 03-3942-7612

E-mail : hosui@toyo.jp

『会員の集い・就職フォーラム』



受付



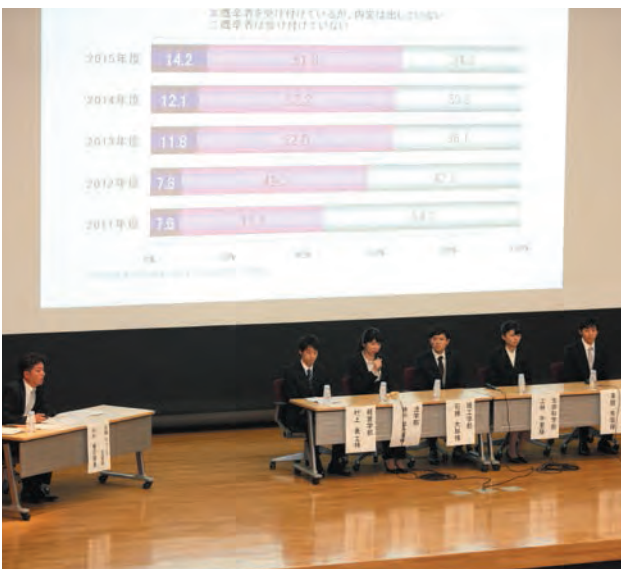
神田 雄一副学長



キャンパス見学(6号館内)



キャンパス見学(雨水の森)



パネルディスカッション(コーディネーターと内定学生)



パネルディスカッション(各キャンパスの内定学生)

東洋大学雨水会

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-2(雨水会館5階)
TEL.03-3945-0123 FAX.03-3942-7612
メールアドレス hosui@toyo.jp

発行日 平成26年11月28日 編集・発行 東洋大学雨水会

写真提供: 東洋大学広報課